

土地 河川ニ關係アル水車新設願出方ノ件 長野縣河川取締規則

三七二

願者ヲ措キ後願者ニ對シ許可ヲ爲ササルヘカラスルモノニ非サルカ故ニ行政廳カ先願者ニ許可ヲ爲シタルハ違法ナリト謂フヘカラス

大一年四〇四號 三年七月一九日宣告 (三年一〇九二頁)

參照

第一條 發電ノ原動力ニ供スル目的ヲ以テ水ヲ使用セムトスル者ハ本則ニ依リ知事ノ許可ヲ受クヘシ

39 河川ニ關係アル水車新設願出方ノ件 (明治二十年山梨縣令第五十六號)

○明治二十年山梨縣令第五十六號河川ニ關係アル水車新設願出方ノ件ハ河川ニ關係ナキ水車ニモ適用アルモシトス

五年三四八號 一〇年一月二九日宣告 (一〇年一〇四三頁)

參照

自今水車新設ニシテ河川ニ關係アルモノハ縣廳ヘ其他ハ津テ郡役所ヘ願出許可ヲ受クヘシ

40 長野縣河川取締規則 (大正十一年長野縣令第六十六號)

○河川法準用河川ニ於ケル水利權ノ讓渡ハ地方長官ノ許可ヲ受クルニアラサレハ其ノ效ナシ

九年八五號 九年九月二七日宣告 (九年八〇九頁)

參照

第九條 本則ニ依リ與ヘタル許可ニ依リテ生スル權利義務ヲ讓渡セントスルトキハ知事ノ許可ヲ受クヘシ

相續ニ因リ前項ノ權利義務ヲ承繼セムトスルトキハ相續開始ノ日ヨリ三十日以内ニ戶籍抄本ヲ添付願出知事ノ許可ヲ受クヘシ

第九條

漁業權ノ處分ニ隨ヒ第一項ノ權利義務ヲ移轉シタルトキハ更ニ保證人ヲ定メ關係者連署ヲ以テ届出ツヘシ

41 土木工事出願規則 (明治四十一年廣島縣令第八號)

○明治四十一年廣島縣令第八號土木工事出願規則ニ依ル水利使用出願ニ對スル許可ノ處分ハ其ノ性質上同規則第六條各號ニ牴觸セサル限り必スシモ出願者ニ許可スルコトヲ要スルモノニ非スシテ出願ノ先後ニ依ラス公益上ノ價值ノ大小企業能力ノ優劣等ヲ斟酌シテ許可ヲ決スヘキモノト解スルヲ相當トス

三年八一號 六年七月一〇日宣告 (六年六七七頁)

三年一一〇號 六年七月一〇日宣告 (六年六九八頁)

○二個以上ノ電氣事業ニ付公益上ノ價值ノ優劣ヲ決スルニハ先ツ其ノ電氣事業自體カ直接公衆ニ影響ヲ及ボス點ヲ基準トシテ考量セラルヘキモノニシテ其ノ電氣事業ニ依リ他ノ事業ヲ經營スルカ如キ場合ニ於テハ假令其ノ目的トスル事業カ公益上ノ價值ヲ有スルモノナリトスルモ其ノ公衆ニ及ボス影響ハ間接的ニシテ之ヲ直接公衆一般ニ影響ヲ及ボス電力供給事業ニ比シ公益上ノ價值寡少ナリト謂ハサルヘカラス

三年八一號 六年七月一〇日宣告 (六年六七七頁)

○特定ノ需用者ニ對スル電力供給事業ハ一般公衆ニ對スル電力供給事業ニ比シ公益上ノ價值ニ於テ劣ルモノトス

資本金ノ多寡ハ企業能力ノ優劣ヲ決定スル主ナル標準ナリ

三年一一〇號 六年七月一〇日宣告 (六年六九八頁)

參照

第一條 特別ノ規定アルモノノ外左ノ土木工事ハ此ノ規則ニ依リ縣知事ニ出願シ許可ヲ受クヘシ之ヲ變更セムトスル

土地 土木工事出願規則

三七三

第一條

同

同



土地 大正元年十一月十六日附内務省土木局長通牒 大正十五年九月二日附  
逓信省電氣局長依命通牒

三七四

トキ亦同シ

- 一 道路、橋梁、河川、堤防、溜池、用悪水路、堰埭、樋閘、水車場等ノ新設變更廢止
- 二 官有土地水面ニ附着シ又ハ横過シ若クハ其ノ地下ニ施設スル工作物ノ新設變更廢止
- 三 蒸氣力、電氣力、水力、瓦斯力、空氣力ヲ原動力トシ官有水面ヨリ引水シ又ハ官有水面ニ排水スル工事
- 四 河海ト陸地トノ交界及ヒ其ノ附近ノ狀態ヲ變更セムトスル工事

42 大正元年十一月十六日附内務省(明治四十五年土第三七七號)土木局長通牒

○大正元年十一月十六日附新潟縣知事ニ對スル内務省土木局長ノ通牒ハ法規タル性質ヲ有セス

四年四三二號 一一年六月二三日宣告 (一一年二九二頁)

參照

大正元年十一月十六日附内務省土木局長通牒

發電發動力ニ供スル水利使用願ノ義ハ多クノ府縣ニ在リテハ市區町村郡支廳ヲ經由セスシテ直ニ地方廳ニ提出セシムルモ今尙ホ該手續ニ依ラサル地方モ有之哉ニ聞及ヒ候ニ付自今右願書ハ直ニ地方廳ニ提出セシメ其許可セントスルモノニ付テハ地方廳ヨリ一定ノ期限ヲ付シ關係アル市區町村ニ諮問スルコトニ取扱方一定致候方可然ト存候ニ付爲念此段及通牒候也

43 大正十五年九月二日附(監第四八五四號)逓信省電氣局長依命通牒

○大正十五年九月二日附新潟縣知事ニ對スル逓信省電氣局長ノ依命通牒ハ内部的規定タルニ止マルモノトス

四年四三二號 一一年六月二三日宣告 (一一年二九二頁)

參照

大正十五年九月二日附逓信省電氣局長依命通牒

岩越電力株式會社田原阿賀野川水力使用變更ノ件

右ハ左記ニ據リ命令書ヲ變更シ何出ノ通處分相成可然候尤舟橋路及魚道ノ施設等ニ關シ水利使用上考慮ヲ要スルモノ

有之ニ付本件工事實施認可申請ニ對シテハ其ノ處分前豫メ稟何相成度

追テ處分濟ノ上ハ指令書並命令書寫ヲ添ヘ報告相成度

44 都市計畫法 (大正八年法律第三十六號)

○内務大臣ハ都市計畫法第一條ノ目的ノ範圍内ニ於テ都市計畫委員會ノ議ヲ經テ内閣ノ認可ヲ受ケ都市計畫

事業ノ變更ヲ爲スコトヲ得ルハ當然ナリ

大一年二二一號 大一年五月二二日宣告 (大一年四五三頁)

○都市計畫法第六條第二項ニ依ル費用負擔者ハ都市計畫法施行令第九條第四號大正九年内務省令第二十八號ニ依リ著シク利益ヲ受クル者トシテ指定セラレタル者ニシテ且内務大臣ノ定ムル區劃内ノ受益者ヲ謂ヒ且其ノ受クル利益ハ之ヲ金錢ニ見積ルコトヲ得ルモノノミヲ謂フト解スルヲ相當トス

大一年四九號 四年七月一八日宣告 (四年九五二頁)

○都市計畫法第六條第二項ニ所謂利益トハ都市計畫事業ニ因リ生スル土地ノ經濟的利益ヲ意味シ金錢ニ見積

リ得ルモノノミヲ指稱スルモノトス

二年二二號 五年七月二九日宣告 (一五年一一二三頁)

一二年一七二號 一六年九月二七日宣告 (一六年二三三頁)

○都市計畫法第六條第二項ニ所謂利益ヲ受クル者ニハ該事業ニ因リ著シキ利益カ已ニ生シタル後之ニ相當ス

土地 都市計畫法

三七五

第三條

第六條  
第二項

同

同



ル對價ヲ支拂ヒ其ノ土地ノ所有權又ハ使用權ヲ取得シタル者ヲ包含セス  
 都市計畫法施行令第九條第四號並大正九年內務省令第二十八號ニ基キ內務大臣ヨリ指定セラレタル者ト雖  
 モ現實ニ著シキ利益ヲ受ケサル者ハ受益者負擔金ヲ賦課セラルヘキモノニ非ス  
 內務大臣ハ都市計畫事業トシテ執行シタル工事ノ全部又ハ一部竣功シタル後ニ至リ已ニ竣功シタル部分ニ  
 對スル工事ノ費用ニ付過及シテ受益者負擔金ヲ命スルコトヲ得  
 工事ノ費用ニシテ負擔義務アル國若ハ公共團體ニ於テ之ヲ支拂ヒ受益者負擔金ヲ財源トシテ支辨スヘキ工  
 事ノ費用ナキニ至リタル後ニ於テハ受益者負擔金ヲ徵收スルコトヲ得サルモノトス  
 公債ニ依リ工事ノ費用ヲ支辨スルモノトシテ主務官廳ノ認可ヲ經タル都市計畫事業ニ付既ニ公債ニ依リ工  
 事ノ費用ノ支辨ヲ了シタル後ニ於テモ其ノ償還財源トシテ受益者負擔金ヲ豫定シタルト否トヲ問ハス右公  
 債ノ償還財源ト爲ス爲ニ受益者負擔金ヲ徵收スルモ違法ニ非ス  
 二年二二號 五年七月二十九日宣告 (五年一一二三頁)

○風致地區ノ指定ニヨリ假ニ不利益ヲ受クルコトアリトスルモ之カ爲ニ道路ノ改築ニ因リ著シク利益ヲ受ク  
 ル者ニアラスト爲スヘキニアラス  
 六年一八八號 七年五月二一日宣告 (七年四三八頁)

○關係內務省令ヲ以テ費用負擔者トシテ指定シタル者ニ該當スル者ト雖モ當該都市計畫事業ニ因リ著シク利  
 益ヲ受クル者ニ非サレハ受益者負擔金ヲ賦課セラルヘキモノニ非ス  
 六年二八六號 八年四月一日宣告 (八年一九八頁)

○道路ノ修築ニ因リ隣接土地ノ權利者カ著シク利益ヲ受クルハ普通ニ顯著ナル事例ナリ

六年二八六號 八年四月一日宣告 (八年一九八頁)

○都市計畫法第六條第二項ニ規定スル受益者負擔義務ハ東京都市計畫事業道路受益者負擔ニ付テハ決定通知  
 ニ依リ之ヲ受ケタル者ニ對シ具體的ニ發生スルモノニシテ各納期ニ於ケル納額告知書ノ交付ハ右決定通知  
 ニ依リ既ニ發生シタル負擔義務ノ履行ヲ命スル行政處分ナリ  
 前項負擔義務ハ決定通知ニ依リ負擔ヲ命セラレタル特定人ニ屬スル義務ニシテ土地所有權カ他人ニ移轉ス  
 ルモ負擔義務ハ之ニ伴ヒテ移轉スルモノニ非ス  
 都市計畫法第六條第二項ノ利益ハ東京都市計畫事業道路受益者負擔ノ關係ニ於テハ事業著手ノ日ニ於テ現  
 ハレタル利益ヲ指稱シ其ノ後現ハルヘキ利益ハ之ヲ包含セサルモノトス  
 東京都市計畫事業道路受益者負擔金ハ事業著手ノ日ノ後ニ於テ土地所有權ヲ取得シタル者ニ對シテ之ヲ賦  
 課スルコトヲ得ス  
 一二年一七二號 一六年九月二七日宣告 (一六年二三三頁)

○特別都市計畫法ニ依ル土地區劃整理ニ付テモ都市計畫法第十二條第二項ノ適用アルモノトス  
 都市計畫法第十二條ノ土地區劃整理ニ付テモ耕地整理法第六條ヲ準用スヘキモノトス  
 大一四年八七號 大一五年五月二〇日宣告 (大一五年三四七頁)

○都市計畫法第十三條ニ依リ公共團體ニ於テ都市計畫事業トシテ土地區劃整理ヲ施行スル場合ニ關スル同法  
 ノ規定ハ同法第十二條第二項ニ所謂別段ノ定ナリトス(判例變更)

大一五年一八九、一九七、二〇〇號 二年一二月二七日宣告 (二年一三三〇頁)



○土地區劃整理ノ施行ニ關シ換地豫定地ノ地番面積ヲ説明シタルニ過キサル通知ニ對シテハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス

三年一一四號 三年一〇月二三日宣告 (三年一一四頁)

○土地區劃整理組合設立ノ認可ニ對シテハ都市計畫法第十二條第二項ニ依リ準用シタル耕地整理法第八十六條ニ定ムル場合ニ於テ主務大臣ニ訴願ノ提起ヲ許シタルニ止マリ行政訴訟ノ提起ヲ許シタルモノニ非ス

三年二九九號 三年一月二七日裁決 (四年四七頁)

五年六〇號 五年三月一七日裁決 (五年四〇二頁)

八年三七五號 八年一月一日裁決 (八年九二七頁)

○都市計畫法第十二條第二項ノ規定アルモ耕地整理法ノ規定中性質上土地區劃整理ニ關シ準用スヘカラサルモフハ準用ノ限ニ在ラス

耕地整理法第六條ハ行政廳カ施行スル土地區劃整理ニ關シテハ性質上準用スヘカラサルモノトス

昭元年五四三號 四年五月二二日宣告 (四年五一〇頁)

○土地區劃整理ノ爲ニスル換地處分ニ於テ所謂目白押ノ方法其ノ他一定ノ標準ヲ以テスルコトハ換地指定ノ要件ニ非ス

二年二九七號 五年二月二二日宣告 (五年二三五頁)

○土地區劃整理ニ關シテハ都市計畫法第十二條第二項ノ規定ニ依リ耕地整理法ヲ準用スルカ故ニ同法第六條準用ノ結果土地所有者ハ土地區劃整理ノ施行ニ對シ異議ヲ述フルコトヲ得サルコトナリ從テ之ニ付行政訴訟ヲモ提起スルコトヲ得サルモノトス

同

同

同

同

同

同

同

同

同

三年三八號 六年七月七日裁決 (六年六七六頁)

○換地ハ從前ノ土地ノ地目、面積等位等ヲ標準トシテ之ヲ交付シ地目、面積等位等ヲ以テ相殺ヲ爲スコト能ハサル部分ニ關シテハ金錢ヲ以テ清算ヲ爲スモノトス

三年八八號 一〇年七月一〇日宣告 (一〇年五二六頁)

○換地及清算金額決定ノ通知ハ東京都市計畫事業土地區劃整理ニ關スル處分ナルヲ以テ都市計畫法第十二條第二項ニ依リ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外耕地整理法ヲ準用スヘキモノトス

六年三二四號 一〇年七月一九日宣告 (一〇年六一四頁)

○整理施行地ヲ競落ニ因リ取得シタル所有者ハ耕地整理法第五條第一項ニ所謂整理施行地ノ所有者ノ承繼人ニ該當ス

土地區劃整理ハ清算金徵集未済ノ間ハ完了セサルモノト解スヘキモノトス

土地區劃整理施行中土地所有權ノ移轉アリタル場合前所有者ニ對シ滯納處分又ハ納付義務取消ノ通告ヲ爲ササルノ故ヲ以テ新所有者ニ對スル清算金徵收處分ヲ違法ナリト爲スヲ得ス

耕地整理法第五條第一項ハ絕對の規定ニシテ競賣期日公告ニ清算金ノ掲載ノ有無ヲ問ハス之ヲ適用スヘキモノト解スルヲ相當トス

六年三二四號 一〇年七月一九日宣告 (一〇年六一四頁)

○耕地整理法第五條第一項ハ特別都市計畫法施行令第三十三條ノ告示後ト雖モ補償金ノ交付及清算金ノ徵收ノ手續結了セサル間ハ尙其ノ適用アルモノトス

耕地整理法第五條第一項ハ土地所有權ノ移轉カ公賣若ハ競賣ニ因ル場合ニモ其ノ適用アルモノトス



耕地整理法第五條第一項ハ公賣期日ノ公告ニ清算金負擔ノ掲載ノ有無ヲ問ハス其ノ適用アルモノトス  
八年二二四號 一〇年二月二七日宣告 (一〇年一一六八頁)

○特別都市計畫法ニ依ル土地區劃整理施行ノ結果整理施行地ノ借地權者ノ負擔スヘキ清算金納付義務ハ右義務發生後該土地ニ付土地ノ所有者トノ契約ニヨリ借地權ヲ取得シタル者ニ對シ移轉スヘキモノニアラス  
一四年三二號 一四年二月二日宣告 (一四年七三五頁)

○都市計畫法第十二條第一項ニ依リ土地區劃整理組合カ施行スル換地處分ニ付テハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得サルモノトス

一五年二三號 一五年三月二九日裁決 (一五年一七五頁)

一五年二四號 一五年三月二九日裁決 (一五年一七八頁)

○抵當權者ノ抵當權實行ニ依ル土地ノ競賣ニ際シ該土地ニ付土地區劃整理ニ伴フ清算金ヲ徵收シ得ル行政廳カ其ノ賣得金中ヨリ配當要求ヲ爲ササリシ場合ニ於テモ前所有者ノ清算金納付義務ハ該土地ノ競落人之ヲ承繼スヘキモノトス  
一五年八號 一五年四月二三日宣告 (一五年二一一頁)

○土地區劃整理ノ換地處分ニ付宅地ノ價格ヲ算定スルニ當リ公道ノ路線價ト私通ノ路線價トニ依リ算定シタル評定指數ヲ金額ニ換算シ之ニ相當スル換地及清算金ヲ交付シタルコトニ依リテ宅地ニ對スル換地ノ外ニ私道ノ敷地共ノモノニ對スル換地ヲモ交付シタルコトト爲ルモノニ非ス  
右ノ如キ方法ニ依リ宅地ヲ評價シタル場合ニ於テモ私道ハ無價值ノモノトナルモノニ非ス  
五年二三五號 一五年八月五日宣告 (一五年五七九頁)

第十三條 第二項

○都市計畫法第十三條第二項ハ公共團體ノ施行スル土地區劃整理ニ付同法ニ規定ナク又耕地整理法ヲ準用シ難キ事項ニ付勅令ヲ以テ必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得ル旨ヲ規定シタルニ止マリ同法ニ規定アル事項ニ付テハ當然同法ノ規定ヲ適用スヘキモノナルヲ以テ同法第十三條第二項及之ヲ準用シタル特別都市計畫法第九條ニ基ク勅令中ニ公共團體ノ施行スル土地區劃整理ニ關スル訴願及行政訴訟ニ付規定ナキノ故ヲ以テ直ニ耕地整理法ヲ準用シ訴願及行政訴訟ヲ許ササルノ法意ナリト解スヘキニ非ス  
一三年一七五號 四年二月九日宣告 (四年一一〇頁)

第十八條 第二項

○都市計畫法第十八條ニ依リ準用セラレタル土地收用法第十九條ニ基ク收用土地細目ノ通知ニ對シテハ都市計畫法其ノ他法令中行政訴訟ノ提起ヲ許シタル規定ナシ  
一三年一〇五號 一三年七月二一日裁決 (一三年五三一頁)

第二條

○都市計畫法第十八條第二項ハ同法第十七條ニ依リ建物其ノ他ノ工作物ヲ收用スル場合ニ於テ土地收用法ノ適用ニ付テハ該工作物ヲ土地ト看做ス旨ヲ規定セルモノニシテ都市計畫事業ノ一タル道路擴張ノ爲土地ヲ收用スル場合ニ於ケル地上工作物ニ關スル規定ニ非ス  
大二年一〇二號 二年一月一日宣告 (二年七四頁)

第二十條 第一項

○法定協議トシテ書面ヲ以テ申出テタル補償額カ其ノ以前ノ協議ニ於テ申出テタル金額ト異リ且之ニ對シ何等説明ヲ附セザリシトスルモ之ヲ以テ適法ノ協議ナカリシモノト云フヲ得ス  
一二年五八號 一二年六月二七日宣告 (一二年三一頁)

第二條

○都市計畫法第二十條第一項ニ依リ內務大臣カ收用ヲ裁定シタル土地ノ地上物件移轉料ノ補償ニ付收用審査會ニ於テ裁決スルニ當リ地上物件ノ所有者カ土地收用法第五十一條第二項ニ基キ地上物件ノ移轉ニ代ヘ之



カ收用ヲ請求シタル場合ニ於テハ收用審査會ニ於テ之ヲ裁決スヘキモノトス  
六年八五號 七年七月一六日宣告 (七年六六九頁)

○收用ノ目的物ニ非サル土地又ハ其ノ使用權ニ對シ收用審査會カ補償ノ裁決ヲ爲ササルハ當然ナリ  
一一年五八號 一一年六月二七日宣告 (一一年三一頁)

○特別都市計畫法第六條ニ依リテ行政廳ノ爲ス移轉命令ニ對シテハ同法第十一條ニ依リ準用シタル都市計畫法第二十五條ニ依リ訴願ヲ提起スルコトヲ得ルモノトス  
三年一七五號 四年二月九日宣告 (四年一一〇頁)

○都市計畫事業ノ變更處分カ同法第一條ノ目的ノ範圍ヲ超脱セサル以上ハ之ヲ公益ニ反スル違法ナリト云フヲ得ス  
大一一二年二二一號 大一一二年五月二二日宣告 (大一一二年四五三頁)

○都市計畫法第二十六條ハ同法第十二條第二項ニ所謂別段ノ定ニ非ス  
大一一四年八七號 大一一五年五月二〇日宣告 (大一一五年三四七頁)

○特別都市計畫法第六條ノ規定ニ基キ内務大臣ノ爲シタル移轉命令ノ執行ノ爲同大臣ノ爲シタル戒告ニ對シテハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス  
大一一四年二〇五號 二年三月一日宣告 (二年三五九頁)

二年八五號 二年四月九日裁決 (二年四六一頁)

○都市計畫法第二十六條ハ訴願ヲ經由セスシテ直ニ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ許シタルモノニ非ス  
三年一二九號 三年一二月二七日宣告 (四年一三頁)

同

三年一三〇號 三年一二月二七日宣告 (四年一九頁)

○土地區劃整理組合設立ノ認可ニ對シテハ都市計畫法第十二條第二項ニ依リ準用シタル耕地整理法第八十六條ニ定ムル場合ニ於テ主務大臣ニ訴願ノ提起ヲ許シタルニ止マリ都市計畫法第二十六條モ之ニ對シ行政訴訟ノ提起ヲ許シタルモノニ非ス  
三年二九九號 三年一二月二七日裁決 (四年四七頁)

○特別都市計畫法第六條ニ依リテ行政廳ノ爲ス移轉命令ニ對シテハ同法第十一條ニ依リ準用シタル都市計畫法第二十六條ニ依リ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ルモノトス  
三年一七五號 四年二月九日宣告 (四年一一〇頁)

二年二九七號 五年二月一二日宣告 (一五年二三五頁)

二年一三六號 五年七月一九日宣告 (五年一〇三六頁)

二年一六二號 六年二月六日宣告 (六年一二五頁)

大一一五年四九八號 六年二月二三日宣告 (六年一六九頁)

○特別都市計畫法第六條ニ依ル換地豫定地變更命令ニヨリ權利ヲ毀損セラレタリトスル者ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得  
代執行ハ都市計畫法第二十六條ノ處分ニ該當セサルモノトス  
三年二二一號 四年五月一八日宣告 (四年四八九頁)

○都市計畫法ニ依リ行政廳カ施行スル土地區劃整理ニ關シ耕地整理法第三十條第一項ノ準用ニ依リテ爲ス清算處分ハ都市計畫法ニ規定シタル事項ニ付行政廳ノ爲ス處分ニ外ナラス



元年五四三號 四年五月二二日宣告 (四年五一〇頁)

五年三一一號 六年一〇月九日宣告 (六年八九七頁)

三年八八號 一〇年七月一四日宣告 (一〇年五二六頁)

○特別都市計画法施行令第三十二條ノ内務大臣ノ認可ハ都市計画法第二十六條ニ所謂行政處分ニ非ス從テ該認可ニ對シテ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス

四年二三五號 四年九月一八日裁決 (四年九三五頁)

四年一五五號 五年一月二八日裁決 (五年一六五頁)

○都市計画法ニ依ル土地區劃整理ノ換地前ニ於ケル土地使用區域ノ指定ニ對シテハ行政訴訟ヲ提起スルヲ得サルモノトス

一〇年八號 一〇年三月二九日裁決 (一〇年一六五頁)

一〇年九號 一〇年三月二九日裁決 (一〇年一六五頁)

○特別都市計画法ニ依ル土地區劃整理施行ノ爲ニスル清算金處分ニ付テハ行政訴訟ヲ提起シ得ルモノトス  
一六年三二四號 一〇年七月一九日宣告 (一〇年六一四頁)

○東京市長カ特別都市計画法ニ依ル土地區劃整理ニ付爲シタル補償金決定ノ處分ニ對シテハ東京府知事ニ訴願シ其ノ裁決ヲ經タル後ニ非サレハ行政訴訟ヲ提起シ得サルモノトス  
一二年一一二號 一二年六月一三日裁決 (一二年二八一頁)

○東京市長カ特別都市計画法ニ依ル土地區劃整理ニ付爲シタル換地處分並補償金及清算金決定ノ處分ニ對シテハ東京府知事ニ訴願シ其ノ裁決ヲ經タル後ニ非サレハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得サルモノトス

一二年一一一號 一二年六月一六日裁決 (一二年二八二頁)

○都市計画法第十八條ニ依リ準用セラレタル土地收用法第十九條ニ基ク收用土地細目ノ通知ニ對シテハ都市計画法其ノ他法令中行政訴訟ノ提起ヲ許シタル規定ナシ  
一三年一〇五號 一三年七月二一日裁決 (一三年五三一頁)

○東京市長カ特別都市計画法第五條ニ依リ施行シタル土地區劃整理ニ基キ整理施行地所有者ヨリ清算金ヲ領收シタル行爲ニ付テハ行政訴訟ヲ提起スルヲ得ス  
一二年七六號 一四年三月一六日宣告 (一四年二〇五頁)

○行政廳カ特別都市計画法ニヨル土地區劃整理施行ニ基キ徵收スル清算金ノ滯納處分ニ關シテハ行政訴訟ヲ許スヘキモノトス  
一四年三二號 一四年一月二二日宣告 (一四年七三五頁)

○都市計画法第十二條第一項ニ依リ土地區劃整理組合カ施行スル換地處分ニ付テハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得サルモノトス  
一五年二三號 一五年三月二九日裁決 (一五年一七五頁)

一五年二四號 一五年三月二九日裁決 (一五年一七八頁)

○都市計画法及特別都市計画法ニ依リ行政廳ノ施行スル土地區劃整理ニ關シ耕地整理法第三十條第一項ノ準用ニ由リテ爲サルル處分ニ付テハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ルモノトス  
五年二三三號 一五年八月五日宣告 (一五年五七九頁)

○東京市區改正土地建物處分規則ニ依リ水道ノ敷地タルヘキ土地ヲ指定セル東京市長ノ告示ハ都市計画法第三十二條ノ處分ニ該當スルモノトス



土地 都市計畫法施行令 特別都市計畫法

○土地區劃整理組合ノ解散ヲ求ムルコトニ付テハ行政訴訟ヲ提起スルヲ得サルモノトス

一五年二二號 一五年三月二九日裁決 (一五年一七五頁)

一五年二四號 一五年三月二九日裁決 (一五年一七八頁)

45 都市計畫法施行令 (大正八年勅令第四百八十二號)

○關係內務省令ヲ以テ費用負擔者トシテ指定シタル者ニ該當スル者ト雖モ當該都市計畫事業ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ニ非サレハ受益者負擔金ヲ賦課セラルヘキモノニ非ス

道路ノ修築ニ因リ隣接土地ノ權利者カ著シク利益ヲ受クルハ普通ニ顯著ナル事例ナリ

六年二八六號 八年四月一日宣告 (八年一九八頁)

○內務大臣カ關係內務省令ヲ以テ費用負擔者トシテ指定シタル者ニ該當スル者ト雖モ當該都市計畫事業ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ニ非サレハ之ニ對シテ受益者負擔金ヲ賦課スルコトヲ得ス

一二年一七二號 一六年九月二七日宣告 (一六年二三三頁)

46 特別都市計畫法 (大正十二年法律第五十三號 昭和十六年法律第三十五號ニ依リ廢止)

○換地決定ヲ爲ス場合ニ於テ換地ノ位置、面積及清算金勘定ヲ同時ニ不可分のニ土地區劃整理委員會ニ諮問

スルコトヲ要スルモノニ非ス必要ニ應シ之ヲ分割シテ諮問スルコトヲ得ルモノトス

大一五年一八九、一九七、二〇〇 號 二年一月二七日宣告 (二年一三三〇頁)

二年一六二號 六年二月六日宣告 (六年一二五頁)

大一五年四九八號 六年二月三日宣告 (六年一六九頁)

○幅員四十四米突以上ノ幹線ハ國ニ於テ土地區劃整理ヲ爲スノ趣旨ヲ以テ國ノ豫算中議決セラレタリト假定スルモノノミニ依リ特別都市計畫法第五條及同法施行令第五條ニ基キ東京市告示ヲ以テ第十一地區ハ東京市長ノ區劃整理ヲ執行スヘキ區域タルコトヲ告示シ該告示ニ則リテ爲シタル區劃整理ヲ違法ナリト云フコトヲ得ス

二年一三六號 五年七月一九日宣告 (五年一〇三七頁)

○特別都市計畫法ニ依ル換地處分ニ關スル事項ハ土地所有者又ハ借地權者ノ承諾ヲ要スルモノニ非サルカ故ニ換地豫定地カ土地所有者等ノ承諾ヲ得タル豫定地ト相違セリトスルモノ之ヲ不法ナリト謂フヲ得ス

三年一一三號 六年五月二五日宣告 (六年四二二頁)

○特別都市計畫法第六條ニ依ル移轉命令ニ對シテハ行政訴訟ヲ提起スルヲ得ス

大一四年八七號 大一五年五月二〇日宣告 (大一五年三四七頁)

○特別都市計畫法第六條ニ依リ東京市長カ爲シタル移轉命令ニ對シテハ地方上級行政廳タル東京府知事ニ訴願シ其ノ裁決ヲ經タル後出訴スヘキモノトス

大一五年二一五號 大一五年一月二日裁決 (大一五年一一八五頁)

○特別都市計畫法第六條ニ依リテ爲ス移轉命令ニ對シテハ行政訴訟ヲ提起シ得ルモノトス(判例變更)

大一五年一八九、一九七、二〇〇 號 二年一月二七日宣告 (二年一三三〇頁)

二年二九七號 五年二月二日宣告 (五年二三三五頁)

二年一三六號 五年七月一九日宣告 (五年一〇三七頁)

土地 特別都市計畫法



二年一六二號 六年二月六日宣告 (六年一二五頁)  
六一五年四九八號 六年二月二三日宣告 (六年一六九頁)

○土地區劃整理ノ施行ニ關シ換地豫定地ノ地番面積ヲ説明シタルニ過キサル通知ニ對シテハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス

三年一一四號 三年一〇月二三日宣告 (三年一二四頁)

○特別都市計画法第六條ニ依リテ行政廳ノ爲ス移轉命令ニ對シテハ同法第十一條ニ依リ準用シタル都市計画法第二十五條ニ依リ訴願ヲ、同法第二十六條ニ依リ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ルモノトス

三年一七五號 四年二月九日宣告 (四年一一〇頁)

○特別都市計画法ニ依ル土地區劃整理施行ノ爲ニスル清算金處分ニ付テハ行政訴訟ヲ提起シ得ルモノトス

六年三二四號 一〇年七月一九日宣告 (一〇年六一四頁)

○東京市長カ特別都市計画法第五條ニ依リ施行シタル土地區劃整理ニ基キ整理施行地所有者ヨリ清算金ヲ領收シタル行爲ニ付テハ行政訴訟ヲ提起スルヲ得ス

一二年七六號 一四年三月一六日宣告 (一四年二〇五頁)

○行政廳カ特別都市計画法ニ依ル土地區劃整理ニ基キ徵收スル清算金ノ滯納處分ニ關シテハ行政訴訟ヲ許スヘキモノトス

一四年三二號 一四年一二月二日宣告 (一四年七三五頁)

○都市計画法及特別都市計画法ニ依リ行政廳ノ施行スル土地區劃整理ニ關シ耕地整理法第三十條第一項ノ準用ニ由リテ爲サル處分ニ付テハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ルモノトス

同

同

同

同

同

同

雜

第五條

第二十三條

第三十二條

五年二三三號 一五年八月五日宣告 (一五年五七九頁)

○東京市長施行ノ區劃整理地内ノ道路ノ鋪裝工事ヲ同一法律ニヨリ施行スヘシトノ法令ノ規定ナシ

九年二三七號 一〇年七月二〇日宣告 (一〇年六五二頁)

47 ●特別都市計画法施行令

(大正十三年勅令第四十九號 昭和十六年勅令第七十號ニ依リ廢止)

○幅員四十四米突以上ノ幹線ハ國ニ於テ土地區劃整理ヲ爲スノ趣旨ヲ以テ國ノ豫算中議決セラレタリト假定スルモノニ依リ特別都市計画法第五條及同法施行令第五條ニ基キ東京市長告示ヲ以テ第十一地區ハ東京市長ノ區劃整理ヲ執行スヘキ區域タルコトヲ告示シ該告示ニ則リテ爲シタル區劃整理ヲ違法ナリト云フコトヲ得ス

二年一三六號 五年七月一九日宣告 (五年一〇三七頁)

○換地位置ニ關スル議案及換地面積ニ關スル議案ニ付期限ヲ指定シテ諮問シタルニ委員全部カ右期限前ニ辭職シ而モ其ノ辭職カ清算金ニ關スル議案ノ提出ヲ要求シタルニ之ヲ拒絕セラレタルカ爲ニシテ右辭職ハ即チ意見ノ提出ヲ拒絕スル意思ノ表示ト認ムヘキ場合ニ於テ委員會カ所定ノ期間内ニ意見ヲ提出セサルモノトシテ施行者ニ於テ特別都市計画法施行令第二十三條ニ依リ換地位置並面積ニ付決定ヲ爲シタルハ違法ニ非ス

六一五年一八九、一九七、二〇〇 號 二年十二月二七日宣告 (二年一三三〇頁)

六一五年四九八號

六年二月二三日宣告 (六年一六九頁)

○特別都市計画法施行令第三十二條ハ東京市長ノ爲シタル換地處分並ニ清算金決定ノ處分ニ對シテ直ニ行政土地 特別都市計画法施行令



土地 特別都市計畫法第五條ノ土地區劃整理ニ伴フ精算金及補償ニ關スル法律  
土地區劃整理委員會ニ關スル件 東京郵市計畫事業道路受益者負擔ニ  
關スル件

三九〇

第三十三條

訴訟ノ提起ヲ認メタルモノト解スヘキニ非ス  
五年一二〇號 五年六月一七日裁決 (五年九〇三頁)  
〇耕地整理法第五條第一項ハ特別都市計畫法施行令第三十三條ノ告示後ト雖モ補償金ノ交付及清算金ノ徵稅ノ手續結了セサル間ハ尙其ノ適用アルモノトス  
八年二二四號 一〇年一二月二七日宣告 (一〇年一一六八頁)

第二條

〇大正十五年法律第五十二號第二條ニ依ル處分ニ對シテハ法令中行政訴訟ノ提起ヲ許シタル規定ナシ  
昭元年五〇九號 五年二月一八日宣告 (五年二六〇頁)  
昭元年五一八號 五年二月一八日宣告 (五年二六五頁)  
大一五年五〇七號 五年四月二四日宣告 (五年六〇五頁)

第四二項

49 ●土地區劃整理委員會ニ關スル件 (大正十二年內務省令第十二號 (昭和十六年內務省令第三十三號ニ依リ改正))  
〇土地區劃整理地區内ノ一ブロックノ土地ハ總テ關連的ニ整理セラレ不可分ノ關聯ニ在ルモノナルカ故ニ其ノブロック内ニ關係土地ヲ有スル整理委員ト雖モ該ブロックノ事項ノ決議ニ參與スルコトハ違法ニ非ス  
二年一三六號 五年七月一九日宣告 (五年一〇三七頁)

第四條

50 東京都市計畫事業道路受益者負擔ニ關スル件 (昭和四年內務省令第三十四號)  
〇公共團體カ道路ノ工事費ニツキ寄附又ハ國庫補助ヲ受ケタルトキハ其ノ受ケタル額ヲ工事費ヨリ減シ之ヲ

昭和四年內務省令第三十四條ノ「其ノ事業費」ノ額トナスヘキモノトス  
六年一八八號 七年五月二一日宣告 (七年四三八頁)

51 昭和二年三月內務省令第十一號東京都市計畫事業道路 (環狀線放射線) 受益者負擔ニ關スル件施行規程 (昭和二年東京府令第四十八號)

〇內務大臣カ關係內務省令ヲ以テ費用負擔者トシテ指定シタル者ニ該當スル者ト雖モ當該都市計畫事業ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ニ非サレハ之ニ對シテ受益者負擔金ヲ賦課スルコトヲ得ス  
〔二年一七二號 一六年九月二七日宣告 (一六年二三三頁)〕

參照

第一條ノ二 本令ニ於テ受益者ト稱スルハ大正九年九月內務省令第二十八號ニ拘ラス第二條ノ負擔區劃内ニ在ル土地ニ付左ニ掲クル者ヲ謂フ  
一 有租地ノ所有者  
(下略)

第五條

〇都市計畫法第六條第二項ニ規定スル受益者負擔義務ハ東京都市計畫事業道路受益者負擔ニ付テハ決定通知ニ依リ之ヲ受ケタル者ニ對シ具體的ニ發生スルモノニシテ各納期ニ於ケル納額告知書ノ交付ハ右決定通知ニ依リ既ニ發生シタル負擔義務ノ履行ヲ命スル行政處分ナリ  
前項負擔義務ハ決定通知ニ依リ負擔ヲ命セラレタル特定人ニ屬スル義務ニシテ土地所有權カ他人ニ移轉スルモ負擔義務ハ之ニ伴ヒテ移轉スルモノニ非ス  
〔二年一七二號 一六年九月二七日宣告 (一六年二三三頁)〕

土地 昭和二年三月內務省令第十一號東京都市計畫事業道路 (環狀放射線) 受益者負擔ニ關スル件施行規程

三九一



第六條

土地 大正十一年東京市告示第七十五號道路鋪裝工事費受益者負擔規程 三九二

參照

第五條 受益者ノ負擔スヘキ金額ハ負擔區毎ニ之ヲ通知ス負擔金ハ納額告知書ニ依リ納付スヘシ

○都市計畫法第六條第二項ニ所謂利益ハ東京都市計畫事業道路路受益者負擔ノ關係ニ於テハ事業著手ノ日ニ於テ現ハレタル利益ヲ指稱シ其ノ後現ハルヘキ利益ハ之ヲ包含セサルモノトス

東京都市計畫事業道路路受益者負擔金ハ事業著手ノ日ノ後ニ於テ土地所有權ヲ取得シタル者ニ對シテ之ヲ賦課スルコトヲ得ス

一二年一七二號 一六年九月二七日宣告 (一六年二三三頁)

參照

第六條 負擔金ハ當分ノ内之ヲ均等ニ二十分シ事業著手後二回別ニ定ムル期日ニ於ケル現在ノ受益者ヨリ納付セシム但シ受益者ノ申請ニ依リ負擔金ノ全部又ハ一部ヲ繰上納付セシムルコトヲ得

52 大正十一年東京市告示第七十五號道路鋪裝工事費受益者負擔規程

第一條

○明治神宮表參道ノ歩車道ノ境界、下水ノ設置等ニ要スル工事費ハ大正十一年東京市告示第七十五號道路鋪裝工事費受益者負擔規定第一條ニ所謂道路鋪裝工事費ニ該當スルモノト解スヘキモノトス

三年七八號 一〇年二月二八日宣告 (一〇年一一八八頁)

三年一〇四號 一〇年二月二八日宣告 (一〇年一一〇九頁)

參照

第一條 道路法第三十九條ノ規定ニ依ル道路鋪裝工事費(修繕費ヲ除ク)ノ一部ヲ沿道土地ノ權利者ニ負擔セシムル場合ニ於テハ本規程ノ定ムル處ニ依ル

53 大正十三年東京市告示第一百十一號

○大正十三年三月二十七日東京市告示第一百十一號ヲ以テ東京市長ニ於テ執行スル地區ト告示セラレタル地區ノ土地區劃整理ノ執行ニ關シテ同市長ノ爲シタル處分ハ同市長カ其ノ權限ニ基キテ爲シタル處分ニシテ行政官廳タル內務大臣ノ權限ニ屬スル事項ニ付同大臣ノ代理トシテ爲シタルモノニ非ス從テ右同市長ノ處分ハ同大臣ノ處分タル效力ヲ有セサルモノトス

三年二七六號 四年二月一八日宣告 (四年二二九頁)

54 京都都市計畫事業道路新設擴築受益者負擔ニ關スル件

(大正十三年內務省令第七號 昭和七年內務省令第八號ニ依リ廢止)

○大正十三年內務省令第七號ハ都市計畫法施行令ニ基クモノナルカ故ニ都市計畫法並同施行ノ日即大正九年一月一日以後ニ存在シタル都市計畫事業ニ因リ著シク利益ヲ受ケタル者ニ對シ之ヲ適用スルヲ妨ケサルモノトス

內務省令第七號ハ之ニ依リ新ニ費用負擔者即受益者ヲ指定シタルモノニ非ス

大正十三年內務省令第七號 (四年九五頁)

○內務省令第七號第一條ニハ「京都都市ハ都市計畫事業トシテ市長ノ執行スヘキ道路ノ新設又ハ擴築ニ要スル費用ニ充ツル爲本令ノ定ムルトコロニ依リ受益者ヲシテ費用ヲ負擔セシムヘシ」ト規定シアルニ過キスシテ徵收シタル負擔金ノ使途ニ付テハ同令中ニ別ニ規定スルトコロナキヲ以テ苟モ負擔金ニシテ京都都市都市計畫事業トシテ京都市長ノ執行スヘキ道路ノ新設擴築ニ要スル費用ニ充ツルモノナル以上ハ之ヲ他ノ路線

土地

大正十三年東京市告示第一百十一號

京都都市計畫事業道路新設擴

三九三

第一條



土地 大正十三年京都市告示第百十四號道路工事費特別負擔金徵收規程  
大阪都市計畫事業道路新設擴築受益者負擔ニ關スル件 三九四

第九條

○内務省令第七號第九條ノ規定ハ同令施行ノ際既ニ著手セル工事ニシテ都市計畫法及同法施行令施行以後ニ存在シタル工事ニ付テハ同令施行當時其ノ工事ノ竣成シタルト否トヲ問ハス同令施行ノ日ヲ以テ其ノ工事著手ノ日ト看做スノ義ト解スルヲ相當トス  
大正十四年四月九號 四年七月一八日宣告 (四年九五頁)

第二條

○道路擴築工事ト鋪裝工事トヲ併セ施行スル場合ハ大正十三年京都市告示第百十四號道路工事費特別負擔金徵收規程第二條ノ適用ニ關スル限リ同條ニ所謂道路擴築工事ト解スルヲ相當トス  
八年一〇〇號 一一年三月三日宣告 (一一年七五頁)

參照

第二條 前條ノ受益者負擔金ハ道路新設及擴築工事ニ在リテハ道路ノ兩側ニ於テ各道路ノ幅員ノ五倍以內鋪裝工事ニ在リテハ各與行二十間以內ノ地域内ニ於ケル有租地ノ所有者ニ之ヲ課ス賃權ノ目的タル土地ニ付テハ賃權者工事着手ノ日ヨリ起算シ十年ヨリ長キ期間ノ定アル地上權永作權又ハ賃借權ノ目的タル土地ニ付テハ地上權者永小作人又ハ賃借人ヲ費用負擔者トス  
同一ノ土地ニ付前項但書ノ權利二箇以上存スルトキハ其ノ最後ニ設定セラレタル權利者ヲ以テ費用負擔者トス土地ノ狀況ニ依リ必要ト認ムルトキハ第一項ノ規定ニ拘ラス其ノ區別ヲ定ム

56 ●大阪都市計畫事業道路新設擴築受益者負擔ニ關スル件

○都市計畫法ニ依ル受益者負擔金ノ賦課ハ大正八年十一月勅令第四百八十二號都市計畫法施行令第九條第四號ニ依ル内務大臣ノ指定ヲ其ノ前提トナスモ右賦課ハ内務大臣ノ處分ニアラス從テ内務大臣ヲ被告トシテ之カ取消ヲ求ムル行政訴訟ハ不適法ナリ  
四年一六九號 四年六月一一日裁決 (四年五六八頁)

(大正十一年内務省令第十七號 昭和八年内務省令第四號ニ依リ廢止)

57 ●大阪都市計畫事業道路新設擴築受益者負擔ニ關スル件

○大阪都市計畫事業ニ於ケル受益者負擔金ヲ減免スルハ大阪府知事ノ權限ニ屬シ同知事カ其ノ事務ノ一部ヲ代理セシムルコトヲ得ルハ其ノ所部ノ官吏ニ限ルモノトス  
一二年一〇〇號 一二年七月二一日宣告 (一二年二八二頁)

(昭和七年内務省令第十五號 同十三年内務省令第四十二號ニ依リ廢止)

58 ●濱松都市計畫事業道路廣場新築擴築受益者負擔ニ關スル件

○昭和二年七月内務省令第三十六號濱松都市計畫事業道路廣場新築擴築受益者負擔ニ關スル件第四條第一項第一號及昭和二年濱松市告示第四十九號濱松都市計畫受益者負擔金徵收手續第六條第四號ニ所謂土地ノ狀況トハ受益者負擔額ニ著シキ影響アルヘキ土地ノ狀況ノ義ト解スルヲ相當トス  
一三年一七五號 一四年七月二一日宣告 (一四年五七三頁)

(昭和二年内務省令第三十六號)

第四項條

土地 大阪都市計畫事業道路新設擴築受益者負擔ニ關スル件 濱松都市計畫 三九五



濱松都市計畫受益者負擔金徵收手續 東京市  
區改正條例第十四條地規定ニ依ル事業執行及營造物管理ニ關スル件  
市街地建築物法

第六項

59 濱松都市計畫受益者負擔金徵收手續 (昭和二年濱松市告示第四十九號)

○昭和二年七月內務省令第三十六號濱松都市計畫事業道路廣場新築擴築受益者負擔ニ關スル件第四條第一項第一號及昭和二年濱松市告示第四十九號濱松都市計畫受益者負擔金徵收手續第六條第四號ニ所謂土地ノ狀況トハ受益者負擔額ニ著シキ影響アルヘキ土地ノ狀況ノ義ト解スルヲ相當トス  
一三年一七五號 一四年七月二一日宣告 (一四年五七三頁)

60 ●東京市區改正條例 (明治二十一年勅令第二十一號 (大正八年法律第三六號ニ依リ廢止))

○明治二十一年法律第六十二號東京市區改正條例及東京市區改正土地建物處分規則ハ東京市ノ地域外ニ亘リテモ適用セラルヘキモノトス  
大一〇年二三一號 大一一一年五月一三日宣告 (大一一一年五一九頁)

61 ●東京市區改正條例第十四條ノ規定ニ依ル事業執行及營造物管理ニ關スル件 (大正七年勅令第八十一號 (同八年法律第三十六號ニ依リ廢止))

○東京市區改正條例及東京市區改正土地建物處分規則ハ東京市ノ地域外ニ亘リテモ適用セラルヘキモノトス  
大一〇年二三一號 大一一一年五月一三日宣告 (大一一一年五一九頁)

62 市街地建築物法 (大正八年法律第三十七號)

○市街地建築物法施行規則第四百十四條ノ規定ニ依ル建築物ノ増築届出ニ付テハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス  
七年一九一號 七年一〇月五日宣告 (七年七九〇頁)

第二十二條

第一條

第一項

同

○市街地建築物法第二十二條ニ依リ警察署長ノ處分ニ對シ行政訴訟ヲ提起スルニハ行政裁判法第十七條第一項ニ依リ地方上級行政廳ニ訴願シ其ノ裁決ヲ經タル後ナルコトヲ要ス

一〇年二〇八號 一〇年一月一一日裁決 (一〇年九四一頁)



第三十三條

附則  
第四號

第一條

第二條

第三條

### 九 財 務

#### 1 會 計 法 (大正十年法律第四十二號)

○納稅義務ノ承認ハ時效ヲ中斷スルモノトス

五年七五號 五年七月二一日宣告 (五年一〇八一頁)

○會社ノ大正六年十月一日ヨリ大正七年九月三十日ニ至ル事業年度ノ戰時利得稅ハ會計法附則第四項、舊會計法第十九條及會計法第三十二條ニ依リ大正十三年三月三十一日迄ハ時效ニ因リ義務ヲ免レ得サルモノナルヲ以テ大正十二年十二月二十七日ニ其ノ利得金額ヲ決定シ大正十三年一月九日ニ賦課徵收シタルハ違法ニ非ス

大正四年一一五號 大正四年二月二四日宣告 (大正四年一一四六頁)

#### 2 國庫出納金端數計算法 (大正五年法律第二號)

○分割シテ徵收スル特別稅戶數割ノ金額ニ在リテハ其ノ總額ニ付一錢未滿ノ端數ヲ切捨ツヘキモノトス

四年三八七號 五年二月一日宣告 (五年一九三頁)

○地價ニ付國庫出納金端數計算法第二條ノ規定ニ違背シテ一錢未滿ヲ一錢ニ切上計算シ之ニ基キテ地租附加稅ヲ賦課シタリトスルモ之カ爲該稅額ノ增加ヲ來ササルトキハ其ノ賦課ヲ取消スヘキ理由ト爲スヲ得ス

六年二二四號 八年四月一日宣告 (八年二六二頁)

○分割シテ徵收スル特別稅戶數割ノ金額ニ在リテハ其ノ總額ニ付一錢未滿ノ端數ヲ切捨ツヘキモノトス

財務 會計法 國庫出納金端數計算法



第四條

遊財 道府縣手数料令 重要物産ノ検査手数料ニ關スル件 出納官吏等ノ辨償責任ノ免除ニ關スル件 國有財産法  
四年三八七號 五年二月一日宣告 (五年一九三頁)  
○特別稅戶數割ヲ分割シテ徵收スル場合ニ於テ分割金額ニ一錢未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ其ノ端數ハ最初ノ徵收額ニ之ヲ合算スヘキモノトス  
四年三八七號 五年二月一日宣告 (五年一九三頁)

第一條

3 道府縣手数料令 (明治四十三年勅令第二百十九號)  
○明治四十三年勅令第二百十九號及同年農商務省令第六號ノ規定ハ穀物検査ノ事務カ本來國ノ事務ナルモ府縣ニ屬スルコトヲ認メタルモノト解スヘキモノトス  
大一年一〇一號 大一年二月二六日宣告 (大一年一七〇頁)

4 重要物産ノ検査手数料ニ關スル件 (明治四十三年農商務省令第六號)  
○明治四十三年勅令第二百十九號及同年農商務省令第六號ノ規定ハ穀物検査ノ事務カ本來國ノ事務ナルモ府縣ニ屬スルコトヲ認メタルモノト解スヘキモノトス  
大一年一〇一號 大一年二月二六日宣告 (大一年一七〇頁)

5 出納官吏等ノ辨償責任ノ免除ニ關スル件 (明治九年勅令第二十五號)

○町村長ノ基本財産及積立金亡失ニ因ル賠償責任ニ付テハ昭和九年勅令第二十五號 (出納官吏等ノ辨償責任ノ免除ニ關スル件)ヲ適用スヘキモノトス  
八年二二七號 一一年二月一八日宣告 (一一年六二六頁)

6 國有財産法 (大正十年法律第四十三號)

○河川及之ニ從屬スル公共用地ノ如キ所謂自然公共物ニ付テハ行政主體カ積極的ニ公共ノ用ニ供スル意思

第二條

ノ表示ヲ必要トセス

大一年一九二號 大一年五月一四日宣告 (大一年三四二頁)

○國有ノ公共用財産ハ公共ノ用ニ供セラルルコトカ絕對的ニ不可能ナル狀態トナラサル限り之ヲ以テ公共用物ノ形體的要件ノ喪失ト爲スコトヲ得ス  
六年二二九號 七年三月一八日宣告 (七年一六七頁)

○從來地方長官ノ職權ニ屬セシ官民有地ノ境界査定ノ權限カ國有財産法ノ施行ニ依リ各省大臣ニ歸屬シタルモノト認ムルヲ得ス  
大一年一九二號 大一年五月一四日宣告 (大一年三四二頁)

○國有ノ公共用財産ハ取得時効ノ目的タルコトヲ得サルモノトス  
六年二二九號 七年三月一八日宣告 (七年一六七頁)

○國有林野中要存置林ハ性質上取得時効ノ適用ヲ受クルコトナシ  
八年一〇一號 一〇年七月九日宣告 (一〇年五一三頁)

○法律勅令中國有雜種財産ノ拂下處分ノ取消及之カ拂下ヲ求ムルニ付行政訴訟ノ提起ヲ許シタル規定ナシ  
一三年八五號 一三年二月二四日裁決 (一三年八四六頁)

○土木工事現場監督員カ現場ニ於テ爲シタル道路境界線ノ査定ハ國有地ノ境界査定ニ非ス  
大一年一九九號 大一年七月三十一日宣告 (大一年七三四頁)

○國有財産法ニ依ル境界査定處分ニ付立會通知ニ關スル手續上ノ違法アルノ故ヲ以テ査定處分ヲ取消スヘキ理由ト爲スヲ得ス



同

○河川法ノ適用アル河川ノ敷地ト其ノ隣接民有地トノ境界査定ハ國有財産法並之カ附屬法令ノ規定ニ依リテ爲スヘキモノトス

道路法ノ適用ヲ受クル道路ノ敷地ト其ノ隣接民有地トノ境界査定ハ國有財産法並之カ附屬法令ノ規定ニ依リテ爲スヘキモノトス

境界査定ニ付國有地ニ隣接スル土地ノ所有者ニ對シテ立會ノ通知ヲ爲シタル後而モ立會ノ日ノ前日該土地ノ賣買登記アリタル場合ニハ右土地ノ賣主ニ對シテ爲サレタル立會通知ハ買主ニ對シテモ其ノ效力アルモノトス

三年一七一號 一〇年二月二日宣告 (一〇年一〇四頁)

○關係吏員カ出張實地ノ測量ヲ爲シ及現地ニ縣名記載ノ標柱ヲ設ケタリトスルモ之ヲ以テ國有財産法ニ所謂境界査定處分又ハ明治二十三年法律第六號第五號ニ所謂土地ノ官民有區分ノ査定ニ關スル處分アリタルモノト認ムルヲ得ス其ノ他法律勅令中斯ル場合ニ付行政訴訟ノ提起ヲ許シタル規定ナシ

一二年一一八號 一二年二月三日裁決 (一二年七〇九頁)

同

○國有財産法第十條及同法施行令第十五條ニ依リ隣接地所有者ノ立會ヲ求メテ爲ス境界査定ノ施行ハ境界査定處分ノ過程中ノ一部タル現地調査ニ過キサルヲ以テ隣接地所有者ニ於テ期日變更ヲ申出テタルトキハ既定ノ期日ニ隣接地所有者ノ立會ナクシテ現地調査官吏カ調査ヲ爲シタルト否トニ拘ラス境界査定處分ヲ終了スル迄ハ國有財産法施行令第十六號第一項ノ規定ニ依リ其ノ期日ヲ變更スルコトヲ得ヘク而モ斯クノ如キ場合ニ於テハ同令第十五條第二項ノ適用ナク從テ其ノ期日ハ七日前ニ之ヲ隣接地所有者ニ通知スルノ必

第十一條

同

要ナキモノトス

一〇年六八號 一五年二月二〇日宣告 (一五年六一頁)

○府縣知事カ或者ノ埋設シタル石標ヲ以テ官民有地ノ境界線ト爲スコトハ支障無キ旨其ノ者ニ通知シタルハ國有財産法ニ依ル境界査定處分又ハ明治二十三年法律第六號第五號ニ所謂土地ノ官民有區分ノ査定ニ關スル處分ト謂フヲ得ス從テ之カ取消モ亦右法令ニ依ル處分ニ該當セス

四年三七六號 四年一〇月一八日裁決 (四年一〇二三頁)

○過去ニ於テ既ニ效力ヲ生シタル官民有地ノ區分査定處分アリタルコトヲ通知スルハ査定處分ニアラス

一二年二五七號 一二年二月二日裁決 (一二年六三六頁)

○國有財産法第十三條ハ既ニ施行シタル境界査定處分ニ對シテノミ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ許シタルモノニシテ境界査定ノ申請ヲ拒否シタル處分ニ對シテモ出訴スルコトヲ許スノ法意ニ非スト解スルヲ相當トス

大一五年二八六號 大一五年一月一七日裁決 (大一五年一二一〇頁)

○國有財産ノ境界査定カ其ノ實質ニ於テ正當ナル以上之ヲ行ヒタル事由又ハ其ノ方法ニ違法アルノ故ヲ以テ之ヲ取消スノ要ナキモノトス

三年二五三號 四年六月一〇日宣告 (四年六〇一頁)

○官有地竝沼地拂下ノ免許ヲ求ムル行政訴訟ヲ許シタル規定ナシ

七年三號 八年九月一九日裁決 (八年六七〇頁)

7 國有財産法施行令 (大正十一年勅令第十五號)

財務 國有財産法施行令



第十四條

○河川法ノ適用アル河川ノ敷地ト其ノ隣接民有地トノ境界査定ハ國有財産法並之カ附屬法令ノ規定ニ依リテ爲スヘキモノトス  
道路法ノ適用ヲ受クル道路ノ敷地ト其ノ隣接民有地トノ境界査定ハ國有財産法並之カ附屬法令ノ規定ニ依リテ爲スヘキモノトス

三年一七一號 一〇年二月二一日宣告 (一〇年一一〇四頁)

第十五條

○境界査定ニ付國有地ニ隣接スル土地ノ所有者ニ對シテ立會ノ通知ヲ爲シタル後而モ立會ノ日ノ前日該土地ノ賣買登記アリタル場合ニハ右土地ノ賣主ニ對シテ爲サレタル立會通知ハ買主ニ對シテモ其ノ效力アルモノトス

三年一七一號 一〇年二月二一日宣告 (一〇年一一〇四頁)

同

○國有財産法第十條及同法施行令第十五條ニ依リ隣接地所有者ノ立會ヲ求メテ爲ス境界査定ノ施行ハ境界査定處分ノ過程中ノ一部タル現地調査ニ過キササルヲ以テ隣接地所有者ニ於テ期日變更ヲ申出テタルトキハ既定ノ期日ニ隣接地所有者ノ立會ナクシテ現地調査官吏カ調査ヲ爲シタルト否トニ拘ラス境界査定處分ヲ終了スル迄ハ國有財産法施行令第十六條第一項ノ規定ニ依リ其ノ期日ヲ變更スルコトヲ得ヘク而モ斯ノ如キ場合ニ於テハ同令第十五條第二項ノ適用ナク從テ其ノ期日ハ七日前ニ之ヲ隣接地所有者ニ通知スルノ必要ナキモノトス

一〇年六八號 一五年二月二〇日宣告 (一五年六一頁)

第十六條

○國有財産法第十條及同法施行令第十五條ニ依リ隣接地所有者ノ立會ヲ求メテ爲ス境界査定ノ施行ハ境界査定處分ノ過程中ノ一部タル現地調査ニ過キササルヲ以テ隣接地所有者ニ於テ期日變更ヲ申出テタルトキハ既

第三條

○國稅徵收法第三條及同法施行規則第十二條第二項ノ證明ハ自ラ公正證書ヲ提出セサルモ之ヲ提出スルト同様ノ目的ヲ達スヘキ證明方法ヲ採ルヲ以テ足レリトス

土地登記簿謄本ハ同法第三條ニ所謂公正證書ニ該當ス

三年三九號 三年六月二八日宣告 (三年八一七頁)

○納税人ニ對スル債權者カ國稅ニ對シ其ノ債權ノ優先權ヲ主張スルニハ國稅徵收法第三條ニ依リ其ノ質權又ハ抵當權ノ設定カ國稅ノ納期限ヨリ一箇年前ニ在ルトコトヲ公正證書ヲ以テ證明スルコトヲ必要トシ事實上稅務署長ニ於テ該事實ヲ知り居ルト否トヲ問ハサルモノトス

三年三二二號 四年三月一九日宣告 (四年二七八頁)

○國稅徵收法第三條ハ納税人ノ財産上ニ根抵當權ノ設定アリタル場合ニ於テ其ノ根抵當權設定ノ時カ國稅ノ納期限ヨリ一箇年前ニ在ルトキハ之ニ依リテ擔保セラルル債權發生ノ時期如何ヲ問ハス國稅ヲ先取セサル法意ト解スルヲ相當トス

五年三〇九號 六年五月二二日宣告 (六年四九一頁)



○國稅徵收法第三條ニ所謂納期限ハ法定ノ納期限及隨時ノ納期限ヲ指稱スルモノニシテ同法第四條ノ一ニ依リ繰上徵收ヲ爲シ同法施行規則第三條ニ依リ納期日ヲ指定シタル場合ニアリテハ之ニ因リ法定ノ納期限ハ當然消滅シ右指定ノ納期日カ之ニ代ルモノナルヲ以テ同法第三條ノ適用ニ付テハ繰上徵收ノ納期日ヲ同條ニ所謂納期限ト解スルヲ相當トス

八年四月一八號 九年五月一〇日宣告 (九年二七二頁)

○國稅徵收法第三條ニ所謂納稅人トハ納稅義務ヲ負擔スル者ノ義ニシテ主タル納稅者ハ勿論第二次ノ納稅義務者タル會社ノ無限責任社員ヲモ包含スルモノトス

七年二六八號 一〇年七月一日宣告 (一〇年五四八頁)

○從來ノ根抵當權登記ノ抹消登記ヲ爲シ更ニ根抵當權設定登記ヲ爲シタル場合ニ該根抵當權ト從來ノ根抵當權トカ夫々其ノ根抵當權者、根抵當權設定者ニ於テ異ナル所ナク而モ附記登記ヲ以テ取引期限ヲ延長シ得ヘキ場合ナルニ拘ラス從來ノ各根抵當權ヲ解除シ同時ニ設定シタルモノナルコトヲ認メ得ヘキ場合ニ於テハ國稅徵收法第三條ノ適用ニ關スル限リ後ノ根抵當權ハ從來ノ根抵當權ノ繼續シタルモノト認ムルヲ相當トス連帶保證債務者ノ變更、擔保物件ノ追加及延帶利息ノ利率ノ變更アルモ之カ爲根抵當權ノ同一性ヲ失ハシムルモノニ非ス

七年一八二號 一〇年一〇月一九日宣告 (一〇年八三二頁)

○國稅徵收法第三條所定ノ債權者カ税金ニ優先シテ公賣代金ヨリ其ノ債權ノ辨濟ヲ得ンカ爲ニハ右債權者ニシテ同法第二十八條第三項ノ抵當證券所持人ニアラサル限リ其ノ債權並抵當權等ヲ公賣決行ノ時迄ニ證明セサルヘカラス

第四條ノ二 第二項

一三年一八一號 一五年三月一四日宣告 (一五年一二七頁)

○前差押ヲ取消シ更ニ差押ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ事由ノ如何ヲ問ハス後ノ差押ノ日ノ前日迄ノ日數ニ依リ延滞金ヲ計算スルハ正當ナリ

五年一九號 五年七月一八日宣告 (五年一〇二九頁)

○共有地ニ付テノ村稅地租附加稅ノ徵收ニ關スル徵稅令書、督促令狀及差押調書ノ共有者ノ一人ニ對スル送達ハ他ノ共有者ニ對シテモ亦其ノ效力ヲ有ス

大九年一〇號 大一年二月一六日宣告 (大一年五三頁)

○納稅ノ告知、督促又ハ滯納處分ニ關スル書類ニシテ名宛人ノ住所又ハ居所ニ送達セラレタルトキハ其ノ受取人ハ納稅義務者ナルコトヲ要件トセス

大九年一〇號 大一年二月一六日宣告 (大一年五三頁)

○差押調書原本ハ納稅人ノ家族カ之ヲ受領シタル以上納稅人ニ送達アリタルモノト爲スヘキモノトス

一四年一七號 一四年二月二六日宣告 (一四年八三六頁)

一二年二〇一號 一五年五月二五日宣告 (一五年二五六頁)

○町稅徵收ノ爲實施シタル差押ヲ解除スル場合差押解除通知ノ書面ヲ町役場ニ於テ滯納者ニ交付シタルトキハ其ノ時ニ該解除ニ關スル書面送達ノ效力ヲ生スルモノトス

一二年一八四號 一五年五月二五日宣告 (一五年二四七頁)

一二年二〇一號 一五年五月二五日宣告 (一五年二五六頁)

○滯納者カ有シタル營業權ノ公賣處分ニ關スル計算書ニシテ其ノ受取人カ其ノ滯納者ナルコトヲ表示シテ爲



シタル公告ハ國稅徵收法第四條ノ八ニ所謂書類ノ要旨ノ記載ヲ缺クモノニ非ス  
四年一八二號 四年二月一三日宣告 (四年一三〇三頁)

○納稅義務者ノ住所カ現ニ一定ノ場所ニ在ルニ拘ラス稅務署長カ之ヲ不明ト認メ國稅徵收法第四條ノ八ヲ適用シテ納稅告知書及差押通知書ヲ公示送達ニ付シタルハ違法ニシテ其ノ送達ハ無効ナリ  
五年六七號 七年二月二三日宣告 (七年一一五四頁)

○國稅徵收法ニ依ル不動産不動産ノ差押ノ順序ニ付テハ動産ヲ先ニスヘキ旨ノ規定ナシ  
大一年二四三號 大一年七月五日宣告 (大一年六九四頁)

○租稅賦課處分ニ對シ法定ノ訴願期間内ニ訴願ノ提起ナク該處分ノ取消ヲ求ムルコトヲ得サルニ至リタル以上ハ該處分カ當然無効ニ非サル限り之ニ基キテ爲シタル滯納處分ヲ失當ナリト謂フヲ得ス  
大二年一〇七號 大一年五月二二日宣告 (大一年三一一頁)

○差押執行吏タル資格ナキ者ノ爲シタル差押處分ハ違法ニシテ取消スヘキモノトス  
大一年一四一號 大一年三月二七日宣告 (大一年一六七頁)

○甲鑛區ニ關スル稅金等徵收ノ爲其ノ滯納者カ有スル乙鑛區ノ鑛業權ニ對シ滯納處分ヲ行フコトヲ得ルモノトス  
四年五四二號 五年六月二〇日宣告 (五年八一六頁)

○一旦差押ヲ爲シタル後ト雖モ之ヲ取消シ更ニ差押ヲ爲スハ當該吏員ノ職權ニ屬スルモノトス  
差押處分ニ對スル訴願ノ繫屬中ト雖モ當該吏員ニ於テ該差押ヲ取消スコトヲ妨ケス  
五年一一九號 五年七月一八日宣告 (五年一〇二九頁)

五年一一九號 五年七月一八日宣告 (五年一〇二九頁)

同

第十條

同

同

同

同

同

同

同

同

同

○國稅滯納處分ニ因ル差押處分ノ取消ハ該處分ニ因リテ生シタル一切ノ法律的效果ヲ消滅セシムルノ效力ヲ有スルモノトス  
五年七五號 五年七月二一日宣告 (五年一〇八一頁)

○租稅滯納處分タル差押アリタル後ニ於テハ差押物件ノ處分ハ差押債權者ニ對シハ無効ナルモノトス  
四年五四七號 五年九月一七日宣告 (五年一一九二頁)

○租稅滯用處分ノ差押ニ於テ差押財產ノ價額カ徵收金額ニ比シ多額ナルモ之ヲ以テ違法ト爲スヲ得ス  
五年一〇八號 五年二月二二日宣告 (五年一五一五頁)

○強制管理中ノ不動産ノ元物ニ對シテハ收稅官吏カ國稅徵收法第十條及第二十四條ニ依リ自ラ差押及公賣ヲ行フコトヲ妨ケラルルコトナシ  
五年二八三號 六年三月二〇日宣告 (六年二五〇頁)

○滯納者カ差押財產以外ニ他ニ滯納稅金ニ相當スル價格ノ財產ヲ有スルニ拘ラス右滯納稅金額ニ比シ過當ナル不動産ノ差押ヲ受クルモ右差押處分ヲ違法ナリトスルヲ得ス  
六年二九一號 七年三月二八日宣告 (七年一九〇頁)

六年二九一號 七年三月二八日宣告 (七年一九〇頁)

六年三三二號 七年三月二八日宣告 (七年一九七頁)

六年三三三號 七年三月二八日宣告 (七年二〇〇頁)

六年二九二號 七年三月二八日宣告 (七年二〇四頁)

六年二九〇號 七年三月二八日宣告 (七年二〇八頁)

六年三三三號 七年三月二八日宣告 (七年二七六頁)



同

同

同

同

同

同

同

○ 滯納處分ノ執行ニ當リ多數ノ村吏員等ヲシテ之ニ從事セシムルモ違法ニ非ス

六年三八五號 七年三月二八日宣告 (七年一九三頁)

○ 納税ノ告知ナクシテ爲サレタル差押處分ハ違法ナリ

五年六七號 七年二月二三日宣告 (七年一五四頁)

○ 稅務署長ハ國稅滯納處分ヲ執行スルノ權限アルモノトス

稅務署長ハ部下ノ官吏ニ財產差押ヲ命シタルトキト雖モ自ラ當該國稅滯納處分ニ屬スル爾後ノ手續ヲ續行

スルコトヲ妨ケラレサルモノトス

八年一八五號 八年一〇月二八日宣告 (八年八三五頁)

○ 孰レノ物件ヲ差押フルカハ收稅吏員ニ於テ適宜ニ之ヲ選擇スルコトヲ得ルモノナリ

九號年一七 九年五月二二日宣告 (九年三〇七頁)

○ 滯納者ノ所有ニ屬セサル物件ハ滯納者ノ同居家族ノ生活上缺クヘカラサル物ナルト否トニ關係ナク之ヲ差

押フルコトヲ得サルモノトス

一〇年二〇二號 一二年六月一七日宣告 (一二年二一三頁)

○ 國稅徵收法其ノ他關係法令ニハ滯納者ノ財產ニ付差押ノ順序ヲ一定シ又ハ過剩差押ヲ禁止スル趣旨ノ規定

存セス

一二年一〇四號 一二年一月一八日宣告 (一二年六五三頁)

○ 租稅滯納處分ノ爲メ差押ノ目的タル不動産カ一筆ナルトキハ假令其ノ價格カ滯納金額ニ比シ過大ナリトス

ルモ之ヲ以テ差押ヲ違法ト爲スニ足ラス

同

同

第十一條

同

同

同

一二年三三三號 一四年五月八日宣告 (一四年三四二頁)

○ 租稅滯納處分ハ徵稅機關カ強制徵收ノ目的ヲ以テ爲ス差押、公賣等各種處分ノ總體ヲ指稱スルモノトス

租稅滯納處分ニ於テ訴願訴訟ノ對象タルモノハ差押、公賣等ノ各個ノ行政處分ナルヲ以テ之ニ對スル訴

願、訴訟ノ期間モ右各處分ノアリタル日ヨリ之ヲ計算スヘキモノトス

一〇年二〇〇號 一四年二月一四日宣告 (一四年八一四頁)

○ 縣稅滯納處分トシテノ差押財產ノ選擇ハ法令上特ニ制限アルモノノ外當該吏員ノ任意ナリ

一四年九七號 一五年一月二二日宣告 (一五年七頁)

○ 國稅徵收法第十一條及同法施行規則第十六條第二項ハ孰レモ滯納處分ノ有效條件ヲ規定シタルモノニ非ス

三年二六號 三年六月二一日宣告 (三年八〇七頁)

○ 國稅徵收法第十一條ニ違反スルノ故ヲ以テ差押處分ヲ無効トスヘキニ非ス

三年一四〇號 四年七月一九日宣告 (四年八一四頁)

○ 町村稅滯納處分執行ノ際當該吏員タル證票ノ携帶及其ノ提示ナカリシノ故ヲ以テ其ノ滯納處分ヲ違法ナリ

ト云フヲ得ス

三年二六三號 四年六月二八日宣告 (四年七一三頁)

○ 村稅滯納者ノ財產差押ノ權限アル町村吏員カ村稅滯納者ノ財產差押ヲ爲シタルトキハ其ノ差押調書ニ其ノ

差押吏員タル旨ノ肩書ヲ記載セス又差押吏員タルノ證票ヲ示サストスルモ其ノ差押ハ違法ニアラス

六年三二八號 七年六月二日宣告 (七年四九一頁)

○ 租稅滯納處分ノ執行者カ國稅徵收法第十一條ニ違反スルモ之カ爲其ノ滯納處分ヲ取消スヘキ限ニ在ラス



六年二三四號 七年一〇月一五日宣告 (七年八四二頁)

六年二二六號 七年一〇月一五日宣告 (七年八五三頁)

○國稅徵收法第十一條ハ滯納處分ノ有效條件ヲ定メタルモノニアラス

九年二〇六號 一〇年一〇月一五日宣告 (一〇年八一七頁)

一三年七一號 一三年一月一四日宣告 (一三年七〇八頁)

○町村稅滯納者財產差押證票交付ニ關スル町村長ノ命令書ニ町村長自ラ記名捺印スヘキコトヲ命シタル法規ナシ

一二年二九一號 一四年二月二〇日宣告 (一四年一〇五頁)

○公賣期日及再公賣期日ニ於テ入札者ナク公賣處分ヲ遂行スルヲ得サリシコトノミヲ以テ滯納處分ヲ中止シタリト爲スヘキモノニ非ス

大一〇年二三八號 大一一一年一月四日宣告 (大一一一年一一七頁)

○國稅徵收法第十二條ハ當該行政廳カ滯納處分ヲ遂行スヘキ義務ナキコトヲ規定シタルニ止マリ之ヲ遂行スルモ其ノ處分ヲ違法ナリトスル趣旨ニ非ス

三年三九號 三年六月二八日宣告 (三年八一七頁)

○國稅徵收法第十二條ハ收稅官吏ニ於テ差押財產ノ價格ニ殘餘ヲ生スル見込ナキコトヲ認メタルトキハ滯納處分ノ執行ヲ止ムヘキコトヲ定メタルニ過キスシテ同法第三條ニ依ル債權者ノ申立トハ直接ノ關係ナキモノトス

五年三三四號 六年三月一六日宣告 (六年二二四頁)

○國稅徵收法第十二條所定ノ場合ニ於テ滯納處分ヲ遂行スルハ違法ニ人民ノ權利ヲ毀損スルモノトス (判例變更)

七年八三號 七年二月二一日宣告 (七年一〇九八頁)

○滯納處分トシテ差押ヘタル財產ノ價格カ督促手數料滯納處分費及國稅徵收法第三條ニ依リ控除スヘキ債權額ニ充テ殘餘ヲ得ルノ見込ナク而モ他ニ差押フヘキ財產ナキ場合ニ於テハ同法第十二條ニ依リ右滯納處分ノ執行ヲ止ムヘキモノトス

七年二二六號 八年二月二日宣告 (八年四一頁)

八年一二號 八年三月二八日宣告 (八年一九四頁)

○差押物件ノ價格ニ不足アルモ其ノ價格カ督促手數料、延滞金、滯納處分費及國稅徵收法第三條ノ規定ニ依リ控除スヘキ債務額ニ充テ殘餘ヲ得ル見込ナキトキニ非サレハ差押ヲ中止スヘキニ非ス

九年一七號 九年五月二二日宣告 (九年三〇七頁)

○縣稅滯納處分ノタメ差押ヘタル財產ノ價格ニシテ督促手數料、延滞金、滯納處分費及國稅徵收法第三條ニ依リ控除スヘキ債務額ニ充テ殘餘ヲ得ル見込ナキトキハ他ニ差押ヘ得ヘキ財產ニアリテ其ノ價格ト右差押財產ノ價格トヲ合セタルモノニシテ右債務額ニ充テ殘餘ヲ得ル見込アル場合ニ於テモ公賣落札決定マテニ差押財產ノ價格ニ殘餘ヲ生スル見込アルニ至ラサル限り其ノ差押ヘタル財產ノ公賣處分ハ同法第十二條ニ則リ之ヲ止ムヘキモノトス

一二年六八號 一三年七月一六日宣告 (一三年四四八頁)

○公賣財產ノ價格ニシテ督促手數料、延滞金、滯納處分費及國稅徵收法第三條ニ依リ控除スヘキ債務額ニ充



テ殘餘ヲ得ル見込ナキトキハ差押ヲ爲シタル後ト雖モ同法第十二條ニ則リ滯納處分ノ執行ヲ止ムヘキモノトス

一五年七八號 一六年一月一四日宣告 (一六年一頁)

○國稅徵收法第十四條ハ差押物件ニ所有權ヲ主張スル第三者カ其ノ差押處分ニ關シ訴願ヲ提起スルコトヲ禁シタルモノトス

二年二一五號 三年七月七日宣告 (三年八八九頁)

○國稅徵收法第十四條ハ差押財産ノ取戻ニ關スル規定ニシテ差押處分ニ對スル訴願提起ニ關スル規定ニ非ス

三年二五四號 四年三月二八日宣告 (四年三二三頁)

○滯納者ノ所有ニ屬セサル物件ハ滯納者ノ同居家族ノ生活上缺クヘカラサル物ナルト否トニ關係ナク之ヲ差押フルコトヲ得サルモノトス

一二年二〇二號 一二年六月一七日宣告 (一二年二二三頁)

○收稅吏員カ他ノ物件ヲ提供スルトキハ差押ヲ爲ササルヘキ旨ヲ告ケタルニ拘ラス納稅義務者カ之ヲ提供セザリシニ於テハ國稅徵收法第十七條掲記ノ物件ヲ差押ヘ且之ヲ運搬スルモ違法ト爲スヲ得ス

六年三八五號 七年三月二八日宣告 (七年一九三頁)

○自轉車ハ賣藥行商ニ從事スル者ノ爲職業上必要ナル器具ト認ムヘキモノトス

六年二三五號 七年一〇月一五日宣告 (七年八四八頁)

○國稅徵收法ニ依リ收稅官吏カ不動産ノ差押ヲ爲ス場合ニハ立會人ヲ要セサルモノトス

大一三年一八〇號 大一四年一月二三日宣告 (大一四年二九頁)

第二十一條

同

第十七條

第十六條

同

第十四條

第二十二條  
第一項

○租稅滯納處分トシテ動産ノ差押ヲ爲ス場合ニハ差押調書謄本ノ交付ナキモ之カ差押ノ效力ナシト云フヲ得ス

三年八二號 三年七月七日宣告 (三年八九五頁)

大一五年三八七號 二年一月五日宣告 (二年一五六頁)

○動産ニツキ差押調書ヲ作成シ第三者ニ其ノ保管ヲ命スルモ之ヲ以テ國稅徵收法第二十二條第一項ノ手續有  
效ニ行ハレタリト云フヲ得サルヲ以テ其ノ物件ノ公賣處分ハ違法ナリ

一一年八九號 一一年七月二一日宣告 (一一年四七二頁)

一一年九二號 一一年七月二一日宣告 (一一年四七五頁)

○動産ノ差押ハ之ヲ占有スルニ因リテ效力ヲ生スルモノナルヲ以テ差押調書ノ謄本ヲ送達シタルニ止マル場  
合ニ於テハ差押ハ無効ナリ

一二年三五號 一三年三月一一日宣告 (一三年一五〇頁)

○税金等ノ滯納ノ事實アル以上滯納者ノ病臥セル老母ノ枕邊ノ動産ヲ差押ヘ爲シ老母カ起ツ能ハサルニ至リ  
タレハトテ其ノ差押處分ヲ違法ト爲スヘキニ非ス

一五年三〇號 一五年五月六日宣告 (一五年二一八頁)

○府縣稅滯納處分ニ關係アル府縣吏員動産ヲ差押フルニ際シ自ラ占有ヲ爲ササル場合ニ於テハ封印其ノ他ノ  
方法ヲ以テ差押ヲ明白ニスルニ非サレハ差押ノ效力ヲ生セサルモノトス

一四年一一八號 一六年二月二八日宣告 (一六年三五頁)



同 但同 書項條

○ 滞納處分ノ際當該吏員カ差押物件ニ封印紙ヲ貼付セザリシノ一事ヲ以テ該處分カ國稅徵收法第二十二條第一項但書ノ規定ニ違背スルモノト謂フコトヲ得ス

三年一四一號 三年一〇月二日宣告 (三年一六六七頁)

○ 金錢債權ヲ債權差押ノ手續ニ依ラスシテ動産差押ノ手續ニ依リ差押フルハ違法ナリ

大一三三一年一四一號 大一四年三月二七日宣告 (大一四年一六七頁)

○ 恩給受給權ノ差押處分ニ對スル滞納者ノ訴願期間ハ其ノ者カ右差押處分アリタルコトヲ知リタル日ノ翌日ヨリ起算スヘキモノトス

一五年七六號 一五年一〇月二四日宣告 (一五年六一九頁)

○ 鑛業稅ノ滞納ニ付當該鑛業權ノ差押ヲ爲ス場合收稅官吏カ國稅徵收法第二十三條ノ二ノ規定ニ依リ共同鑛業權者ノ代表者ニ對シ其ノ差押ヲ通知シタルトキハ該差押處分ハ他ノ共同鑛業權者ニ對シテモ亦其ノ效力ヲ生スルモノト解スルヲ相當トス

一四年五七號 一四年一月二一日宣告 (一四年七〇二頁)

○ 強制管理中ノ不動産ノ元物ニ對シテハ收稅官吏カ國稅徵收法第十條及第二十四條ニ依リ自ラ差押及公賣ヲ行フコトヲ妨ケラルルコトナシ

五年二八三號 六年三月二〇日宣告 (六年二五〇頁)

○ 租稅滞納處分ニ於テ差押物件中公賣ニ付スルモノハ稅金其ノ他徵收金額ヲ收納スルニ必要ナル限度ニ止ムヘキモノトス

四年九四號 六年九月二七日宣告 (六年八五九頁)

同

第二十四條 第一項

同條ノ二 第一項

第二十三條 第一項

同

同

同

同

同

同

同

○ 一括シテ債權ノ擔保トナリ居ルモノト雖モ必シモ一括シテ公賣スルノ要ナキモノトス

七年八三號 七年二月二一日宣告 (七年一〇九八頁)

○ 納稅ノ告知ナクシテ爲サレタル公賣處分ハ違法ナリ

五年六七號 七年二月二三日宣告 (七年一一五四頁)

○ 滞納者ニ對シ差押及公賣期日ノ通知ナシトスルモ公賣處分ハ違法ニ非ス

五年二二三號 八年三月二〇日宣告 (八年一六八頁)

○ 差押處分カ滞納者ニ對シテ效力ヲ生セサルトキハ之ヲ前提トスル公賣處分ハ違法ナリ

八年三一四號 九年七月二四日宣告 (九年七四五頁)

○ 町稅滞納者ノ財産ヲ公賣スルニ方リ特別ノ事情ナキ限りハ公賣執行者ノ評定シタル財産ノ價格カ著シク低廉ニシテ且同シク低廉ナル價格ヲ以テ公賣シタルトキハ違法ニ滞納者ノ權利ヲ侵害シタルモノトス

八年一五五號 一〇年五月三〇日宣告 (一〇年三九五頁)

○ 二個ノ差押ニ基ク二個ノ公賣ヲ同時ニ執行スル場合一ノ公賣ノ差押物件ノ豫定價格カ當該公賣處分ノ基本ト爲リタル徵收金ノ外更ニ他ノ公賣處分ニ依リ徵收スヘキ徵收金ヲ收納スルニ足ル金額ナル場合ト雖モ執行者ハ其ノ執行ヲ右一ノ公賣ノミニ止メサルヘカラサル理由ナク他ノ徵收金ノ徵收ノ爲ニ更ニ他ノ公賣處分ヲ執行スルヲ妨ケサルモノト解スルヲ相當トス從テ斯ル場合執行ヲ其ノ一ニ止メサルモ之カ爲右公賣處分ノ何レヲモ必要ノ限度ヲ超エタルモノト爲スヲ得ス

差押物件タル二筆ノ土地ノ何レカ一方ヲ公賣セハ當該處分ニ依リ徵收スヘキ徵收金ヲ收納シ得ルモノト認ムルコト相當ニシテ且右二筆ノ土地ヲ一括公賣セサルヘカラサル特別ノ事由ナキニ拘ラス先ツ何レカ一方



ノ物件ヲ公賣スルコトナク直ニ其ノ全部ヲ一括公賣シタルハ必要ノ限度ヲ超エ違法ニ滯納者ノ權利ヲ侵害シタルモノトス

一〇年一六〇號 一二年三月一八日宣告 (一二年九三頁)

○府縣ノ滯納處分官吏ヨリ滯納者ニ對スル差押財産ニ付公賣公告ヲ爲シタル旨ノ通知書ニ記載セラレアル滯納金額ヲ府縣吏員カ訂正シタル事由ニヨリ該公賣ヲ違法ト爲スヘキモノニアラス

一二年一七一號 一三年四月一四日宣告 (一三年二一五頁)

○數個ノ税金ヲ同時ニ徵收スル爲滯納者ノ財産ヲ公賣スル場合ニ右税金中ニハ既ニ時効ニヨリ其ノ納付義務消滅シタルモノアリトスルモ公賣財産ニシテ一個ナル限り該公賣ヲ目シテ違法トスヘキ根據ナシ

一三年一八一號 一五年三月一四日宣告 (一五年一二七頁)

○稅務署長カ任意ニ滯納者ニ對シ爲シタル公賣通知書ニ公賣執行ノ時間ノ記載ナキノ故ヲ以テ其ノ公賣處分ヲ違法ナリト爲スヘキニアラス

一五年八一號 一六年三月二二日宣告 (一六年七三頁)

第二十七條

○不動産ノ差押調書並之カ謄本作成ノ費用ハ國稅徵收法第二十七條ノ定ムル滯納處分費ト謂フヲ得ス

一二年一八四號 一五年五月二五日宣告 (一五年二四七頁)

一二年二〇一號 一五年五月二五日宣告 (一五年二五六頁)

第二十八條 第一項

○國稅徵收法第二十八條第一項ニ依レハ滯納處分トシテ通貨ヲ差押ヘタルトキハ直ニ之ヲ税金等ニ充當スヘク之ト同時ニ該處分ハ結了スルモノトス

三年二六號 三年六月二一日宣告 (三年八〇七頁)

同 第三項

○國稅徵收法第二十八條第三項ハ滯納處分執行者ニ對シ分明ナラス從テ右執行者ヨリ適當ノ時期ニ同法施行規則第十二條第一項ノ通知ヲ受領シ得サル抵當證券所持人タル債權者ヲ保護スル爲ノ例外規定ナリト解スヘキモノトス

一三年一八一號 一五年三月一四日宣告 (一五年一二七頁)

第二十九條

○國稅徵收法第二十九條ニ依リ滯納處分ヲ施行スル場合ハ差押調書ニ納稅主體ノ資格ヲ明記セサルモ其ノ差押ヲ無効ナリト云フヘカラス

國稅徵收法第二十九條ハ其ノ處分ヲ爲スニ當リ會社ノ存在ヲ前提トスルモノニアラス

國稅徵收法第二十九條ハ會社ニ對シ滯納處分ヲ執行スヘキ場合ニ於テ會社財産ナシト認ムヘキ正當ノ理由アルトキハ別段ノ手續ヲ爲スコトヲ要セニ直ニ無限責任社員ニ就キ處分スルコトヲ得シメタルモノトス

大一二一年一六六號 大一二一年一二月一九日宣告 (大一二一年一〇七六頁)

第三十一條

○國稅徵收法第三十一條ニ所謂滯納處分ヲ中止シタルトキトハ同法第十二條ニ依リ滯納處分ノ執行ヲ止メタル場合ヲ指スモノト解スルヲ相當トス

六年二二六號 七年一〇月一五日宣告 (七年八五三頁)

同

○執行中ノ差押ヲ解除スルモ納稅義務者ノ差押フヘキ財産ノ價格ニシテ督促手数料延滞金及滯納處分費等ニ充テ殘餘ヲ得ル見込ナキ爲國稅徵收法第十二條ニ依リ滯納處分ノ執行ヲ止メタルモノニ非サルトキハ同法第三十一條ニ所謂滯納處分ノ中止ニ該當セスト解スルヲ相當トス

九年三五一號 一〇年一二月二四日宣告 (一〇年一一六〇頁)

同

○稅務署長カ滯納處分ニ依リ差押ヘタル試掘權ヲ公賣シタルモ入札買受人ナク其ノ後公賣ヲ爲サザリシコト



及試掘権カ存續期間ノ滿了ニ因リ消滅シタルコトニ依リテハ國稅徵收法第三十一條ノ滯納處分ノ中止又ハ結了アリタリト言フコトヲ得ス

一五年八一號 一六年三月二二日宣告頁 (一六年七三頁)

9 國稅徵收法施行規則 (明治三十五年勅令第三百三十五號)

○郵便ニ依リ發送セラレタル差押調書謄本ハ特別ノ事情ナキ限り相當ノ期間内ニ到達シタリト認ムヘキモノトス

差押調書謄本ヲ郵便ニ依リ送達スルニ當リ書留又ハ配達證明ノ如キ特殊取扱ト爲シテ其ノ到達ヲ證スヘキモノヲ存セシムルコトハ法定ノ要件ニ非ス

大一五年七二號 二年六月一六日宣告 (二年七二九頁)

大一五年七一號 二年六月一六日宣告 (二年七三二頁)

大一五年七七號 二年六月一六日宣告 (二年七三五頁)

○郵便ニ依リ督促狀又ハ差押調書謄本ヲ發送シタル事實アルトキハ反證ナキ限り相當期間内ニ名宛人ニ到達シタルモノト認ムヘキモノトス

一〇年二六八號 一四年九月二〇日宣告 (一四年六二五頁)

七年二七七號 一四年二月二六日宣告 (一四年八二七頁)

○國稅徵收法施行規則第十二條ノ規定ハ債權者ニ權利行使ノ機會ヲ得シムルノ趣旨ニ出テタルモノナルカ故ニ同條第一項ノ通知ハ債權者ニ右機會ヲ與フヘク相當ノ期間ヲ以テシテ之ヲ爲セハ足り必スシモ差押前ニ

第十二條 第一項

同

之ヲ爲スコトヲ要スルモノニ非スト解スルヲ相當トス

五年三三四號 六年三月一六日宣告 (六年二二四頁)

○國稅徵收法第三條及同法施行規則第十二條第二項ノ證明ハ自ラ公正證書ヲ提出セサルモ之ヲ提出スルト同様ノ目的ヲ達スヘキ證明方法ヲ執ルヲ以テ足レリトス

三年三九號 三年六月二八日宣告 (三年八一七頁)

○國稅徵收法第三條所定ノ債權者カ税金ニ優先シテ公賣代金ヨリ其ノ債權ノ辨濟ヲ得ンカ爲ニハ右債權者ニシテ同法第二十八條第三項ノ抵當證券所持人ニアラサル限り其ノ債權竝抵當權等ヲ公賣決行ノ時迄ニ證明セサルヘカラス

一三年一八一號 一五年三月一四日宣告 (一五年一二七頁)

○國稅徵收法施行規則第十四條ニ所謂財産所在地ハ債權ニ付テハ債務者ノ住居地ヲ指稱スルモノト解スヘキモノトス

大一五年一〇三號 大一五年七月一〇日宣告 (大一五年七二〇頁)

○滯納處分ノ引繼ヲ受ケタル稅務署カ其ノ處分ヲ執行スルニ當リテハ賦課及督促ノ手續ヲ爲スヲ要セサルモノトス

稅務署カ滯納處分ノ引繼ヲ受クルモ其ノ引繼ニ關スル事實ヲ滯納者ニ告知シ若ハ差押調書ニ記載スヘキ等ノ規定ナシ

五年九五號 五年一〇月一五日宣告 (五年一三一四頁)

○甲市長カ乙市長ノ引繼ヲ受ケ執行シタル租稅滯納處分ハ甲市長ノ爲シタル處分ト解スヘキモノトス

財務 國稅徵收法施行規則

第十三條

同

第十四條

同

第十四條

同

同



六年一七四號 六年九月二一日宣告 (六年八五四頁)

○滯納處分ノ引繼照會ヲ受ケタル稅務署長ノ法令ニ基カサル徵收猶豫ノ同意ハ納稅地稅務署長ノ徵收權ノ行使ニ何等ノ影響ヲ及ボスヘキモノニアラス

九年二一三號 一〇年三月五日宣告 (一〇年一〇九頁)

○租稅滯納處分タル不動産ノ差押ハ法定ノ形式ヲ具備シタル差押調書ノ作成ニ依リ之ヲ爲スヘキモノト解スヘキモノトス

五年二五九號 六年一月二八日宣告 (六年九六一頁)

六年一〇九號 六年七月一〇日宣告 (六年七一六頁)

○國稅徵收法施行規則第十六條第一項ニ所謂署名ハ差押ヲ爲シタル者カ自ラ其ノ氏名ヲ署スルノ義ト解スヘキモノトス

差押ヲ爲シタル者カ自ラ其ノ氏名ヲ署セサル差押調書ハ無効ニシテ斯カル調書ヲ以テ爲シタル不動産ノ差押モ亦無効ナリ

五年二五九號 六年一月二八日宣告 (六年九六一頁)

六年一〇九號 六年七月一〇日宣告 (六年七一六頁)

九年三三號 九年五月二三日宣告 (九年三一四頁)

九年二九六號 一二年三月一八日宣告 (一二年八九頁)

一三年七三號 一三年一月四日宣告 (一三年六九五頁)

同 第一項條

○差押調書ニ滯納處分費ヲ掲ケザルモ滯納處分アリタルモノト見ルヘキニ非スト謂フコトヲ得ス

三年二六號 三年六月二一日宣告 (三年八〇七頁)

○町村書記カ町村長ノ命令ヲ受ケタル差押執行吏員ナル以上假令其ノ資格ヲ記入セサルモ其ノ署名シタル差押調書ハ適法ナリ

差押調書ノ差押財産ノ表示ニ楠材ヲ樺材ト記載シタル程度ノ錯誤アルモ之カ爲ニ該調書ノ無効ヲ來スモノニ非ス

三年二六八號 四年二月二日宣告 (四年九八頁)

○滯納處分費ハ處分當時ニ於テハ未タ債權確定セサルモノナレハ之ヲ差押調書ニ表示セサルモ違法ニ非ス

五年九五號 五年一〇月一五日宣告 (五年一三一四頁)

○差押調書謄本ニ於ケル稅額ノ表示ニ付四ノ字ヲ五ト誤記シタルノ故ヲ以テ滯納處分ヲ違法ト爲スヘキモノニ非ス

五年三四四號 六年一〇月二六日宣告 (六年九四三頁)

○村稅滯納者ノ財產差押ノ權限アル町村吏員カ村稅滯納者ノ財產差押ヲナシタルトキハ其ノ差押調書ニ其ノ差押吏員タル旨ノ肩書ヲ記載セス又差押吏員タルノ證據ヲ示サストスルモ其ノ差押ハ違法ニアラス

六年三二八號 七年六月二日宣告 (七年四九一頁)

○財產差押執行吏員ノ作成シタル差押調書ハソノ資格ノ記載ナキモ適法ナリ

九年二〇六號 一〇年一〇月一五日宣告 (一〇年八一七頁)

○滯納處分トシテ財產差押ノ權限ヲ有スル縣書記カ不動産ノ差押ヲナシタル場合ニ於テ其ノ差押調書ニ其ノ



権限ヲ有スルコトノ記載ナキモ其ノ差押ハ有效ナリ

差押調書ノ作成ニ當リ複寫紙ヲ用フルモ差押ヲ爲シタル者カ其ノ氏名ヲ署シタル以上署名ナシトナスヲ得ス

一〇年一四一號 一二年二月二三日宣告 (一二年七三頁)

○國稅徵收法施行規則第十六條第一項第四號ハ作成ノ場所ノ表示明白ナル限り地番ノ表示ヲ要件トスルモノニ非ス

一三年六六號 一三年五月二七日宣告 (一三年三三三頁)

○差押執行者ニシテ差押ノ権限ヲ有スル以上差押調書ニ町村長ノ代理者タル資格ヲ表示セサルモ違法ニ非ス

一二年二九一號 一四年二月二〇日宣告 (一四年一〇五頁)

○差押調書ハ假令其ノ作成者ノ捺印ヲ缺クモ其ノ署名アル以上無効トスヘキモノニ非ス

三年七七號 一四年六月五日宣告 (一四年四五九頁)

○府縣ノ官吏吏員カ差押ノ委任ヲ受テ差押證票ヲ所持シタル事實ハ之ヲ差押調書ニ記載スヘキコトヲ命シタル法規ナシ

一〇年二六八號 一四年九月二〇日宣告 (一四年六二五頁)

○國稅徵收法第十一條及同法施行規則第十六條第二項ハ執レモ滞納處分ノ有效條件ヲ規定シタルモノニ非ス

三年二六號 三年六月二一日宣告 (三年八〇七頁)

○國稅徵收法施行規則第十六條第二項ハ租稅滞納處分ノ有效要件ヲ定メタルモノニ非ス

第二項

同 同 同 同 同

第三項

同

同

同

同

一三年七一號 一三年一月一四日宣告 (一三年七〇八頁)

○村稅滞納處分ニ依リ不動産ヲ差押ヘタル場合ニ於テ滞納者ニ差押調書ノ謄本ヲ交付セザリシトキト雖モ差押ノ通知書ヲ交付シテ差押ニ關スル一切ノ事實ヲ知ラシメタルトキハ差押調書ノ謄本ノ交付ナキコトノ爲ニ其ノ後ノ處分ヲ爲スコトヲ妨ケラルヘキモノニ非ス

大一〇年二三八號 大一一一年一月四日宣告 (大一一一年一一七頁)

○租稅滞納處分ノ爲滞納者ノ不動産ヲ差押フル處分ハ滞納者ニ對シテハ國稅徵收法施行規則第十六條ニ依リ差押調書ノ謄本ヲ滞納者ニ交付スルニ因リテ其ノ效力ヲ發生スルモノトス

大一一一年二〇八號 大一一二年三月三〇日宣告 (大一一二年二〇六頁)

大一一一年一一七號 大一一二年一月二一日宣告 (大一一二年一〇四七頁)

大一一二年一四五號 大一一三年五月三一日宣告 (大一一三年四三九頁)

大一一五年一〇一號 大一一五年七月二〇日宣告 (大一一五年八九七頁)

大一一五年二九九號 二年一月二九日宣告 (二年一八二頁)

大一一五年二九一號 二年二月五日宣告 (二年二五〇頁)

一二年二六八號 一三年二月一四日宣告 (一三年六〇頁)

一三年二七四號 一三年六月二九日宣告 (一三年四二三頁)

○差押調書ノ謄本ハ差押ノ際直ニ交付セサルモ違法ト云フヲ得ス

大一一一年二四三號 大一一二年七月五日宣告 (大一一二年六九四頁)

○滞納處分ニ因ル不動産ノ差押ニ付差押調書ノ作成アル以上其ノ謄本ノ交付ナキモ差押處分自體ヲ違法ナリ



トスヘキニ非ス

二年四一號 四年六月二四日宣告 (四年六六一頁)

○被處分者ニ送達セラレタル文書カ其ノ形式ニ於テ差押調書原本ト同一ナルモ其ノ謄本ノ形式ニ付テハ法令ニ別段ノ規定ナク且其ノ原本ハ處分廳ノ手裡ニ存スルカ故ニ該文書ハ差押調書謄本ト認ムヘキモノトス  
五年二七五號 五年二月二二日宣告 (六年一三頁)

○動産ノ差押ニ付差押調書謄本ヲ滯納者ニ交付スルコトハ差押處分ノ效力發生ノ要件ニ非ス  
一五年三〇號 一五年五月六日宣 (一五年二一八頁)

○租稅滯納者カ財產差押ヲ受ケ滯納税金及督促手数料ヲ完納スルモ未タ滯納處分費ヲ納付セサルトキハ差押ヲ保持スルヲ妨ケス  
大一一一年二一三號 大一一二年四月二日宣告 (大一一二年二七三頁)

第十七條

○村稅滯納處分トシテノ差押カ解除セラレタルトキハ將來ニ向ツテ其ノ差押ノ效力ヲ失フモノトス  
三年二七二號 五年二月二八日宣告 (五年二九九頁)

○稅務署長カ財產差押ヲ解除シタルトキハ其ノ差押ノ取消ヲ求ムル訴訟ハ目的ノ消滅ニヨリ理由ナキニ至リタルモノトス  
一二年三三七號 一三年一月一三日宣告 (一三年七九一頁)

○差押ノ解除ニ付解除調書ヲ作成スヘキモノト解スヘキ法令ノ規定又ハ理據ナシ  
一二年一八四號 一五年五月二五日宣告 (一五年二四七頁)

一二年二〇一號 一五年五月二五日宣告 (一五年二五六頁)

○稅務署長カ財產差押ヲ解除シタルトキハ其ノ差押ノ取消ヲ求ムル訴訟ハ目的ノ消滅ニヨリ理由ナキニ至リタルモノトス  
一二年三三七號 一三年一月一三日宣告 (一三年七九一頁)

同

同

同

同

同

同

第十九條

○村稅ニ付公賣處分ヲ爲スニ當リ町村制第一百十一條第一項ノ督促、國稅徵收法施行規則第十九條ノ公告ノ外督促、催促又ハ告知等ヲ爲スヘキ旨ノ法令ノ規定ナシ  
三年一九三號 六年三月二三日宣告 (六年二六七頁)

○滯納者ニ對シ公賣期日ノ通知ナシトスルモ公賣處分ハ違法ニ非ス  
五年二二三號 八年三月二〇日宣告 (八年一六八頁)

○府縣ノ滯納處分官吏ヨリ滯納者ニ對スル差押財產ニ付公賣公告ヲ爲シタル旨ノ通知書ニ記載セラレアル滯納金額ヲ府縣吏員カ訂正シタルノ事由ニヨリ該公賣ヲ違法ト爲スヘキモノニアラス  
一二年一七一號 一三年四月一四日宣告 (一三年二一五頁)

○稅務署長カ任意ニ滯納者ニ對シ爲シタル公賣通知ノ通知書ニ公賣執行ノ時間ノ記載ナキノ故ヲ以テ其ノ公賣處分ヲ違法ナリト爲スヘキニアラス  
一五年八一號 一六年三月二二日宣告 (一六年七三頁)

○村稅滯納處分ノタメニスル差押財產公賣期日ヲ次ノ公賣期日ヲ定メシテ延期シタル場合ニ於テ次ノ公賣カ其ノ公賣公告ノ初日ヨリ十日ノ期間ヲ經過セスシテ執行セラレタルトキハ其ノ公賣ハ違法ニシテ取消ヲ免レサルモノトス  
八年一五四號 八年九月二一日宣告 (八年六八〇頁)

○國稅徵收法ノ公賣處分ニ於ケル不動産ノ公賣價格ハ稅務署長ノ裁量ノ範圍ニ屬スルモノナリ  
大一一〇年一四六號 大一一一年一〇月一九日宣告 (大一一一年一〇一九頁)

○町稅滯納者ノ財產ヲ公賣スルニ方リ特別ノ事情ナキ限りハ公賣執行者ノ評定シタル財產ノ價格カ著シク低  
財務 國稅徵收法施行規則

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同



第二十九條

廉ニシテ且同シク低廉ナル價格ヲ以テ公賣シタルトキハ違法ニ滯納者ノ權利ヲ侵害シタルモノトス  
八年一五五號 一〇年五月三〇日宣告 (一〇年三九五頁)

○國稅徵收法施行規則第二十九條ハ滯納處分ニ關スル規定ナリ  
五年二八三號 六年三月二〇日宣告 (六年二五〇頁)

○入札ヲ以テ爲ス財産ノ公賣ニ當リ入札ノ價格見積價格ニ達セサルトキハ其ノ儘該入札價格ヲ以テ公賣アル  
コトヲ得サルモノト解スルヲ相當トス  
七年二七七號 一四年一月二六日宣告 (一四年八二七頁)

同

第九條

10 國稅徵收法施行細則 (明治三十年大藏省令第十號)

○町村稅滯納者財産差押證票交付ニ關スル町村長ノ命令書ニ町村長自ラ記名捺印スヘキコトヲ命シタル法規  
ナシ

一二年二九一號 一四年二月二〇日宣告 (一四年一〇五頁)

第十八條

○差押通知書ノ交付ニ際シ國稅徵收法施行細則第十八條所定ノ手續ヲ踐ミタルコトナシトスルモ他ノ證據ヲ  
以テモ亦該交付ノ事實ヲ證明シ得ヘキモノトス  
大一〇年二三八號 大一年一月四日宣告 (大一年一一七頁)

同

○國稅徵收法施行細則第十八條ハ單ニ訓示の規定タルニ止マリ同條所定ノ手續ヲ履踐セサル書類ノ送達ヲ無  
效トスル法意ニ非スト解スルヲ相當トス  
大一三年一一五號 大一年二月二日宣告 (大一年九四〇頁)

同

○國稅徵收法施行細則第十八條ニ所謂受取人トハ必シモ名宛人ニ限ラス同居ノ家族雇人等事實交付ヲ受ケタ

第一條  
第二條

ル者ヲモ包含スルモノトス  
一二年二五三號 一三年三月一八日宣告 (一三年一五四頁)  
一二年二九二號 一三年三月一八日宣告 (一三年一五八頁)

11 租稅其ノ他ノ收入徵收處分囑託ニ關スル法律 (明治四十年法律第三十四號)

○東京府虎之門稅務出張所長タル東京府主事カ山梨縣知事ノ囑託ニ基キ執行シタル縣稅徵收ノ爲ノ差押處分  
ニ對スル訴願ハ明治四十年法律第三十四號第一條第二項、第二條並府縣制第十六條第七項ニヨリ東京府  
參事會ニ提起スヘキモノトス從テ右處分ニ對シ山梨縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ヲ經テ提起シタル行政訴訟  
ハ行政裁判法第二十七條第一項ニ所謂適法ノ手續ニ違背スルモノトシテ之ヲ却下スヘキモノトス  
一二年二八七號 一三年一〇月一五日裁決 (一三年六四八頁)  
一三年八七號 一六年三月一日裁決 (一六年五八頁)  
一五年六一號 一六年四月二六日裁決 (一六年一一四頁)

第二條

○明治四十年法律第三十四號(租稅其ノ他ノ收入徵收處分囑託ノ件)第二條ハ公共團體又ハ之ニ準スヘキモノ  
ノ租稅其ノ他ノ收入ヲ徵收セラルヘキ者又ハ其ノ者ノ財産カ其ノ公共團體又ハ之ニ準スヘキモノノ區域外  
ニ在ルトキト雖モ其ノ區域外ニ於テ差押等強制力ヲ用フル場合ノ外ハ必スシモ囑託スルコトヲ要セサル法  
意ト解スヘキモノトス  
一〇年二六八號 一四年九月二〇日宣告 (一四年六二五頁)

第八項

12 地 租 法 (昭和六年法律第二十八號)

○調停ニ於ケル土地ノ賃貸料ニ關スル決定額ヲ以テ直ニ地租法上ニ所謂賃貸價格ト爲スヘキモノニ非ス  
財務 租稅其ノ他ノ收入徵收處分囑託ニ關スル法律 地租法 四二九



第十二條 第一項

財務 地租條例施行規則 土地賃貸價格調査法  
一三年一七二號 一三年一月九日宣告 (一三年七八七頁)  
○廣島縣賦課規則ニ依ル地租附加税ノ納稅義務者ハ賦課期日ニ於テ土地臺帳ニ所有者トシテ登錄セラレタル者ト解スヘキモノトス  
八年二二號 一〇年六月一日宣告 (一〇年四一〇頁)

第十五條ノ

13 ●地租條例施行規則 (明治四十三年勅令第四百四十四號 昭和六年勅令第四十七號ニ依リ廢止)  
○土地ノ地價ハ其ノ設定ノ場合タルト修正ノ場合タルトヲ問ハス實地ノ狀況ニ依リ近傍ニ類地ノ存スル限リ其ノ地力ヲ比較シテ之ヲ定ムヘキモノトス  
大一一二〇九號 大一一五年二月二〇日宣告 (二年四六三頁)

第三項

14 土地賃貸價格調査法 (大正十五年法律第四十五號)  
○土地ノ情況類似セサル土地ヲ情況類似セル土地ト認メ同一區域ニ屬セシメ同一標準賃貸價格ニ依リ之カ賃貸價格ヲ定ムルハ違法ナリ  
大正十五年法律第四十五號土地賃貸價格調査法第三條並濱松稅務署發管内市町村役場宛通牒ニ依レハ標準賃貸價格ハ土地ノ情況類似スル區域内ニ於ケル標準トナルヘキ土地ノ賃貸價格ニシテ標準トナルヘキ土地トハ賃貸ノ價格ノ中庸ヲ得タルモノノ義ト解スヘク賃貸價格ハ貸主カ公課修繕費其ノ他土地ノ維持ニ必要ナル經費ヲ負擔スル條件ヲ以テ小作ニ付シタル場合ニ於テ貸主ノ收得スル田畑ノ小作料宅地ノ借地料ニ依リ算定スヘク若シ區域内ニ右ノ條件ノ小作地又ハ貸宅地ナキトキハ小作地又ハ貸宅地アルモ其ノ小作料又ハ借地料カ特別ノ事由ニ依リテ或ハ高ク或ハ低キニ失スルモノト認メラルル場合ニ限リ他ノ區域ノ標準賃貸價格ニ準シテ算定スヘキモノト解スルヲ相當トス

第二十九條

區域内最高ノ小作料ノ土地ヲ以テ標準地ト定メタルハ不法ナリ  
田畑ノ借地人カ小作米ヲ支拂ヒタル後ニ於ケル蟲喰其ノ他ノ原因ニ因ル減耗ヲ補填スル趣旨ヲ以テ契約小作米ノ數量ノ外ニ支拂フ口米ハ小作米ト共ニ田畑ノ賃貸價格算定ノ基礎ト爲スヘキモノトス  
口米ナキ田畑ニ口米アル田畑ノ賃貸價格ヲ適用シタルハ失當ナリ  
地主カ小作人ニ給與スル保米袋ニ要スル費用小作米保管ノ爲ニ要スル倉敷料及管理費ハ之ヲ契約小作米ヨリ控除シ其ノ殘額ヲ標準トシテ賃貸價格ヲ算定スヘキモノト非ス  
賃貸ノ實例カ標準賃貸價格算定ノ基礎ト爲スニ不適當ナリト認ムルニ足ル何等ノ證憑ナキニ拘ラス其ノ賃貸ノ實例中中庸ヲ得タルモノヲ標準賃貸價格ト爲ササリシハ不當ナリ  
四年一一六號 一二年二月二一日宣告 (一二年五六七頁)

15 土地賃貸價格調査委員會法 (昭和二年法律第十六號)

○稅務署長ノ爲シタル土地ノ標準賃貸價格ノ決定ニ付テハ稅務監督局長ニ異議ノ申立ヲ爲シ其ノ審査決定ヲ經タル後ニ非サレハ行政訴訟ヲ提起シ得サルモノトス  
八年一一三號 八年五月二九日裁決 (八年四四一頁)  
○土地賃貸價格増額ノ請求ニ付テハ法律勅令中行政訴訟ノ提起ヲ許シタル規定ナシ  
八年二八〇號 八年二月七日裁決 (八年一〇〇四頁)  
○土地賃貸價格ノ審査決定ナキ土地ニ付之カ取消ヲ求ムル行政訴訟ハ不適法ニシテ却下スヘキモノトス  
稅務署長ノ爲シタル土地賃貸價格ノ決定ニ對シ稅務監督局長ニ審査ノ請求後而モ審査決定前ニ於テ相續又ハ賣買ニ因リ土地ノ所有權ヲ取得シタル者ハ該土地ニ付テノ稅務監督局長ノ審査決定ニ對シ行政訴訟ヲ提



起スルヲ得ルモノトス

四年一一六號 一二年二月二一日宣告 (一二年五六七頁)

16 土地賃賃價格改訂法 (昭和十一年法律第三十六號)

○調停ニ於ケル土地ノ賃賃料ニ關スル決定額ヲ以テ直ニ地租法上ニ所謂賃賃價格ト爲スヘキモノニ非ス  
一三年一七二號 一三年二月九日宣告 (一三年七八七頁)

17 所得稅法 (昭和十五年法律第二十四號)

○稅務署長ノ爲シタル配當利子所得金額ノ決定ニ對シテハ稅務監督局長ニ審査ノ請求ヲ爲シ其ノ決定ヲ經タル後ニ非サレハ行政訴訟ヲ提起スルヲ得ス  
所得稅及督促手數料ノ返還ヲ求ムル訴ニ付テハ所得稅法其ノ他法律勅令中行政訴訟ヲ許シタル規定ナシ  
一六年四九號 一六年七月一九日裁決 (一六年一七七頁)

18 ●所得稅法 (大正九年法律第十一號 昭和十五年法律第二十四號所得稅法ニ依リ廢止)

○住所カ所得稅法施行地域内ニ在ル場合ニ於テ稅務官廳カ其ノ地域内ニ於ケル所得ニ同法施行地域外タル朝鮮ニ於ケル所得ヲ加算シテ原告ノ第三種所得ヲ決定シタルハ相當ナリ  
大一一一年一二二號 大一一二年一月三〇日宣告 (大一一二年三頁)

○從來所得稅法施行地ニ有シタル住所ヲ昭和三年四月中其ノ施行地外ナル朝鮮ニ移轉シタル者ノ同法第十四條第一項第六號ニ該當スル所得ニ付テハ其ノ住所移轉後ニ於テ同法施行地ニ住所ヲ有シタル期間内ニ生シタル分ニ付所得金額ノ決定ヲ爲スモ違法ニ權利ヲ侵害シタルモノニアラス  
三年三二八號 一一年六月一八日宣告 (一一年二八五頁)

○抵當權ノ目的タル山林ヲ競賣シタル場合ニ於テ其ノ競落代金ハ所得稅法上右山林所有者ノ所得ト認ムヘキ

舊第三條 第三種

同 第一條

第二條

第七十一條

第四項條

同

同

モノトス

大一一五年二八號 大一一五年五月二一日宣告 (大一一五年五八三頁)

○合資會社ノ業務ヲ執行スルコトニ依リ勞務出資ノ義務ヲ履行スヘキ社員ニ對シテ會社カ其ノ業務執行ニ對スル報酬トシテ支給シタル給料ニ相當スル金額ハ會社ノ所得金額並營業純益金額ノ算定上損金トシテ總益金ヨリ控除スヘキモノニ非ス  
三年二七四號 四年五月一六日宣告 (四年四八一頁)

○會社ノ合併契約ニ於テ合併會社カ被合併會社ノ所定ノ株式ニ對シ合併會社ノ所定ノ株式ト共ニ所定ノ現金ヲ交付スヘキコトヲ定メタルトキハ其ノ現金ハ交付セラルル株式ト共ニ被合併會社ヨリ合併ニヨリテ繼承スル純資産ノ對價ヲナスモノトス  
前項合併ニヨリテ受入純資産ノ對價トシテ交付シタル價額カ受入純資産價額ヲ超過スル場合ニ合併會社カ其ノ超過額ヲ繰延資産トシテ適法ニ整理シ之ニヨリテ當期決算ヲ了シ利益處分ヲナシタルトキハ其ノ決算ニヨリ所得金額ヲ計算決定スルコト違法ニアラス  
二年三二〇號 四年六月二〇日宣告 (四年六三四頁)

○會社ノ重役ニ對スル賞與金ハ明確ナル反證ナキ限りハ利益金ノ處分トシテ給與シタルモノト認ムルヲ相當トス

六年四一號 七年二月二日宣告 (七年二三頁)

七年三二號 七年四月一四日宣告 (七年三一九頁)

六年四三號 七年四月二六日宣告 (七年三四〇頁)

財務 所得稅法



六年五七號 一〇年六月二十九日宣告 (一〇年四七七頁)

一三年二八號 一三年一〇月一八日宣告 (一三年七五九頁)

○法人カ其ノ所有スル不動産ノ價格ヲ評價シ増價額アルトキハ其ノ増價額ハ所得税法第四條ノ普通所得ノ計算ニ當リテハ其ノ評價ヲナシタル事業年度ノ總益金ヲ構成スルモノトス

二年二四〇號 七年二月一六日宣告 (七年五一頁)

○株式會社ノ重役タルト同時ニ其ノ一部ノ業務ヲ擔當スル者カ支給ヲ受ケタル賞與金ハ明確ナル反證ナキ限リ重役ニ對スル賞與金ト認ムヘキモノナリ

七年三二號 七年四月一四日宣告 (七年三一頁)

○株式會社カ利益ナキニ拘ラス利益ノ處分トシテ配當金及賞與金ヲ支拂ヒタル爲其ノ返還ヲ請求スルノ權利ヲ有スル場合ニ於テ其ノ請求權ヲ會社ノ資産ニ計上スルニ當リテハ特別ノ事情ナキ限リ其ノ額面全額ヲ以テ價額ト爲スヘキモノトス

減資額カ缺損額ヲ超過スルトキハ其ノ差額ハ當然會社ノ益金ヲ構成スルモノナリ  
六一五年四三號 七年一〇月六日宣告 (七年七九四頁)

○自動車ノ耐久期間ヲ基準トシテ其ノ減價償却額ヲ計算スルハ不當ニ非ス

會社カ其ノ成立ノ際前營業者ヨリ引繼キタルモノト認ムヘカラサル營業費未拂金ヲ支拂ヒタルハ他ニ別段ノ證憑ナキ限リ假拂ヲ爲シタルモノト認ムヘキモノトス

三年三五二號 七年一月一日宣告 (七年八九一頁)

○法人カ合併ニ因リテ消滅シタル場合ニ於テハ被合併法人ノ最後ノ事業年度ニ於ケル所得又ハ營業純益ハ合

併法人ノ當該事業年度ニ於ケル所得及營業純益ト別箇獨立ニ算定スヘク之ニ對スル徵收税金及控除ヲ爲スヘキ第二種所得税資本利子税額及地租額ノ計算モ亦各別ニ之ヲ爲スヘキモノトス

七年七〇號 七年一月二四日宣告 (七年一〇〇五頁)

○法人ノ財産價格ノ評價増價額ハ總益金ヲ構成ス

六年六一號 八年三月一日宣告 (八年一四四頁)

○同族會社ニ於テ退社社員ニ對シ持分ノ拂戻トシテ時價以下ノ記帳價格ヲ以テ財産ヲ給付スルトキハ其ノ差額ハ秘密積立金ニ屬スト爲スヘキモノニシテ之ヲ其ノ給付ヲ爲シタル事業年度ノ總益金ニ計上スルヲ當然トス

四年五三六號 八年三月二五日宣告 (八年一七六頁)

六年六六號 八年七月二〇日宣告 (八年五九〇頁)

○法人ノ所得金額及營業純益金額ノ算定ニ付テハ其ノ各事業年度限リノ損益ヲ計算スルニ止ムヘキコト所得税法第四條第一項及營業收益税法第四條第一項ノ法意ナリ

七年三〇七號 八年四月二五日宣告 (八年三二四頁)

○減資差益ハ當該年度ノ總益金ヲ構成スルモ繰越缺損ノ補填ニ充當シタル限度ニ於テハ其ノ全額ヲ控除スヘキモノトス

貸借對照表ニ繰越缺損金ト積立金ト併セテ掲記セラルルトキハ繰越缺損金ノ積立金ニ超過スル金額ヲ前項ノ繰越缺損トス

八年六六號 八年七月八日宣告 (八年五四〇頁)



同

○會社ノ繰越缺損額カ積立金額ニ超過スル金額即チ實在ノ繰越缺損額ノ計算上積立金ニ付テハ特ニ其ノ使途ヲ限定セラレタルモノト然ラサルモノトヲ區別スルコトナシ

八年六三號 八年一〇月一二日宣告 (八年七三八頁)

○係爭事業年度ニ於テ營業權及特許權ニ付特ニ多額ノ評價減又ハ原價消却ヲ認ムヘキ特殊ノ理由ナキ以上一般會社ニ對スル課稅上ノ取扱ニ從ヒ右營業權及特許權ノ持續期間ヲ十箇年トシ之ヲ各事業年度ニ均分ニ割當テ以テ係爭事業年度ノ消却額ヲ算定シタルハ不當ニ非ス

六年二九五號 八年一月三〇日宣告 (八年九七〇頁)

○減資カ利益分配ノ方法トシテ行ハレタリト認ムヘキ場合ニ於テ減資ニヨル超過拂戻額ハ當該事業年度ノ所得並ニ純益ノ算定ニ當リ之ヲ總損金ニ計算スヘキモノニアラス

八年六二號 八年一月四日宣告 (八年一〇四〇頁)

三年三四五號 九年七月二四日宣告 (九年七〇四頁)

三年三四六號 九年七月二四日宣告 (九年七〇九頁)

○退職手當基金收支殘ハ將來ニ於ケル退職手當ノ支拂ニ充ツヘキ積立金ノ増加ニシテ當期ノ損金ニ非ス

五年三二三號 九年七月二四日宣告 (九年七二七頁)

○會社カ事業讓渡差益ヲ減資ニヨル株式買入消却代金ノ形式ヲ以テ株主ニ分配シタリト認ムヘキ場合ニハ其ノ超過拂戻金ハ所得稅法ニヨル所得計算上損金ニ計算スヘキモノニアラス

九年一〇號 一〇年五月三〇日宣告 (一〇年三九八頁)

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

○解散シタル會社ノ株式ニシテ公定相場ナキモノハ其ノ會社ノ正味資産ニ相當スル價格ヲ超ユルコトナキモノトス

六年五七號 一〇年六月二九日宣告 (一〇年四七七頁)

○合併實行ニ因リ合併會社ノ取得シタル被合併會社ノ利益金ハ合併會社ノ合併差益トシテ總益金ヲ構成スルモノトス

會社合併ノ際合併契約ニ基キ合併會社カ被合併會社ノ重役及使用人ニ對シ支拂ヒタル解散手當及始末費並被合併會社ノ株主ニ對シ爲シタル合併會社ノ從前ノ株主ニ對スルト同率ノ配當ハ被合併會社ニ交付シタルモノニ非サルヲ以テ合併會社ノ合併差益ノ計算ニ付之ヲ斟酌スヘキモノニ非ス

大一三年二五號 一〇年七月三日宣告 (一〇年四八八頁)

○納稅者カ時價ヲ超ユルコト明カナル製造原價ニヨリ生絲繰越品ニ附シタル價額ニヨラスシテ右ノ時價ニ基キ稅務官廳カ所得、營業純益、法人利得ヲ決定シタルハ違法ニアラス

一二年一六號 一二年六月二四日宣告 (一二年二三四頁)

○會社カ事業年度ノ利益金ヲ以テ商法第九十六條ノ利息ノ配當ヲ爲シタルトキハ所得稅法上之ヲ普通ノ利益配當ト同一ニ取扱フヘキモノトス

三年三五六號 一二年七月二〇日宣告 (一二年二六二頁)

○商法第九十六條ノ所謂建設利息ハ之ヲ無視シテ計算シタル株式會社ノ普通所得ヲ以テ支辨シ得ル限度ニ於テハ普通ノ利益配當ト異ナルトコロナク損金ト爲スヘキモノニ非ス

一三年三四號 一四年三月一八日宣告 (一四年二二二頁)



同

一三年三五號 一四年三月一八日宣告 (一四年二一九頁)

○株式會社カ當該事業年度ノ建設利息ヲ繰延資産トシテ整理スル場合ニハ建設利息總額ヨリ當該事業年度ノ普通所得ヲ控除シタル額ノミニ付之ヲ爲スヘキモノナリ

株式會社カ當該事業年度ノ普通所得ヲ構成スヘキ金額ヲ以テ先ツ既往事業年度ニ於テ爲シタル繰延資産ノ消却ニ充テ之ニ因リ普通所得ヲ皆無ナラシメタル上當該事業年度ノ建設利息全額ヲ繰延資産トシテ整理スルハ整理ノ順序ヲ誤リタル不當ノ計算ナリ

一三年三四號 一四年三月一八日宣告 (一四年二二二頁)

一三年三五號 一四年三月一八日宣告 (一四年二一九頁)

○株式會社カ解散前ニ株主總會ノ承認ヲ經スシテ其ノ營業ヲ讓渡シタトキト雖モ之ニ依リ經濟的ニ其ノ財産ヲ増加シタルモノト認ムヘキ場合ニ於テハ其ノ増加財産ハ右營業讓渡アリタル事業年度ニ於ケル會社ノ益金ト認定スルヲ相當トス

一二年三四二號 一四年四月二七日宣告 (一四年三二四頁)

○事業年度終了日現在ノ株主中優先株タリシ株式ノ株主ノ全員ニ其ノ優先權ノ撤廢ニ對シ平等ノ割合ヲ以テ別途積立金ヲ交付シタルトキハ其ノ交付金ハ法人ノ第一種所得、營業純益、利得ノ計算上之ヲ損金ニ計算スヘキモノニアラス

一四年一五號 一四年八月二八日宣告 (一四年六二〇頁)

○不表現資産トシテ持越シタル債權ヲ表現資産トナシタルトキハ其ノ價格ヲ其ノ事業年度ノ總益金ニ計上スヘキモノトス

同

同

同

同

同  
舊第一項條

同

同

同

同

六年三八〇號 一四年一〇月二六日宣告 (一四年六六六頁)

○有價證券ノ時價カ記帳價格ニ比シ減少シタルモノト増加シタルモノトアル場合ニ於テ會社カ減價額ノミヲ決算シタルトキハ増加額ノ限度ニ於テ其ノ減價額ヲ所得計算上否認スルハ相當ナリ

五年三〇號 一五年一二月二一日宣告 (一五年七五八頁)

○株式會社合併ノ場合ニ於テ合併會社ノ交付シタル株式拂込濟金額其ノ他ノ財産價額ト被合併會社ヨリ受入レタル財産價額トノ差増額ハ資本ノ拂込以外ニ於テ合併會社ノ財産ヲ實際増加スルモノニシテ所得金額ノ計算上合併會社ノ當該事業年度ノ益金ニ算入スヘキモノトス

大一年五四號 大一年五月一五日宣告 (大一年五二五頁)

○會社合併ノ際合併會社カ被合併會社ノ現物出資ニ對スル發行株式總額以外ニ被合併會社ヨリ取得シタル財産ハ合併會社ノ利益ナリ

大一〇年六二號 大一年一〇月二八日宣告 (大一年一〇八一頁)

○法人ノ財産價額ノ増加ニ因リテ生スル差益ハ其ノ事業年度ノ總益金ノ一部ヲ構成スルモノト解スルコト相當ナリ

大九年一二號 大一年一二月二三日宣告 (大一年一五一三頁)

○法人ノ當期事業年度ノ所得ハ法律上確定セル前期事業年度分ノ計算ヲ基礎トシテ計算スルモノトス

大一年五二號 大一年三月一一日宣告 (大一年一三八頁)

○重役ノ報酬ヲ給料ト賞與金トノ二種ト爲スモ賞與金ハ每營業年度ノ終ニ於テ其ノ年度ノ利益金ノ割合ヲ以テ定ムルモノナルトキハ該重役賞與金ノ支給ハ各事業年度ノ利益金ノ處分ニシテ損金ニ非スト認ムルヲ相



當トス

大正二年四月六號 大正三年五月二十六日宣告 (大正三年四五九頁)

○住宅地トシテ分割賣却スヘキ土地ニ將來町村道ニ編入セラルヘキ道路溝渠ヲ設備スル爲要シタル費用ノ支出ハ資本的出資ニシテ損失ト爲スヘキモノニ非ス  
前項ノ土地排水ノ必要上之ニ隣接セル郡道側ニ石垣ヲ築造シ所屬官廳ニ寄贈シタルモノノ費用ノ支出亦前項ニ同シ

大正三年二九號 大正四年五月十九日宣告 (大正四年三九五頁)

○損益計算書中支出ノ部ニ記載セスシテ貸借對照表中資産ノ部ニ記載シタル創立費ハ繰延資産トシテ整理セラレタルモノニシテ損失ニ算入スヘキ限ニ在ラス

大正四年三六號 大正五年一月二五日宣告 (大正五年一二三三頁)

○株式會社カ額面以上ノ價額ヲ以テ株式ヲ發行シタル場合ニ於ケル額面超過額ハ所得稅法第四條第一項ノ總益金中ニ算入スヘキモノトス

大正五年一九六號 二年三月七日宣告 (二年三四三頁)

○合資會社カ社員ヨリ出資ノ目的トシテ提供セラレタル土地ヲ出資當時ノ評價格ヲ超過スル價格ヲ以テ分割賣却シ且其ノ賣却殘地ノ價格カ出資當時ノ評價格ヨリ低落シタル事情ノ認メラレサル場合ニ於テハ右超過額ハ其ノ賣買ノ屬スル事業年度ノ會社ノ益金ヲ構成スルモノトス  
合資會社カ其ノ創立費ヲ資産トシテ整理シタル場合ニ於テハ之ヲ右會社ノ損金ニ計上スルコトヲ要スルモノニアラス

大正三年七八號 二年四月一日宣告 (二年四五〇頁)

○所得稅法第一種所得ノ計算ニ關スル規定ニ所謂各事業年度ノ總益金及總損金トハ其ノ年度内ニ於ケル收入金支出金ト云フト同意義ニアラスシテ其ノ事業年度内ニ於ケル財産及財産價額ノ増減ヲモ包含スルモノト解スヘキモノトス

大正四年四三號 二年七月一六日宣告 (二年八六八頁)

大正五年一四號 二年七月一八日宣告 (二年八七八頁)

○法人ノ或ル事業年度ニ缺損アリ後ノ事業年度ニ繰越スモ之ヲ該後ノ事業年度ノ損金トシテ計算スヘキモノニ非ス

大正二年六三號 二年一月二七日宣告 (三年一八頁)

○大正九年法律第十一號所得稅法ニ於テ保險會社外ノ法人ノ所得トハ各事業年度ノ總益金ヨリ總損金ヲ控除シタル金額ニシテ右所得ヲ積立テタル場合ニハ之ヲ其ノ後ノ事業年度ニ於ケル法人ノ所得ト云フヲ得サルモノト解スヘキモノトス

大正五年一七號 三年三月一四日宣告 (三年三〇〇頁)

○所得稅法第四條第三項及營業收益稅法第四條第二項ノ規定ハ法人カ事業年度ノ中途ニ於テ解散又ハ合併ニ因リテ消滅シタル場合ニ於テハ其ノ事業年度ノ始ヨリ解散又ハ合併ニ至ル迄ノ期間ヲ以テ特ニ一事業年度ト見做シテ其ノ所得及營業純益ヲ計算シ之ニ課稅ヲ爲スヲ趣旨トス

七年七〇號 七年一月二四日宣告 (七年一〇〇五頁)

○合併會社カ合併ニヨリ被合併會社ヨリ受入ル純資産ノ對價トシテ交付シタル價額カ受入純資産價額ヲ超

同

同

同

同

同

同

同

同



過スルトキハ被合併會社ニ合併實行ノ期日ニ於テ積立金、前期繰越利益金、最終事業年度利益金存スルモ之等ノモノハ合併會社ノ超過所得ノ基礎タル資本金計算ニ當リ合併實行ノ月ヨリ合併會社ノ資本金ヲ構成スルモノトシテ計算セラルヘキモノニ非ス

二年三三〇號 四年六月二〇日宣告 (四年六三四頁)

○所得稅法第六條第二項ノ適用ニ依リ法人ノ資本金額カ皆無トナリタル事業年度ニ於テ普通所得金額アルトキハ其ノ普通所得金額カ全部超過所得トナルモノトス

五年一二號 五年七月一五日宣告 (五年九九九頁)

○出資カ現實ニ爲サレタル以上之ニ對應スル資産カ或原因ノ爲其ノ活動ヲ爲サストスルモノヲ以テ會社ノ出資カ減少シタルモノト謂フヲ得ス

大一四年四四號 大一五年一〇月四日宣告 (大一五年一二八八頁)

○合名會社ノ定款ニ於テ除名退社ノ場合ニハ特分ノ拂戻ヲ求ムルコトヲ得サル旨ヲ規定シ會社カ之ヲ拂戻ササルトキト雖モ其ノ資本金額ヲ構成スル出資金額ハ減少スルモノトス

四年五五號 五年一〇月一六日宣告 (五年一四〇七頁)

○繰越缺損充當ノ爲無償減資ノ決議ニヨリ拂込濟株式金額減少シタル場合ニ於テハ其ノ充當ノ時期ニ付明確ノ證據ナキトキハ拂込濟株式金額減少ノ時ニ於テ充當セラレタルモノト認ムルヲ相當トス

六年五四號 七年四月二六日宣告 (七年三四四頁)

○合名會社ニ於テ社員退社スルトキハ之ニ對スル持分ハ拂戻以前ト雖モ會社ノ資本金額ヲ構成スル出資金額

舊第九條 第一項

ハ該社員ノ出資金額ヲ控除シタル金額ニ減少スルモノトス  
六年六六號 八年七月二〇日宣告 (八年五九〇頁)

○火災保險株式會社カ後ノ事業年度ニ於テ納付スヘキ納付金ノ支辨ニ充當スルタメ當該事業年度ノ配當シ得ヘキ利益金中ヨリ積立テタル震火災納付準備金ハ其ノ事業年度ノ所得ノ一部ヲ留保シタルモノニシテ所得稅法第八條ノ積立金ニ外ナラサルヲ以テ同法第九條ノ留保所得ニ該當スト解スルヲ相當トス

大一五年一九號 大一五年一〇月四日宣告 (大一五年一〇〇三頁)

○積立金ノ減少カ現行所得稅法(大正九年法律第十一號)施行前ニ行ハレタル場合ニ於テハ之ヲ填補スル爲ノ同法施行後ノ積立金ニ付テハ同法第九條第二項ノ規定ヲ適用スヘキ限ニ在ラス

大一二年八一號 大一二年一二月二〇日宣告 (大一二年一一〇四頁)

○株式會社ノ重役等ヨリ會社ノ株主ニ贈與シタル配當代用金ハ其ノ會社ノ配當所得ト爲スヘキモノニ非ス

大一五年二九號 二年三月二三日宣告 (二年四七二頁)

○資本減少ノ爲ノ買入ニ依ル株式ノ消却ハ株式會社ト株主トノ間ノ株式ノ賣買ニ依リ之ヲ爲スモノニシテ之ニ因リ株主カ會社ヨリ取クル金額ハ株式ノ代金ナルカ故ニ會社カ株式拂込濟金額以上ノ代價ヲ以テ株式ノ買入ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ超過金額ハ資本減少額以上ニ會社ノ資産ヲ減少スルモノナレハ損金トナルモノニシテ大正九年法律第十一號所得稅法第十條ニ所謂法人ノ配當所得ヲ構成スルモノニ非ス

大一五年二三號 三年七月二〇日宣告 (三年一〇六一頁)

○法人カ積立金ヲ減少シテ充當シタル利益ノ配當ハ積立ヲ爲シタル事業年度及其ノ配當ニ充當スル決議ノ時期ニ拘ハラズ配當ニ充當セラレタル一般利益配當ノ屬スル事業年度ニ屬ス

同 第二條 第二項

同

舊第十條 第一項

同 第二條 第二項

同

同

同

第六條 第一項

同



- 大正九年九三號 大正九年六月二日宣告 (大正九年六二五頁)
- 大正九年六四號 大正九年一月二六日宣告 (大正九年一二二六頁)
- 大正九年七六號 大正九年四月二日宣告 (大正九年二三〇頁)
- 大正九年一四號 大正九年七月一六日宣告 (大正九年七四八頁)

○大正九年法律第十一號所得稅法ノ施行後ニ屬スル法人ノ事業年度ニ於テ積立金ヲ以テ利益ノ配當ヲ爲シタル事實アル以上其ノ資源タル金額カ舊所得稅法ニ依リ課稅ヲ受ケタルモノ又ハ免稅セラレタルモノナルトキト雖モ該利益配當ノ事實ニ新所得稅法ヲ適用シテ法人ノ配當所得ヲ決定スヘキモノトス

大正九年七六號 四年二月二七日宣告 (五年一一七頁)

○清算ノ結果殘餘トナリタル財産ニシテ出資金額ニ按分シテ出資社員ニ交付セラレタルモノハ慰勞金ノ名ヲ以テスルモノヲ殘餘財産ヨリ除外シテ清算所得ヲ決定スヘキモノニアラス

二年三九號 二年八月二二日宣告 (二年九九一頁)

○大正十四年十二月當時ノ所得稅法第十一條第一項ノ解散當時ノ積立金額ハ最後ノ事業年度ノ損益計算ノ結果ニヨリテ増減セラレサル金額ナリトス

六年七二號 七年二月三日宣告 (七年一〇二〇頁)

○甲會社ト乙會社トカ合併スルニ當リ豫メ乙會社ノ株主ヲシテ其ノ所有株ヲ甲會社ノ重役丙ニ贈與セシメ丙ヲシテ乙會社ノ株主トナラシメタル後丙ニ乙會社ノ株主タル資格ニ於テ甲會社ヨリ交付シタル株式ノ拂込濟金額ハ當然所得稅法第十一條第二項ノ所謂合併ニ因リ取得シタル株式ノ拂込濟金額ニ加算スヘキモノトス

同

第十一條 舊第一項

同

第二條

第十四條 舊第一項

第十四條 第三項

同

同

○非營業貸金ノ利子ニシテ前年中ニ辨濟期到來シ且辨濟ヲ得ルコト能ハサルコトノ確證ナキモノハ之ヲ所得稅法第十四條第一項第一號並資本利子稅法第四條第一項ニ所謂「前年中ノ收入金額」ト認ムルヲ相當トス

八年四二號 九年五月一〇日宣告 (九年二六三頁)

○株式會社ノ使用人カ其ノ職務並勤續年數ヲ標準トシテ算定シタル特別慰勞金ヲ給與セラレタルトキハ其ノ給與ハ株式會社ノ使用人トシテ爲シタル勤務ニ對シ所得稅法第十四條第一項第五號ノ給與以外ニ受ケタルモノニシテ同條第一項第三號ノ賞與ノ性質ヲ有スル給與ニ相當ス

五年三二一號 六年一〇月二〇日宣告 (六年九二六頁)

○合名會社カ其ノ持株ヲ時價以下ニテ代表社員ニ賣却シタル場合ニ於テハ之ヲ時價以下ニ處分スルコトヲ是認シ得ヘキ特殊ノ事情ノ證明セラレサル限り賣買價格ト時價トノ差額ハ賣主タル會社ヨリ買主タル代表社員ニ對スル賞與ノ性質ヲ有スル給與ト認定スルヲ相當トス

六年四七號 一二年一〇月一四日宣告 (一二年三五五頁)

○專務取締役(定款ノ規定ニヨリ會社代表權ヲ有スル取締役)ヲ辭シ同時ニ普通ノ取締役ニ就任シタル場合ニ於テ專務取締役退職慰勞金名義ヲ以テ支給セラレタル給與ハ所得稅法第十四條第一項第三號ニ所謂賞與ノ性質ヲ有スル給與ト認ムルヲ相當トシ之ヲ同法第十八條第五號ニ所謂營利ノ事業ニ屬セサル一時ノ所得ニ相當スルモノト爲スヘキニアラス

一三年二九號 一三年一〇月一八日宣告 (一三年七六三頁)

一二年一三號 一三年二月二七日宣告 (一三年八四八頁)



一二年三四四號 一四年二月二八日宣告 (一四年一三四頁)

○會社ノ社務ニ盡シタル功績ニ對シ取締役社長在任中會社ヨリ功勞謝金トシテ支給セラレタル給與ハ所得稅法第十四條第一項第三號ノ「賞與ノ性質ヲ有スル給與」ニ該當シ同法第十八條第五號ノ「營利ノ事業ニ屬セサル一時ノ所得」ニ該當セス

一三年三二號 一四年三月一日宣告 (一四年二〇一頁)

○株式ニ對スル配當金ハ該株式ノ名義上ノ株主タルニ止マリ眞實ノ株主ニ非ス從テ其ノ配當金ヲ收得セサル者ノ所得ニ加算スヘキモノニ非ス

二年一三號 七年一月三〇日宣告 (七年一〇頁)

○前年一月一日以後郡長ヲ辭シ同日市長ニ就職シタル者ノ俸給所得ハ所得稅法第十四條第一項第五號ヲ適用シ之ヲ算出スヘキモノトス

二年四〇號 二年五月一六日宣告 (二年六〇二頁)

○前々年九月甲縣知事在職中休職トナリ本年一月乙縣知事ニ任セラレタル者ノ本年分ノ其ノ俸給所得ハ所得稅法第十四條第一項第五號但書ニ該當スルモノトス

三年二六九號 三年一月二二日宣告 (四年五八頁)

○愛知縣ノ縣會議員名譽職參事會費費用辨償規程ニヨリ縣會議員ニ支給スル同規程第一條所定ノ給與ハ所得稅法第十四條第一項第五號ニ所謂歳費ノ性質ヲ有スル給與ニシテ同法第十八條第三號ニ所謂旅費ニアラス

一二年二三號 一二年二月二三日宣告 (一二年七〇四頁)

第一項條第六號

○郵便年金ハ大正九年法律第十一號所得稅法第十四條第一項第五號ノ年金中ニ包含セラレヌ同第六號ノ所得ニ包含セラレルモノト解スルヲ相當トス

一一年一九號 一六年二月二二日宣告 (一六年二五頁)

○執達吏手数料規則ニ依ル書記料ハ所得稅法第十四條第一項第六號ニ所謂「收入」ニ屬スルモノトス

二年三一號 四年二月二五日宣告 (四年二〇〇頁)

三年四號 四年三月二七日宣告 (四年二八九頁)

三年二號 四年三月二九日宣告 (四年二九九頁)

三年三一五號 四年三月二九日宣告 (四年三〇四頁)

三年三〇三號 四年五月一四日宣告 (四年四七六頁)

○執達吏手数料規則ニ依リ執達吏ノ收入スル手数料及書記料ハ所得稅法第十四條第一項第六號ニ所謂收入ニ屬スルモノトス

三年三二七號 四年三月六日宣告 (四年三一九頁)

○貸家ノ原價償却金ハ第三種所得計算上必要經費ニアラス

大一年二五號 八年七月一八日宣告 (八年五六三頁)

○銀行業ヲ營ミ且該營業ニ關シ公社債、株式並他ノ銀行ニ對スル預金ヲ保有スル個人ノ所得稅法第十四條第一項第六號ノ所得ヲ算定スルニ付公社債等ノ保有ニ關スル經費ト貸付ニ關スル經費ノ區分カ明確ナラサル場合ニアリテハ公社債利子等ノ收入ト銀行業ノ總收入トノ割合ニ依リ其ノ總經費ヲ按分シ以テ公社債利子等ノ收入ニ對スル經費ヲ算出シ前記ノ總收入並總經費ヨリ夫ニ公社債等ノ收入並其ノ經費ヲ控除シ其ノ各



殘額ヲ以テ前記第十四條第一項第六號ノ收入並經費ト爲スヘキモノトス  
七年四五號 八年七月二〇日宣告 (八年六〇七頁)

○所得稅法上所得ノ計算ニ方リ控除スヘキ經費ハ同法第十四條第一項第六號及同法施行規則第七條ノ定ムル所ニヨリ收入ヲ得ルニ必要ナルモノニ限ラルヘキモノニシテ相續ニ依リ承繼シタル債務ノ利子ハ直ニ以テ相續財產ヨリ收入ヲ生セシムルニ付必要ナル經費ト謂フヲ得ス  
八年一九號 八年一月二一日宣告 (八年九五四頁)

○營業タル貸金ノ利子收入ニ因ル三種所得金額及個人ノ金錢貸付業ニ於ケル純益金額ノ算定上貸金元本ノ取立不能ニ因ル缺損ハ總收入金額ヨリ控除スヘキモノニ非ス  
九年二三號 九年六月一四日宣告 (九年三七〇頁)

○廢業シタル營業ニツキ損失アルモ右損失ハ廢業ノ翌年分ノ所得算出ニ關係ナキモノトス  
九年六二號 一一年二月二七日宣告 (一一年六七頁)

○從來所得稅法施行地ニ有シタル住所ヲ昭和三年四月中其ノ施行地外ナル朝鮮ニ移轉シタル者ノ同法第十四條第一項第六號ニ該當スル所得ニ付テハ其ノ住所移轉後ニ於テ同法施行地ニ住所ヲ有シタル期間内ニ生シタル分ニ付所得金額ノ決定ヲ爲スモ違法ニ權利ヲ侵害シタルモノニアラス  
三年三二八號 一一年六月一八日宣告 (一一年二八五頁)

○個人營業ノ純益並所得計算上營業者ノ資本及勞務ニ對シテハ借入資本及雇人ノ勞務ニ對スルト異ナリ一定ノ利息並一定ノ報酬ヲ想定シ之ヲ營業收益稅法第六條及所得稅法第十四條第一項第六號ニ所謂必要ノ經費ト爲スヘキモノニ非ス

同

舊第十四條  
第一項

同

同

同

第一項  
第二條

一三年四四號 一三年五月二二日宣告 (一三年二六六頁)

○郵便年金ハ大正九年法律第十一號所得稅法第十四條第一項第五號ノ年金中ニ包含セラレヌ同第六號ノ所得ニ包含セラルルモノト解スルヲ相當ス  
年金ノ受領者カ同時ニ掛金ノ拂込人タル郵便年金ニ於テハ所得計算上其ノ拂込ミタル掛金ハ之ヲ必要ノ經費ナリト解スルヲ相當トス  
一一年一九號 一六年二月二二日宣告 (一六年二五頁)

○退官者カ官吏恩給法上恩給ヲ受クヘキ條件ヲ具備シ所得金額決定前恩給請求書ヲ差出シタル場合ニ其ノ者ノ所得金額中ニ其ノ年分ニ相當スル恩給金額ヲ加算シ決定シタルハ適法ナリ  
大一年五二號 大一年四月二〇日宣告 (大一年四六九頁)

○所得調査委員ノ手當ハ調査委員ノ勤勞ニ對スル報酬ニシテ所得稅法第十四條第一項第一號ノ給與ニ該當スルモノトス  
大一年五六號 大一年一月六日宣告 (大一年一一五五頁)

○所得金額決定當時ニ於テ爾後破產管財人トシテ報酬ヲ受クルコトヲ豫想シ得ヘキ事情ノ見ルヘキモノナキニ決定當時迄ノ該報酬額ノ月割平均額ニ依リ爾後ノ當該年分ノ報酬ヲ見積リ算定シタルハ不當ナリ  
銀行等ノ顧問ニ對スル手當ヲ所得金額決定當時ノ現況ニ依リ辯護士ノ一般收入ト區別シ其ノ年額ヲ見積リ計算シタルハ不當ニ非ス  
大一年六〇號 二年一月二九日宣告 (二年一四〇頁)

○第三種ノ田又ハ畑ノ所得ヲ算出スルニ當リ稅務署長カ其ノ田又ハ畑所在地方ニ於テ一般ニ適用セル前三年



間ノ平均所得標準率ヲ適用シ且特別ノ事情ヲ斟酌シテ決定スルコトハ相當ナリ  
所得稅法第十四條第一項第二號ノ「前三年」トハ課稅當該年ヲ含マサル直近ノ前三年ノ意義ト解スヘキモノトス

大二年二五號 大二年七月一八日宣告 (大二年七七二頁)

○田所得ノ計算ニ付設備費開墾費ノ如キハ所得稅法第十四條第一項第二號ノ必要經費中ニ包含セスト解スヘキモノトス

大二年九六號 大三年三月一日宣告 (大三年一四四頁)

○所得稅法上山林所得ハ立木ノ所得ト解スヘキモノトス

大一年六〇號 大一年二月二六日宣告 (大一年一六三三頁)

○所得稅法第十四條第一項第三號ニ所謂山林所得トハ山林ノ經營ニ因リ生スル所得ヲ指稱スルモノナルカ故ニ單ニ轉賣ノ目的ヲ以テ立木ノミヲ買受ケ何等ノ經營ヲナスコトナク其ノ儘之ヲ他ニ賣却シテ取得シタル利益ノ如キハ之ヲ山林所得ト謂フヲ得ス

大二年七〇號 大二年六月二三日宣告 (大二年六五七頁)

○山林立木賣却ニ當リ其ノ伐採及搬出ノ爲ニ伐採搬出ノ期間林地ノ無料使用ヲ許シタルトキ其ノ期間ノ使用價值ヲ見積リ之ヲ山林所得ノ必要經費トシテ控除スヘキモノニアラス

大一年一五〇號 大一年二月二〇日宣告 (大一年一〇九〇頁)

○所得稅法第十四條第一項第三號ノ規定ハ山林所得ノ算出ニ付テハ前年中ニ現實ニ收納シタル金額ヲ以テ基礎ト爲スノ趣旨ナリト解スヘキモノナリ

同

同

同

同

同

第一項條  
第三號

同

同

同

第十四條  
第一項  
第五號

同

大四年二〇號 大五年六月二日宣告 (大五年四九〇頁)  
大一年一二七號 三年五月二日宣告 (四年四四八頁)

○山林賣却代金ノ取立ニ要シタル訴訟費用ハ其ノ性質上山林收入ヲ生セシムル爲ニ必要ナルモノニ非サルカ故ニ所得稅法第十四條第一項第三號ニ所謂「必要ノ經費」ニ該當セス

前項ノ經費ニ算入スヘキ利息ハ借入資金ニ對シ現實ニ利息トシテ負擔シタル分ニ限ル

山林收入カ數年ニ分屬シ之ニ關スル經費カ收入總額ニ共通ナルトキハ該經費總額ヲ各年ノ收入ニ按分シテ各年ノ收入ニ對スル經費ヲ算定スヘキモノトス

大四年二〇號 大五年六月二日宣告 (大五年四九〇頁)

○從來所有シタル山林立木ノ賣却代金ハ所得稅法第十四條第一項第三號ニ所謂山林ノ所得ニ該當ス

大一年二八號 大一年五月二日宣告 (大一年五八三頁)

○山林立木ノ賣却代金ヲ數年ニ分割シテ收入スル場合ニハ之ニ關スル經費總額ヲ代金總額ト前年中現實ニ收入シタル代金額トニ按分シ該金額ヲ前年中現實ニ收入シタル代金額ヨリ控除シタル額ヲ以テ山林所得ト算定スルヲ相當トス

大二年六一號 大一年一月二六日宣告 (大一年二四四頁)

○新所得稅法實施後ニ終了シタル法人ノ事業年度ニ屬スル配當ニ付テハ之ヲ受クル株主ニアリテモ新所得稅法ノ適用ヲ受クヘキモノトス

大一年六九號 大一年一月一八日宣告 (大一年一七六頁)

○改正所得稅法施行前ニ終了シタル事業年度ニ於テ爲シタル積立金ト雖モ同法施行後ニ終了スル會社ノ一般



利益配當ニ充當シタリト認ムヘキ場合ニハ之ヲ受ケタル者ノ第三種所得金額ニ其ノ配當額ヲ加算スルハ違法ニ非ス

大一年一〇九號 大二年七月一六日宣告 (大二年七二五頁)

○合名會社カ事業年度ノ中間ニ於テ積立金ヲ減少シ之ヲ社員ニ配當シタル場合ニ於テモ之ヲ收入シタル社員ニ付テハ所得税法上其ノ收入ノ時ニ於テ法人ヨリ利益ノ配當ヲ受ケタルモノト解スヘキモノトス  
所得税法上合名會社ノ社員カ會社ヨリ中間配當トシテ受ケタル收入ヲ第三種所得金額ニ加算スルニ付テハ前項收入ノ時カ前年四月一日ヨリ其ノ年三月末ニ至ル期間ニ屬スル收入ナリヤ否ヲ觀テ其ノ加算年度ヲ決スヘキモノニシテ該配當カ法人ノ配當所得トシテ屬スヘキ事業年度ノ標準トシテ決スヘキモノニ非ス(判例變更)

大一年七一號 大一年五月二六日宣告 (大一年三三九頁)

大一年七二號 大一年五月二六日宣告 (大一年三五二頁)

大一年七三號 大一年五月二六日宣告 (大一年三六五頁)

大一年七四號 大一年五月二六日宣告 (大一年三七九頁)

大一年七五號 大一年五月二六日宣告 (大一年三九三頁)

○法人ヨリ受ケル利益ノ配當ヲ之ヲ受ケタル者ノ第三種所得トシテ所屬年度ヲ決定スルニハ其ノ配當ヲ受ケタル時期ヲ標準トスヘキモノニシテ右配當カ法人ノ配當トシテ屬スヘキ事業年度ノ終リヲ標準トスヘキモノニ非ス

大二年九三號 大一年七月二〇日宣告 (大一年八一九頁)

同

同

同

同

同

第一項  
第六號

第十六條  
第一項

第十六條ノ  
三

○合名會社ノ利益配當カ法律上社員ノ所得ト爲ルハ其ノ現ニ實行セラレタル時ニ非スシテ其ノ法律上ノ效力ヲ生シタル時ナリトス

大正九年法律第十一號所得税法ニハ舊所得税法ニ依リ課稅セラレタル法人ノ利益金ノ分配ニ因リテ生シタル第三種所得ニ課稅セサル旨ノ規定ナシ

大一年自一八號 四年一二月二七日宣告 (五年八五頁)

○所得税法上株式配當金ノ歸屬ヲ定ムルニ當リテハ其ノ名義ニ依ルヘキモノニ非スシテ其ノ實質ニ依ルヘキモノナリ

大一年九七號 一〇年七月一九日宣告 (一〇年六〇〇頁)

大二年七三號 一〇年七月一九日宣告 (一〇年六〇八頁)

大一年一四〇號 一六年三月一三日宣告 (一六年六九頁)

○多額多數ノ取引ヲ爲ス商人ノ所得金額決定ノ基礎タル支出金額算定上殘餘商品全ク存在セサル事實ノ認ムヘキモノナキ場合ニ於テハ相當殘餘商品アリト認メ其ノ價格ニ相當スル金額ヲ控除シタルモノヲ以テ支出金ト爲スヲ相當トス

大一年五四號 大一年九月二九日宣告 (大一年九四六頁)

○所得税法第十六條第一項ノ規定ニ依ル控除ハ所得ヲ有スル者ノ申請アリタルトキニ限り之ヲ爲スヘキモノトス

九年一六號 九年四月二八日宣告 (九年二四七頁)

○所得税法第十六條ノ三ノ規定ハ所得ヲ有スル者カ自ラ爲シタル生命保險契約ノ爲ニ拂込ミタル保險料ヲ年財務 所得税法



額二百圓迄其ノ所得ヨリ控除スルノ趣旨ト解スルヲ相當トス從テ所得ヲ有スル者カ家族ノ爲シタル保險契約ノ爲ニ保險料ヲ拂込ミタリトスルモ之ヲ其ノ所得ヨリ控除スヘキモノニ非ス

大一年一八號 大一年五月二日宣告 (大一年三一八頁)

○愛知縣ノ縣會議員名譽職參事會費辨償規程ニヨリ縣會議員ニ支給スル同規程第一條所定ノ給與ハ所得税法第十四條第一項第五號ニ所謂歳費ノ性質ヲ有スル給與ニシテ同法第十八條第三號ニ所謂旅費ニアラス

一二年二三號 一二年二月二三日宣告 (一二年七〇四頁)

○投機事業ニ因ル收入年額ト雖モ諸般既知ノ事實ニ依リ之ヲ豫算シ得サルモノニアラス  
數年來反覆繼續シテ行ヒタル定期米賣買ニ因ル所得ハ營利ノ事業ニ屬スル所得ニシテ所得税法第十八條第五號ニ該當セス

大一年一九號 大一年七月二七日宣告 (大一年八六八頁)

○破産管財人ノ職務ニ對スル報酬ハ所得税法第十八條第五號ニ所謂營利ノ事業ニ屬セサル一時ノ所得ニ非ス  
大一年六〇號 二年一月二九日宣告 (二年一四〇頁)

○株式會社ノ使用人ニ對スル其ノ職務並勤績年數ヲ標準トシテ算定シタル特別慰勞金ノ給與ハ給與者カ之ヲ爲スニ至リタル事由カ特定事故ノ記念ノ爲ナル場合ニ於テモ所得税法第十八條第五號ノ營利ノ事業ニ屬セサル一時ノ所得ニテラス

五年三二一號 六年一〇月二〇日宣告 (六年九二六頁)

○専務取締役(定款ノ規定ニヨリ會社代表權ヲ有スル取締役)ヲ辭シ同時ニ普通ノ取締役ニ就任シタル場合

第十八條 第三號

第十八條 第五號

第五條

ニ於テ専務取締役退職慰勞金名義ヲ以テ支給セラレタル給與ハ所得税法第十四條第一項第三號ニ所謂賞與ノ性質ヲ有スル給與ト認ムルヲ相當トシ之ヲ同法第十八條第五號ニ所謂營利ノ事業ニ屬セサル一時ノ所得ニ該當スルモノト爲スヘキニアラス

一三年二九號 一三年一〇月一八日宣告 (一三年七六三頁)

一二年三四四號 一四年二月二八日宣告 (一四年一三四頁)

○會社ノ社務ニ盡シタル功績ニ對シ取締役社長在任中會社ヨリ功勞謝金トシテ支給セラレタル給與ハ所得税法第十四條第一項第三號ノ「賞與ノ性質ヲ有スル給與」ニ該當シ同法第十八條第五號ノ「營利ノ事業ニ屬セサル一時ノ所得」ニ該當セス

一三年三二號 一四年三月一日宣告 (一四年二〇一頁)

○會社カ取締役ニ給與シタル賞與ハ所得税法第十八條第五號ノ「營利ノ事業ニ屬セサル一時ノ所得」ニ該當セス

六年三七九號 一四年一〇月二六日宣告 (一四年六六一頁)

○所得税法第二十四條第一項、同法施行規則第十六條、第六條ノ二並營業收益税法第十一條、同法施行規則第十三條、第四條ニヨリ法定ノ期間内ニ稅額控除ノ申請ヲ爲ササルトキハ所得税法第二十一條第二項ニ規定スル第一種所得稅額ヨリ第二種所得稅額ノ控除並營業收益税法第十條第二項ニ規定スル營業收益稅額ヨリ地租額又ハ資本利子稅額ノ控除ヲ受クルコトヲ得サルモノトス

六年三七三號 七年六月二日宣告 (七年四九五頁)

○法人カ合併ニ因リテ消滅シタル場合ニ於テハ被合併法人ノ最後ノ事業年度ニ於ケル所得又ハ營業純益ハ合

第二十一條 第二項

同

同

同



併法人ノ當該事業年度ニ於ケル所得及營業純益ト別箇獨立ニ算定スヘク之ニ對スル徵收稅金及控除ヲ爲ス  
ヘキ第二種所得稅、資本利子稅額及地租額ノ計算モ亦各別ニ之ヲ爲スヘキモノトス  
七年七〇號 七年一月二四日宣告 (七年一〇〇五頁)

第二十一條  
第一項

○所得稅法第二十一條ノ二ノ規定ハ同族會社ニ商法上利益ノ配當ヲ爲スコトヲ得ヘキ普通所得アルニ拘ラス  
之ヲ配當セス其ノ社員又ハ株主ヲシテ配當所得ノ綜合課稅ヲ不當ニ免レシムル如キ場合ニ限り例外的ニ之  
ヲ適用スヘキモノニシテ正當ノ理由ニ因リ普通所得金額ヲ留保シタル場合ニハ同條ヲ適用シ所得稅額增加  
ノ決定ヲ爲スヘキモノニ非ス

- 三年三四三號 四年三月二二日宣告 (四年三二七頁)
- 四年五二二號 六年三月二六日宣告 (六年二九〇頁)
- 五年三一八號 六年四月二八日宣告 (六年四〇〇頁)
- 六年六二號 六年七月二一日宣告 (六年七五六頁)
- 一六年一一號 一六年七月一七日宣告 (一六年一七九頁)

○商法第六十七條、第五條ニ依レハ合資會社ハ損失ヲ填補シタル後ニ非サレハ利益ノ配當ヲ爲スコトヲ得  
サルカ故ニ合資會社カ普通所得ヲ留保シ之ヲ以テ繰越缺損金ヲ填補シタル場合ハ正當ノ理由ニ因リ普通所  
得金額ヲ留保シタル場合ノ一ナルヲ以テ所得稅法第二十一條ノ二ノ規定ヲ適用シテ所得稅額加算ノ決定ヲ  
爲スヘキモノニ非ス

三年三四三號 四年三月二二日宣告 (四年三二七頁)  
○解散事業年度ノ普通所得モ社外ニ出テサル金額ハ總テ所得稅法ニ所謂「留保シタル」金額ニ該當ス

同

三年三四一號 七年三月一七日宣告 (七年一五七頁)

○同族會社カ普通所得ヲ留保シ其ノ一部ヲ繰越缺損金ノ補填ニ充當シタルトキハ其ノ補填金額ハ所得稅法第  
二十一條ノ二ノ適用上同條ニ所謂事業年度ノ普通所得並ニ留保シタル金額ヨリ共ニ控除スヘキモノトス

- 六年一二號 七年一月一十九日宣告 (七年九五七頁)
- 一〇年八八號 一一年五月五日宣告 (一一年一七八頁)
- 一二年七號 一二年四月八日宣告 (一二年一〇八頁)

○同族會社ノ留保金ニシテ繰越損失補填ノ爲メニアラス後ノ事業年度ニ於テ必要ニ應シ處分シ得ルモノハ所  
得稅法第二十一條ノ二ノ適用上計算外ニ置クヘキモノニアラス

九年五二號 九年七月七日宣告 (九年五四八頁)

○繰越缺損ノ補填ニ充當シタルカ如キコトナキ留保金額アルコトニ爭ナキ以上之ヲ基礎トシテ同條第一項ノ  
規定ニ依リ加算稅額ノ決定ヲ爲スハ不當ナリト言フコトヲ得ス

- 五年三一六號 九年七月二四日宣告 (九年七一七頁)
- 五年三二三號 九年七月二四日宣告 (九年七二七頁)

○同族會社カ其ノ貸借對照表ニ繰越缺損金ト積立金トヲ併記整理シタル場合ニ於テハ所得稅法第二十一條ノ  
二ノ適用上其ノ繰越缺損金額カ積立金額ヲ超過スル金額即チ實在ノ繰越缺損金額ニ限り同條ニ所謂事業年  
度ノ普通所得並留保シタル金額ヨリ共ニ之ヲ控除スヘキモノトス

- 一〇年八八號 一一年五月五日宣告 (一一年一七八頁)
- 一〇年六九號 一六年七月一九日宣告 (一六年一八四頁)



○所得稅法第二十一條ノ二第一項第一號ノ「普通所得」並「普通所得中留保シタル金額」中ニハ國債ノ利、  
 並製鐵事業ヨリ生シタル所得ノ如キ非課稅所得ヲ包含スルモノト解スルヲ相當トス從テ同族會社ノ或ル事  
 業年度ノ普通所得ノ全部又ハ一部カ前示ノ如キ非課稅所得ヨリ成ル場合ニ於テモ同號所定ノ超過留保金額  
 ノ全額ニ付加算稅ヲ課スヘキモノトス

一〇年八七號 一一年五月一九日宣告 (一二年二〇五頁)

○昭和十四年勅令第七十九號會社利益配當及資金融通令(昭和十四年四月十日施行昭和十五年十月二十日  
 廢止)第二條ニ依レハ資本金二十萬圓以上ノ會社ハ同條但書ノ場合ヲ除キ主務大臣ノ許可ヲ受クルニ非サ  
 レハ基準配當率ヲ超ユル率ニ依リ每事業年度ノ利益配當ヲ爲スコトヲ得サルカ故ニ資本金二十萬圓以上ノ  
 會社カ同條但書ニ該當セス且同條ノ許可ヲ受ケサリシ結果同令ニ依ル其ノ基準配當率ニ依リ利益配當ヲ爲  
 シタル爲普通所得ヲ留保シタル場合ハ正當ノ理由ニ因リ普通所得金額ヲ留保シタル場合ノ一ニ該當スルヲ  
 以テ所得稅法第二十一條ノ二ヲ適用シ所得稅額增加ノ決定ヲ爲スヘキモノニ非ス

一六年一一號 一六年七月一七日宣告 (一六年一七九頁)

○所得稅法第二十一條ノ二第二項ノ規定ニ該當スル法人ハ當然同法上ノ同族會社タルモノナリ  
 三年三五二號 七年一月一日宣告 (七年八九一頁)

○所得稅法第二十一條ノ二第二項ノ規定ニ該當スル同族會社ハ自然人ノミヲ以テ株主又ハ社員トスルモノニ  
 限ルコトナシ

五年三一六號 九年七月二四日宣告 (九年七一頁)

五年三二三號 九年七月二四日宣告 (九年七二七頁)

同

同

同 第二項

同

第二十四條 第二項

第二十五條 舊第一項

同 第二條

同

第二十六條 第一項

同

○所得稅法ニハ缺損金額ヲ決定スヘキ旨ノ規定ナシ

大二年三二號 大二年二月二二日裁決 (大二年三一頁)

○事實上納稅義務ヲ生スヘキ所得金額アル者ノ申告シタル金額カ法定ノ所得金額ニ達セサルノ故ヲ以テ其ノ  
 申告ヲ所得稅法第二十五條ノ申告ニ非スト謂フヲ得ス

大一年一一〇號 大一年六月一四日宣告 (大一年七一三頁)

○事實上納稅義務ヲ生スヘキ所得金額アル者ノ申告シタル金額カ法定ノ所得金額ニ達セサル場合ト雖モ其ノ  
 申告ト同時ニ爲シタル稅法第十六條ニ依ル控除ノ申請ヲ以テ第二十五條ニ該當セスト謂フヲ得ス

大一年一一〇號 大一年六月一四日宣告 (大一年七一三頁)

○所得稅法施行規則第十條第二項ノ規定ニ該當スル者以外ノ者ニシテ其ノ年三月十五日迄ニ控除申請書ヲ所  
 得申告ト同時ニ提出セサル者ハ稅法第十六條第一項ノ控除ヲ受クルコトヲ得ス

三年二九〇號 四年一月二三日宣告 (四年六三頁)

九年一六號 九年四月二八日宣告 (九年二四七頁)

○所得金額及營業純益金額ニ關シ前年分決定額ノ減損更訂ノ請求ニ對スル處理未了ノ間ニ次年分ノ決定ヲ爲  
 スハ違法ニ非ス

五年八三號 八年七月二〇日宣告 (八年六三二頁)

○會社カ甲事業年度ニ屬セシムヘキ計算ナルニ拘ラス之ヲ同事業年度ノ決算ニ表現セスシテ次ノ乙事業年度  
 ノ決算ニ表現シタル場合ニ於テ稅務官廳カ其ノ乙事業年度ノ決算ニ依リ所得金額ヲ決定スルモ違法ニアラ  
 ス



同 第二項

九年一〇號 一〇年五月三〇日宣告 (一〇年三九八頁)  
○所得税法第二十六條第二項ニ依リ前年決定ニ脱漏アリタル分ノ第三種所得金額ヲ決定シタル場合ニ於テハ該決定額ト前年ノ決定トヲ合算シタルモノニ付同法第二十三條所定ノ稅率ヲ適用スヘキモノトス  
六年三八三號 七年四月一二日宣告 (七年三一三頁)

第五十九條 第一項

○所得金額決定通知書ヲ郵便ニテ發送シタルトキ其ノ郵便物カ之ヲ受領スヘキ者ニ配達セラレタルトキハ其ノ者カ之カ受領ヲ拒絶スルモ所得税法ニヨリ所得金額ノ決定通知アリタルモノトス  
四年六〇號 四年六月二二日宣告 (四年六五五頁)

第六十條 第一項

○稅務署長ノ所得金額決定ニ對シ適法ノ期間内ニ審査ヲ請求セサルトキハ其ノ課稅標準ハ法律上確定ス  
大一二二年五二號 大一三年三月一日宣告 (大一三年一三八頁)

第六十一條 第一項

○所得税法第六十一條ノ規定ハ審査請求者ノ申立テタル範圍ニ制限セラルルコトナク其ノ者ノ所得ノ全體ニ付更ニ審査シ其ノ所得金額ヲ決定スヘキ法意ナリト解スルヲ相當トス  
三年三三三號 五年一〇月四日宣告 (五年一二四一頁)  
三年三三三號 五年一〇月四日宣告 (五年一二四一頁)

同

○所得税法並營業收益税法ノ審査請求ニ對シ稅務署長ノ決定金額ヨリモ多額ニ決定スルモ違法ニアラス  
五年三〇號 一五年二月二一日宣告 (一五年七五八頁)

第六十四條 第一項

○所得税法第六十四條第一項ニ所謂第十四條第一項第五號ノ所得額トハ同法第十四條第一項第五號ニ列舉セル所得ノ種類毎ニ區分セル金額ノ義ニアラスシテ之ヲ通算シタル金額ノ義ト解スヘキモノトス  
一〇年六四號 一〇年五月二八日宣告 (一〇年三六六頁)

第六十六條

同

○自ラ所得金額決定ノ處分ヲ受ケタル者ニ非サレハ所得税法第六十六條ニ依リ行政訴訟ヲ提起スルヲ得ス  
大一一一年三七號 大一一一年二月一四日裁決 (大一一一年二七頁)  
○稅務署長ノ爲シタル所得金額決定ニ對スル行政訴訟ハ之ヲ認メタル法令ナキヲ以テ受理スヘカラサルモノトス

同

大一一一年四〇號 大一一一年二月二一日裁決 (大一一一年一二三頁)  
○稅務署長ノ爲シタル所得税法ニ依ル減損更訂處分ニ不服アル者ハ其ノ地方上級行政廳タル稅務監督局長ニ訴願シ其ノ裁決ヲ經タル後ニ非サレハ出訴スルコトヲ得サルモノトス  
大一一一年一六七號 大一一一年六月二二日裁決 (大一一一年七六一頁)

同

大一一一年一六七號 大一一一年六月二二日裁決 (大一一一年七六一頁)  
大一一三年三八號 大一一三年四月二八日裁決 (大一一三年二五一頁)  
○當期缺損金額ノ變更ヲ求ムル行政訴訟ノ提起ヲ許シタル法令ノ規定ナシ  
各事業年度ノ繰越缺損額ノ更正ノミヲ求ムル行政訴訟ヲ許シタル規定ナシ  
大一一二年三三號 大一一二年二月二二日裁決 (大一一二年三一頁)

同

○稅務監督局長カ所得決定ヲ爲スニ當リ必要經費トシテ控除スヘカラサルモノヲ控除シ又控除スヘキモノニ控除不足アリタル場合ニ於テ彼此増減シテ右決定金額ヨリ増加スルノ結果トナルトキハ右決定金額ヲ減額スヘシトノ請求ハ理由ナキモノトス  
大一一一年一五〇號 大一一二年二月二〇日宣告 (大一一二年一〇九〇頁)

同

○第三種所得金額減損更訂金額ノ誤謬訂正願ニ付稅務署長カ爲シタル却下處分ニ對シテハ行政訴訟ヲ許シタル規定ナシ



同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

大一年一九三號 大一年六月二三日宣告 (大一年五六〇頁)

○他人ニ對シテ爲シタル第一種所得並營業純益ノ課稅標準ノ決定ニ對シ行政訴訟ヲ許シタル規定ナシ

三年一三六號 四年二月二〇日裁決 (四年一五一頁)

○假令被告タル稅務監督局長ノ所得金額審査決定當時現ハレサリシトスルモ係爭年度ニ於テ事實上存セシ所得ナル以上行政訴訟ニ於テ被告カ之ヲ主張シ以テ其ノ決定ヲ維持スルハ違法ニ非ス

大一年二二一號 五年一月二四日宣告 (五年一四五頁)

○所得金額ノ決定及營業純益金額ノ決定ニ對スル行政訴訟ヲ提起スルニハ審査ノ請求ヲ爲シ其ノ決定ヲ受ケタルコトヲ要スルモノナルヲ以テ此ノ手續ヲ履ムコトナク提起サレタル行政訴訟ハ適法ノ手續ニ違背スルモノニシテ行政裁判法第二十七條第一項後段ニ依リ却下スヘキモノトス

一六年一六九號 六年六月三〇日裁決 (六年五九四頁)

○稅務署長ノ爲シタル營業收益稅法及所得稅法ニ依ル減價更訂處分ニ不服アル者ハ其ノ地方上級行政廳タル稅務監督局長ニ訴願シ其ノ裁決ヲ經タル後ニ非サレハ出訴スルコトヲ得サルモノトス

六年三一四號 七年三月二六日宣告 (七年一八八頁)

○第三種所得金額營業純益金額更正ノ訴訟ニ付主張ヲ立證スルニ足ラサル請求ハ之ヲ採用スルニ由ナシ

七年二〇二號 七年二月二七日裁決 (七年一二八九頁)

○稅務署長カ所得金額並純益金額ノ減損更訂ノ請求ヲ却下シタル處分ニ對シテハ稅務監督局長ニ訴願シ其ノ裁決ヲ經タル後ニアラサレハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得サルモノトス

六年三一七號 八年三月六日宣告 (八年一〇一頁)

○稅務署長ノ爲シタル營業收益稅法及所得稅法ニ依ル減價更訂處分ニ不服アル者ハ其ノ地方上級行政廳タル稅務監督局長ニ訴願シ其ノ裁決ヲ經タル後ニアラサレハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得サルモノトス

六年三一四號 七年三月二六日宣告 (七年一八八頁)

○第三種所得金額營業純益金額更正ノ訴訟ニ付主張ヲ立證スルニ足ラサル請求ハ之ヲ採用スルニ由ナシ

七年二〇二號 七年二月二七日裁決 (七年一二八九頁)

○稅務署長カ所得金額並純益金額ノ減損更訂ノ請求ヲ却下シタル處分ニ對シテハ稅務監督局長ニ訴願シ其ノ裁決ヲ經タル後ニアラサレハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得サルモノトス

六年三一七號 八年三月六日宣告 (八年一〇一頁)

○稅務署長カ所得金額並純益金額ノ減損更訂ノ請求ヲ却下シタル處分ニ對シテハ稅務監督局長ニ訴願シ其ノ裁決ヲ經タル後ニアラサレハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得サルモノトス

六年三一七號 八年三月六日宣告 (八年一〇一頁)

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

第六十九條

第七十三條ノ二

九年二二六號 九年一月六日裁決 (九年九二〇頁)

一四年一〇八號 一四年一〇月五日裁決 (一四年六四四頁)

○第三種所得金額ノ決定ニ對スル行政訴訟ハ右所得稅ノ納稅義務者ニ限り之ヲ提起シ得ヘキモノトス

九年三五九號 一五年一月二六日宣告 (一五年八二四頁)

○所得稅及營業收益稅ニ關スル既納稅金ノ還付請求ニ付テハ大正九年法律第十一號所得稅法營業收益稅法其ノ他法律勅令中ニ行政訴訟ヲ許シタル規定ナシ

一二年三二五號 一六年三月六日裁決 (一六年五六頁)

○所得稅法第六十九條ハ超過所得又ハ留保所得ニ對スル所得稅ノ場合ニ適用スヘキモノニアラス

大一年一六六號 大一年二月一九日宣告 (大一年一〇七六頁)

○所得稅法第七十三條ノ二ノ適用上同族會社ノ寄附ニシテ其ノ目的タル事業ノ遂行ニ必要ナラスト認メラルルモノニ付テハ會社及株主、社員其ノ他特殊ノ關係アル者ニ付共ニ所得稅連脫ノ目的アリト推定スルヲ妨ケサルモノニシテ株主、社員其ノ他特殊關係者ノ全部若ハ一部ニ於テモ同一事項ニ付相當ノ寄附ヲ爲シタル事實其ノ他之ニ類スル反證アル場合ニ限り所得稅連脫ノ目的アリトノ推定ヲ阻却シ、稅法上適法ニ損金トシテ計算スルコトヲ得ヘキ會社自身ノ寄附ト認ムルヲ相當トス

二年二六八號 四年六月六日宣告 (四年五九〇頁)

○同族會社カ退社社員ニ對シ持分ノ拂戻トシテ時價以下ノ記帳價格ヲ以テ財産ヲ給付スル如キ計算ヲ爲シタルトキ連稅ノ目的ニ出テタルモノト認メ之ニ所得稅法第七十三條ノ二ノ規定ヲ適用スルハ不當ニ非ス

四年五七七號 四年一〇月二六日宣告 (四年一〇四一頁)

○同族會社カ退社社員ニ對シ持分ノ拂戻トシテ時價以下ノ記帳價格ヲ以テ財産ヲ給付スル如キ計算ヲ爲シタルトキ連稅ノ目的ニ出テタルモノト認メ之ニ所得稅法第七十三條ノ二ノ規定ヲ適用スルハ不當ニ非ス

四年五七七號 四年一〇月二六日宣告 (四年一〇四一頁)

○同族會社カ退社社員ニ對シ持分ノ拂戻トシテ時價以下ノ記帳價格ヲ以テ財産ヲ給付スル如キ計算ヲ爲シタルトキ連稅ノ目的ニ出テタルモノト認メ之ニ所得稅法第七十三條ノ二ノ規定ヲ適用スルハ不當ニ非ス

四年五七七號 四年一〇月二六日宣告 (四年一〇四一頁)

○同族會社カ退社社員ニ對シ持分ノ拂戻トシテ時價以下ノ記帳價格ヲ以テ財産ヲ給付スル如キ計算ヲ爲シタルトキ連稅ノ目的ニ出テタルモノト認メ之ニ所得稅法第七十三條ノ二ノ規定ヲ適用スルハ不當ニ非ス

四年五七七號 四年一〇月二六日宣告 (四年一〇四一頁)

○同族會社カ退社社員ニ對シ持分ノ拂戻トシテ時價以下ノ記帳價格ヲ以テ財産ヲ給付スル如キ計算ヲ爲シタルトキ連稅ノ目的ニ出テタルモノト認メ之ニ所得稅法第七十三條ノ二ノ規定ヲ適用スルハ不當ニ非ス

四年五七七號 四年一〇月二六日宣告 (四年一〇四一頁)

○同族會社カ退社社員ニ對シ持分ノ拂戻トシテ時價以下ノ記帳價格ヲ以テ財産ヲ給付スル如キ計算ヲ爲シタルトキ連稅ノ目的ニ出テタルモノト認メ之ニ所得稅法第七十三條ノ二ノ規定ヲ適用スルハ不當ニ非ス

四年五七七號 四年一〇月二六日宣告 (四年一〇四一頁)

○同族會社カ退社社員ニ對シ持分ノ拂戻トシテ時價以下ノ記帳價格ヲ以テ財産ヲ給付スル如キ計算ヲ爲シタルトキ連稅ノ目的ニ出テタルモノト認メ之ニ所得稅法第七十三條ノ二ノ規定ヲ適用スルハ不當ニ非ス

四年五七七號 四年一〇月二六日宣告 (四年一〇四一頁)

○同族會社カ退社社員ニ對シ持分ノ拂戻トシテ時價以下ノ記帳價格ヲ以テ財産ヲ給付スル如キ計算ヲ爲シタルトキ連稅ノ目的ニ出テタルモノト認メ之ニ所得稅法第七十三條ノ二ノ規定ヲ適用スルハ不當ニ非ス

四年五七七號 四年一〇月二六日宣告 (四年一〇四一頁)

○同族會社カ退社社員ニ對シ持分ノ拂戻トシテ時價以下ノ記帳價格ヲ以テ財産ヲ給付スル如キ計算ヲ爲シタルトキ連稅ノ目的ニ出テタルモノト認メ之ニ所得稅法第七十三條ノ二ノ規定ヲ適用スルハ不當ニ非ス



同

四年五三六號 八年三月二五日宣告 (八年一七六頁)  
○所得稅法第七十三條ノ一ヲ適用スル場合ニ於テハ金錢ノ授受ナキニ拘ラス之アリタルモノトシテ同族會社ノ社員等ノ所得ヲ計算スルモ違法ニ非ス

七年七三號 八年五月二六日宣告 (八年三八五頁)

○同族會社ノ社員ニ對シ無利子ニテ會社ノ資金ヲ使用セシメタル場合ニ其ノ利子ニ相當スル金額ノ收入アリタルモノトシテ會社ノ所得金額ヲ算定シタルハ不當ニ非ス

七年五九號 一〇年六月二五日宣告 (一〇年四五〇頁)

第七十九條

○所得稅法ニヨリ所得稅ヲ課セラレタル法人ノ改正所得稅法施行前ニ終了シタル事業年度分ニ屬スル利益配當ヲ受ケタル金額ハ改正所得稅法ニ依ル第三種所得金額ニ加算スヘキニ非ス

大一年九四號 大一年六月二日宣告 (大一年六三九頁)

○大正九年七月ニ於テ配當セラレタル改正所得稅法施行後ニ終了スル法人ノ事業年度分配當金ヲ其ノ配當ヲ受ケタル者ノ大正十年第三種所得金額ニ加算シタルハ適法ナリ

舊所得稅法ニ依リ法人ノ所得トシテ課稅セラレタル積立金ト雖モ之ヲ配當シタルトキハ其ノ配當ニシテ改正所得稅法施行前ニ終了スル法人ノ事業年度所屬ノモノニアラサル限ハ其ノ配當金ヲ第三種所得トシテ課稅スルハ違法ニ非ス

大一年八八號 大一年二月六日宣告 (大一年一三三三頁)

○株主ノ受ケタル配當金カ所得稅法施行前ニ終了シタル法人ノ事業年度分ニ屬スルモノナルトキハ所得稅法ノ適用ナキモノトス

大一年八八號 大一年二月六日宣告 (大一年一三三三頁)

○株主ノ受ケタル配當金カ所得稅法施行前ニ終了シタル法人ノ事業年度分ニ屬スルモノナルトキハ所得稅法ノ適用ナキモノトス

同

大一年一〇五號 大一年二月一六日宣告 (大一年一三九五頁)

○法人ノ改正所得稅法施行前ニ終了シタル事業年度ノ所得ニ該當セサル配當金額ヲ其ノ配當ヲ受ケタル者ノ第三種所得金額ノ算定ニ加入シタルハ違法ニアラス

大一年七七號 大一年四月二日宣告 (大一年二三五頁)

大一年七八號 大一年四月二日宣告 (大一年二四一頁)

○所得稅法ニ依リ所得稅ヲ課セラレタル法人ノ改正所得稅法施行前ニ終了シタル事業年度分ニ屬スル利益配當ハ改正所得稅法ニ依ル第三種所得金額ニ加算スヘキニアラス

大一年八一號 大一年四月二日宣告 (大一年二五六頁)

○改正所得稅法施行前ニ終了シタル事業年度ニ於テ爲シタル積立金ト雖モ同法施行後ニ終了スル會社ノ一般利益配當ニ充當シタリト認ムヘキ場合ニハ之ヲ受ケタル者ノ第三種所得金額ニ其ノ配當額ヲ加算スルハ違法ニアラス

大一年一〇九號 大一年七月一六日宣告 (大一年七二五頁)

同

○合名會社カ積立金ヲ減少シテ配當ニ充當シタル金額カ改正所得稅法施行前ニ終了シタル各事業年度ノ所得ニ該當セサル場合ニ於テ其ノ配當ニ依リ社員ノ受ケタル金額ハ同法第七十九條ニ所謂「法人ノ本法施行前ニ終了シタル各事業年度分ニ屬スル第十四條第一項第五號ノ所得」ニ該當セス

大一年一一〇號 大一年七月一六日宣告 (大一年七三一頁)

大一年一一一號 大一年七月一六日宣告 (大一年七三六頁)

大一年一一二號 大一年七月一六日宣告 (大一年七四〇頁)



第八十條

○法人ノ利益配當ニシテ所得稅法施行前ニ終了セル事業年度ニ屬スルモノハ所得稅法第八十條ニ該當シ從前ノ規定ニ依ルヘク所得金額ニ算入スヘカラサルモノトス

大一年九三號 大一年六月二日宣告 (大一年六二五頁)

大一年六四號 大一年一月二七日宣告 (大一年一二二六頁)

○法人ノ事業年度カ大正九年法律第十一號施行前ニ開始シタル場合ト雖モ同法施行後ニ終了スルトキハ同法ニ依リ所得稅ヲ課セラルルモノトス

大一年一七四號 大一年一月三日宣告 (大一年九五五頁)

19 所得稅法施行規則

(大正九年勅令第二百二十六號 昭和十五年勅令第三百三十四號ニ依リ廢止)

第七條

○所得稅法上所得ノ計算ニ方リ控除スヘキ經費ハ同法第十四條第一項第六號及同法施行規則第七條ノ定ムル所ニヨリ收入ヲ得ルニ必要ナルモノニ限ラルヘキモノニシテ相續ニ依リ承繼シタル債務ノ利子ハ直ニ以テ相續財產ヨリ收入ヲ生セシムルニ付必要ナル經費ト謂フヲ得ス

八年一九號 八年一月二日宣告 (八年九五四頁)

○營業タル貸金ノ利子收入ニ因ル第三種所得金額及個人ノ金錢貸付業ニ於ケル純益金額ノ算定上貸金元本ノ取立不能ニ因ル缺損ハ總收入金額ヨリ控除スヘキモノニ非ス

九年二三號 九年六月一四日宣告 (九年三七〇頁)

○第三種所得ハ申告、調査又ハ決定當時ノ現況ニ依リ之ヲ算出スヘキモノトス

大九年五號 大一年七月一二日宣告 (大一年七〇六頁)

第八一條 第一項

同

○所得稅法施行規則第八條第一項ニ所謂決定當時ノ現況トハ決定當時ノ客觀的現況ヲ云ヒ稅務官廳ノ主觀的現況ヲ云フモノニ非ス

大一年三七號 大一年七月五日宣告 (大一年五六一頁)

○大正九年法律第十一號所得稅法ニヨリ稅務署長決定當時ノ現況ニ依リ計算スヘキ第三種所得ノ行政訴訟ニ於テ審査決定ノ内容カ右ノ決定當時ノ現況ニ相違ストナストキハ被告ハ審査決定ノ内容ト異ナレル主張ヲナスヲ妨ケス

大一年五二五號 八年七月一八日宣告 (八年五六三頁)

○所得稅法施行規則第八條第一項ノ規定ハ稅務監督局長カ第三種所得金額ヲ決定スルトキト雖モ稅務署長ノ決定當時ノ現況ニ依ラシムルノ法意ナリト解スヘク個人ノ營業純益金額ノ決定ニ付テモ亦之ト同様ニ律スヘキモノトス

五年八三號 八年七月二〇日宣告 (八年六三二頁)

20 所得稅法

(明治十七年法律第十七號 大正九年法律第十一號ニ依リ廢止)

第四條ノ三 第三號

○山林伐採所得トハ山林ヲ伐採スルコト又ハ伐採セシムルコトニ因ル所得ヲ指スモノニシテ山林ヲ土地ト共ニ讓渡シタル場合ニ於テハ讓渡人カ其ノ山林ノ伐採セラルルコトヲ豫期シタリト認メ得ヘキ資料ノ存スル場合ニ限リ稅法ニ所謂山林伐採ノ所得アルモノト解スヘキモノトス

伐採ヲ豫期シテ部分林ノ敷地及其ノ立木ノ共有持分ヲ讓渡シタルトキハ之ニ因ル所得ハ山林伐採ノ所得ナリ



○法定ノ期間經過後爲シタル審査請求ヲ却下シタルハ適法ナリ

大一年一七號 大一年一〇月一四日宣告 (大一年一〇一五頁)

○稅務監督局長ノ審査決定ハ稅務署長ノ決定トハ獨立ノ處分ニシテ署長ノ決定ハ審査決定ノ效力發生ト同時ニ當然其ノ效力ヲ失フモノトス

大八年五二五號 大一年一〇月一〇日宣告 (大一年九五八頁)

大九年四七號 大一年一〇月一〇日宣告 (大一年九七三頁)

大九年六九號 大一年一〇月一〇日宣告 (大一年九八八頁)

○舊所得稅法第三十九條ニ所謂所得金額ノ決定トハ同法第三十七條ノ決定ノミヲ指稱ス

舊所得稅法第三十九條ニ依リ行政訴訟ヲ提起スルニハ稅務監督局長ヲ被告ト爲ササルヘカラス

大八年五二五號 大一年一〇月一〇日宣告 (大一年九五八頁)

大九年四七號 大一年一〇月一〇日宣告 (大一年九七三頁)

大九年六九號 大一年一〇月一〇日宣告 (大一年九八八頁)

21 臨時利得稅法 (昭和十年法律第二十號)

○納稅者カ時價ヲ超ユルコト明カナル製造原價ニ依リ生絲繰越品ニ附シタル價額ニ依ラスシテ右ノ時價ニ基キ稅務官廳カ所得、營業純益、法人利得ヲ決定シタルハ違法ニアラス

一二年一六號 一二年六月二四日宣告 (一二年二三四頁)

○會社重役賞與ノ支給ハ特別ノ事情ナキ限り之ヲ支給シタル會社ノ益金處分ニ依ルモノト認ムルヲ相當トス

一三年二八號 一三年一〇月一八日宣告 (一三年七五九頁)

同

同

○株式會社カ解散前ニ株主總會ノ承認ヲ經スシテ其ノ營業ヲ讓渡シタルトキト雖モ之ニ依リ經濟的ニ其ノ財産ヲ増加シタルモノト認ムヘキ場合ニ於テハ其ノ増加財産ハ右營業讓渡アリタル事業年度ニ於ケル會社ノ益金ト認定スルヲ相當トス

一二年三四二號 一四年四月二七日宣告 (一四年三二四頁)

○事業年度終了日現在ノ株主中元優先株タリシ株式ノ株主ノ全員ニ其ノ優先權ノ撤廢ニ對シ平等ノ割合ヲ以テ別途積立金ヲ交付シタルトキハ其ノ交付金ハ法人ノ第一種所得、營業純益、利得ノ計算上之ヲ損金ニ計算スヘキモノニアラス

一四年一五號 一四年八月二八日宣告 (一四年六二〇頁)

○稅務署長ノ爲シタル減損更訂請求却下處分ニ不服ナリトスル者ハ地方上級行政廳タル稅務監督局長ニ訴願シ其ノ裁決ヲ經タル後ニ非サレハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス

一四年一〇八號 一四年一〇月五日裁決 (一四年六四四頁)

22 戰時利得稅法 (大正七年法律第九號)

○鑛業ニ關スル權利ノ賣買契約中石炭鑛區ノ賣買價額ハ石炭ノ品質及分量ニ依リテ之ヲ定ムルコト及此ノ品質分量ヲ知ルカ爲テ試錐ヲ爲スヘキコトノ約旨アルモ該契約ハ停止條件附契約ニ非ス賣主ハ契約成立ト同時ニ鑛業權移轉ノ債務ヲ負擔シ之ニ對スル代金ノ債權ヲ取得シタルモノニシテ即チ戰時利得稅法第三條第一項第三號ニ所謂鑛業ニ關スル權利ノ賣却ヲ爲シタルモノト解スヘキモノトス

大九年一〇一號 大一年六月一日中間判決 (大一年六〇八頁)

○大正三年八月一日以後合併ニ依リ新設シタル會社ノ戰時利得稅法ニ依ル平時事業年度平均所得金額ヲ算出



第七條 第一項

スルニハ同法第五條第二項第二號ニ依ルヘキモノニシテ同項第一號ヲ適用スヘキモノニアラス  
大一〇年六一號 大一一一年一〇月二二日宣告 (大一一一年一〇三三頁)

○戰時利得稅法第七條ノ鑛業權ノ賣却金額トハ鑛業權ヲ賣却シタル代金ノ義ニハアラスシテ鑛業權ノ移轉ニ對スル反對給付ノ價格ノ義ナリト解スヘキモノトス

大九年七一號 大一一一年五月二七日宣告 (大一一一年五七八頁)

第八條 第二項

○戰時利得稅法第八條第二項及同法施行規則第七條ニ依レハ利得金額ヨリ控除スヘキ贈與ノ價額ハ當年中ニ爲シタル贈與契約ニ因リ負擔シタル債務ノ價額ノ義ト解スヘキモノトス

大八年八八號 大一一二年三月二七日宣告 (大一一二年一九三頁)

附 第一項

○戰時利得稅法附則ノ個人ニ付テハ大正七年分ヨリ適用スルトハ大正七年ヨリ戰時利得稅ヲ課スルノ義ナリ

大八年五二號 大一一二年二月一三日宣告 (大一一二年一〇五二頁)

第五條

23 ●戰時利得稅法施行規則 (大正七年勅令第六十四號)

○戰時利得稅法施行規則第五條ニ所謂「其ノ年分山林伐採所得ノ算出上總收入金額ヨリ控除シタル必要ノ經費ニ相當スル金額」トハ大正七年分以後ノ山林伐採所得ノ算出上總收入金額ヨリ控除シタル必要ノ經費ト同額ノ義ト解スヘキモノトス

大正八年八三號 大一一二年三月二〇日宣告 (大一一二年一四八頁)

大八年八四號 大一一二年三月二七日宣告 (大一一二年一八五頁)

大八年八八號 大一一二年三月二七日宣告 (大一一二年一九三頁)

第七條

○戰時利得稅法第八條第二項及同法施行規則第七條ニ依レハ利得金額ヨリ控除スヘキ贈與ノ價額ハ當年中ニ爲シタル贈與契約ニ因リ負擔シタル債務ノ價額ノ義ト解スヘキモノトス

大八年八八號 大一一二年三月二七日宣告 (大一一二年一九三頁)

24 ●資本金子稅法 (大正十五年法律第五十二號ニ依リ廢止)

○非營業貸金ノ利子ニシテ前年中ニ辨濟期到來シ且辨濟ヲ得ルコト能ハサルコトノ確證ナキモノハ之ヲ所得稅法第十四條第一項第一號並資本金子稅法第四條第一項ニ所謂「前年中ノ收入金額」ト認ムルヲ相當トス

八年四二號 九年五月一〇日宣告 (九年二六三頁)

第四條 第一項

25 ●營業稅法 (明治二十九年法律第三十二號 大正十五年法律第十號ニ依リ廢止)

○營業稅法ノ周旋業ハ營業トシテ當事者ノ委託ヲ受ケ賣買交換雇傭等ノ成立ヲ直接ニ助成スル行爲ヲ爲スモノヲ指稱スルモノトス  
家畜市場法ニ所謂定期市場ニシテ代金ノ授受ニ何等關係セス且同法施行規則第八條規定ノ擔保責任ヲ負ハサルモノハ營業稅法ニ所謂周旋業ヲ營ムモノト云フヲ得ス

大一一四年三一號 大一一四年六月六日宣告 (大一一四年四五二頁)

○全然自己ノ獨立シタル責任ニテ委託物品ヲ販賣スル組合ノ販賣擔當人ハ自ラ營業稅法ノ所謂問屋業ヲ營ムモノト認ムルヲ相當トス

大一一二年一〇號 大一一二年二月二六日宣告 (大一一二年一一一九頁)

同 第二十五號

第二十二號



第三條

大正二年一月一號 大正二年二月二十六日宣告 (大正二年一三〇頁)  
 大正二年二月二號 大正二年二月二十六日宣告 (大正二年一四二頁)  
 大正二年三月三號 大正二年二月二十六日宣告 (大正二年一五三頁)  
 大正二年四月四號 大正二年二月二十六日宣告 (大正二年一六四頁)

○買主カ賣主ニ支拂フヘキ代金ヲ公正證書ニ依リ消費貸借ノ目的ト爲シタルトキハ當該金額ヲ營業税法第三條及同法施行規則第十二條ノ運轉資本金額ニ計上シタルハ違法ニアラス

大正二年一月一〇二號 大正二年五月三〇日宣告 (大正二年六〇一頁)

○物品販賣業ヲ營ム會社カ自己ノ爲ニ商品ノ仕入ヲ爲スコトヲ條件トセシテ社員以外ノ不特定ノ商人ニ對シ一定ノ利率ヲ附シ反覆シテ金錢貸付行爲ヲ爲ストキハ營業税法ニ所謂金錢貸付業ヲモ營ム者ナリト云フヲ妨ケス

大正二年三月六號 大正二年六月一五日宣告 (大正二年五九二頁)

同

同

○富山縣令ニ依リ免許ヲ受ケサル金錢貸付業務ニ對シ金錢貸付業トシテ營業稅ヲ課稅スルモ違法ニアラス

大正九年設立セラレタル信託事業及之ニ附隨スル業務ノ經營ヲ目的トスル會社カ金錢貸付業ヲ營ムノ事實アルトキハ金錢貸付業者トシテ營業稅ヲ課稅スルモ不法ニアラス

大正二年一月一八四號 大正三年二月一六日宣告 (大正三年五七頁)

○小作人其ノ他ノ關係アル少數ノ者ニ對シ僅ニ五口ノ貸金ヲ有スルニ止マルノミナラス其ノ年度中新ニ貸付ケタルモノハ二口ニ過キス且其ノ利息モ比較的低廉ナルモノハ繼續的ニ金錢貸付業ヲ營ムモノト認メ難ク營業税法第三條ニ所謂營業稅ヲ課スヘキ金錢貸付業ト云フコトヲ得サルモノトス

第四條

大正四年二月四號 大正五年七月八日宣告 (大正五年六九〇頁)  
 大正四年一月七二號 大正五年七月八日宣告 (大正五年六九五頁)

○物品ヲ製造シテ之ヲ販賣スルモノハ營業税法第二條第二項及第四項ニ依リ物品販賣業ト見做サルモノヲ除ク外第四條所定ノ課稅條件ヲ具備スルト否トヲ問ハス製造業ト解スヘキモノトス

大正四年一月九七號 大正五年一月二〇日宣告 (大正五年一二三頁)

第十一條 第一項

○曆年ノ中途ニ於テ廢業シタル者ニ對シ營業税法第十二條ニ依リ其ノ年分ノ營業稅課稅標準ヲ決定スルハ相當ナリ

大正一年二月五七號 大正二年六月六日宣告 (大正二年五〇八頁)

同

○單ニ金錢貸付業者ノ金錢貸付ノ時ヨリ五年ヲ經過シタルノ故ヲ以テ其ノ債權カ當然時効ニ因リ消滅シタルモノト爲スヘキニ非ス

單ニ借主ノ所在不明ノ故ヲ以テ貸金ノ存續ヲ否定スヘキニ非ス

金錢貸借契約カ其ノ要素ニ錯誤アル無効ノモノナル場合其ノ貸金額ヲ金錢貸付業者ノ貸付金額ニ加算スルハ失當ナリ

大正二年二月四號 七年七月一日宣告 (七年五九七頁)

第十三條 第一項

○大正十二年二月十二日信託業法ニ依リテ免許ヲ出願シタルノミニテハ其ノ者ノ大正十二年分營業稅課稅ノ營業名及課稅標準ヲ決定スルニ付信託業法ニ準據スヘキニアラス

大正二年一月八四號 大正三年二月一六日宣告 (大正三年五七頁)

第二十一條 第一項

○營業税法第二十一條第一項ノ規定ハ前年中ニ開始シタル營業ニ付テハ其ノ翌年一月一日ヨリ營業稅ヲ徵收



スルノ法意ナリト解スルヲ相當トス

大一年三二五號 二年二月四日宣告 (二年三三八頁)

○營業税法第二十一條第一項ニ所謂新ニ營業ヲ開始スル者トハ營業税法施行規則第二條第二項各號ノ一ニ該當スル者ヲ云フ

大一年二五九號 六年三月三〇日宣告 (六年三五九頁)

○營業税法第二十一條所定ノ營業稅未徵收期間ノ利益ハ各營業毎ニ存スルモノナレハ同條所定ノ期間内ノ營業ヲ讓受ケタル後更ニ同條ニ該當セサル營業ヲ讓受ケタル場合ニ於テハ後者ニ對シ前記期間ノ利益ヲ及ホスモノニ非ス

大一年一六號 大一年一月二九日宣告 (大一年一四三頁)

○營業税法第二十二條ハ新ニ營業ヲ開始シタル場合ニ適用スヘキ規定ニシテ營業ノ一部ヲ讓受ケ之ヲ繼續シテ經營スル場合ニ適用スヘキモノニ非ス

大一年二二號 大一年七月二五日宣告 (大一年八七九頁)

○製造業ノ營業開始タル爲ニハ必スシモ自己ノ工場カ完備シ各種ノ製造工程カ總テ施行セラルルニ至リ賣品ヲ製造スルコトヲ必要トセス其ノ事業ノ目的タル物品ノ註文ヲ取ル目的ヲ以テ見本トシテ製造スルトキハ營業ノ開始ナリトス

營業税法第二十二條ニ所謂同一ノ場所タル爲ニハ製造業ニ在リテハ必スシモ前營業者ノ工場ニ於テ作業スルコトヲ必要トセス同一ノ場所ニ營業事務所ヲ設ケ事務ヲ取扱フニ於テハ其ノ工場カ同一ナルト否トニ拘ラス之ヲ同一ノ場所ニ於ケル營業ナリト解スルヲ相當トス

第二十三條

營業税法第二十二條ニ所謂同一ノ營業トハ製造業ニ在リテハ製造工程、製品ノ外形及用途カ全然同一ナルコトヲ必要トスルモノニ非ス大體ニ於テ同一種類ノ業體ニシテ其ノ營業ヲ前營業者ト同一ノ場所ニ於テ開始スルトキハ開業者ハ前營業者ノ有セシ營業上ノ地位利便ヲ承繼享受シ得ヘキ關係ニ在リト認メラルルモノハ總テ之ヲ同一ノ營業ト認ムルノ法意ナリト解スルヲ相當トス

大一年一三號 大一年一〇月二四日宣告 (大一年八一三頁)

○株式會社設立前發起人カ他人ノ清酒及醬油醸造ノ營業ヲ讓受ケ會社設立後同會社カ之ヲ承繼シタルトキハ該會社ハ營業税法第二十三條ニ所謂營業ヲ繼續シタルモノニ該當シ該營業ハ同法第二十一條ニ該當セス營業ヲ讓受ケ之ヲ繼續シタル後舊營業所ニ於テ六ヶ月以上營業ヲ營マス其ノ後本店所在地ニ於テ之ヲ營業モ營業繼續タルヲ失フモノニアラス

大一年一六號 大一年一月二九日宣告 (大一年一四三頁)

○營業税法第二十三條ノ營業繼續ノ場合ニハ前營業者ノ課稅標準ヲ通算スヘキモノトス

大九年三八號 大一年六月二一日宣告 (大一年六二〇頁)

○營業ノ一部ヲ讓受ケ之ヲ繼續シテ經營スル場合ニ於テ讓受人ノ營業ハ營業税法ノ適用上ニ於テモ新ニ開業シタルモノニアラスシテ營業ヲ繼續シタルモノトス

大一年二二號 大一年七月二五日宣告 (大一年八七九頁)

○甲銀行カ乙銀行ノ營業全部ヲ其ノ年度ノ中途ニ於テ繼續シタルトキハ甲銀行ト乙銀行ノ各營業ニ付其ノ年分營業稅課稅標準ヲ決定スヘキモノトス

大一年二五號 大一年五月二一日宣告 (大一年四二五頁)



第二十四條

○大正十年前期分國稅營業稅及其ノ附加稅村稅營業稅割ヲ賦課セラレタル者カ同年一月中廢業シタル者ナリトスルモ右賦課ハ同年一月分ニ關スル部分ニ付テハ適法ナリト爲スノ外ナシ  
大一年四號 大一年七月四日宣告 (大一年七八二頁)

第二十九條 第一項

○營業税法第二十九條ノ規定ハ同法ニ依リ營業稅ヲ賦課セラレタル者ニシテ其ノ營業上缺損ヲ生シタル場合ニ於テ其ノ營業稅ヲ免除スヘキコトヲ定メタルモノニシテ該營業ニ對シ地方稅ヲ賦課スヘカラサルコトヲ定メタルモノニ非ス  
大一年三九一號 二年三月三日宣告 (二年三二〇頁)  
大一年三九二號 二年三月三日宣告 (二年三二六頁)  
大一年四六二號 二年三月三日宣告 (二年三三六頁)

同

○營業税法第二十九條ノ規定ニ依リ營業稅全額ノ免除ヲ受ケタル者ハ現實ニ營業稅ヲ納ムルノ義務ヲ有セサル者ナリ  
大一年二一三號 二年三月一〇日宣告 (二年三五〇頁)

第三十一條

○營業稅ニ付政府ノ通知シタル課稅標準額ニ異議アル場合ニ於テ其ノ旨ヲ政府ニ申出テ審査ヲ求ムルコトヲ爲サス直ニ提起シタル行政訴訟ハ適法ノ手續ニ違背スルモノトス  
大一年一五五號 大一年六月九日裁決 (大一年六九〇頁)  
大一年四七五號 大一年六月九日裁決 (大一年四六五頁)  
二年一九一號 二年一〇月一四日裁決 (二年一〇九七頁)

同

○稅務署長ノ爲シタル營業稅課稅標準額更訂請求却下處分ニ對シ不服アル者ハ地方上級行政廳タル稅務監督局

同

長ニ訴願シ裁決ヲ經タル後ニ非サレハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス  
大一年四八號 大一年五月一四日裁決 (大一年三八四頁)

○稅務署長カ營業税法第二十九條ニ依リ爲シタル處分ニ對シテハ稅務監督局長ニ訴願シ其ノ裁決ヲ經タル後ニ非サレハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス  
二年二〇二號 三年七月二〇日裁決 (三年一〇七一頁)

○法律勅令中廢業ノ宣告ヲ求ムル事件ニ付行政訴訟ヲ許シタル規定ナシ  
大一年一六六號 大一年七月七日裁決 (大一年七九五頁)

26 ●營業税法施行規則 (大正三年勅令第二百二十九號 同十五年勅令第三十號ニ依リ廢止)

○事業年度ノ中途ニ於テ營業ヲ甲銀行ニ讓渡シタル乙銀行カ本支店間資本ヲ區分セサリシモノナルトキハ同銀行ノ營業ニ對スル營業稅課稅標準額ノ決定ヲ其ノ本店所在地ヲ管轄スル稅務署ニ於テ爲スハ適法ニ非ス  
大一年二五號 大一年五月二一日宣告 (大一年四二五頁)

○營業ノ一部繼續ノ場合ニ於ケル營業稅課稅標準額ノ算定ニ付テハ營業税法施行規則第八條ヲ類推シテ繼續部分ノ見積資本金額ヲ算定シ之ト繼續會社ノ資本金額トノ月割平均額ヲ算定スヘキモノトス  
營業繼續ノ場合ニ於ケル營業稅課稅標準額ノ算定ハ各其ノ繼續ノ事實及時期ニ依ルヘク合併又ハ讓受ヲ爲サントスル者ノ目的如何ニ依ルヘキモノニアラス  
大一年二二號 大一年七月二五日宣告 (大一年八七九頁)

○買主カ賣主ニ支拂フヘキ代金ヲ公正證書ニ依リ消費貸借ノ目的ト爲シタルトキハ當該金額ヲ營業税法第三條及同法施行規則第十二條ノ運轉資本金額ニ計上シタルハ適法ニアラス

第十二條



第五十六條 第一項

大一年一〇二號 大一年五月三〇日宣告 (大一年六〇一頁)  
○營業税法第二十九條ノ立法ノ趣旨ヨリスレハ資本減少額ハ繰越欠損ニ補填スル限度ニ於テハ同法施行規則第五十六條第一項ノ總益金ヲ構成セサルモノト解スルヲ相當トス  
大一年七〇號 大一年一〇月三〇日宣告 (大一年九七九頁)

同

○資本減少ニ因ル差益ハ會社ノ資産ヲ増加スルモノニ非ス又營業行爲其ノモノニ因ル利益ニ非サレトモ一ノ益金トシテ處理スルコトヲ得ルモノナルカ故ニ之ニ依リ其ノ年ニ於ケル損失ヲ補填シタル場合ニハ營業税法第二十九條ノ利益計算上差益ハ營業税法施行規則第五十六條第一項ノ總益金ニ算入シ補填セラレタル損失ハ之ヲ總損金ニ算入スルヲ妨ケサルモノトス  
二年五三號 二年五月二七日宣告 (二年六六五頁)

第四條

27 ●營業收益税法

(大正十五年法律第十一號 昭和十五年法律第五十一號ニ依リ廢止)

○營業收益税法第四條第一項ニハ汎ク「法人ノ純益ハ各事業年度ノ總益金ヨリ總損金ヲ控除シタル金額ニ依ル」ト規定シ同條第二項ニハ「法人カ事業年度中ニ解散シ又ハ合併ニ因リテ消滅シタル場合ニ於テハ其ノ事業年度ノ始ヨリ解散又ハ合併ニ至ル迄ノ期間ヲ以テ一事業年度ト看做ス」ト規定シタルニ徴スレハ營業法人ニ對シテハ個人ニ對スル場合ト異ナリ營業ノ開始ヲ待タズシテ第一事業年度ノ當初ヨリ其ノ法人カ解散シ又ハ合併ニ因リ消滅スル迄營業收益税ヲ課スルノ法意ナリト解スルヲ相當トス  
一三年三四號 一四年三月一八日宣告 (一四年二二二頁)  
一三年三五號 一四年三月一八日宣告 (一四年二一九頁)

第四項

○合資會社ノ業務ヲ執行スルコトニ依リ勞務出資ノ義務ヲ履行スヘキ社員ニ對シテ會社カ其ノ業務執行ニ對

第一條

スル報酬トシテ支給シタル給料ニ相當スル金額ハ會社ノ所得金額並營業純益金額ノ算定上損金トシテ總益金ヨリ控除スヘキモノニ非ス  
三年二七四號 四年五月一六日宣告 (四年四八一頁)

○會社ノ重役ニ對スル賞與金ハ明確ナル反證ナキ限り利益金ノ處分トシテ給與シタルモノト認ムルヲ相當トス

- 六年四一號 七年二月二日宣告 (七年二三頁)
- 七年三二號 七年四月一四日宣告 (七年三一九頁)
- 六年四三號 七年四月二六日宣告 (七年三四〇頁)
- 六年五七號 一〇年六月二九日宣告 (一〇年四七七頁)
- 一三年二八號 一三年一〇月一八日宣告 (一三年七五九頁)

○株式會社ノ重役タルト同時ニ其ノ一部ノ業務ヲ擔當スル者カ支給ヲ受ケタル賞與金ハ明確ナル反證ナキ限り重役ニ對スル賞與金ト認ムヘキモノナリ

七年三二號 七年四月一四日宣告 (七年三一九頁)  
○繰越欠損充當ノ爲ノ無償減資ノ決議ニ依リ拂込済株式金額減少シタル場合ニ於テハ其ノ充當ノ時期ニ付明確ノ證據ナキトキハ拂込済株式金額減少ノ時ニ於テ充當セラレタルモノト認ムルヲ相當トス  
七年三八號 七年四月二六日宣告 (七年三五二頁)

○法人カ合併ニ因リテ消滅シタル場合ニ於テハ被合併法人ノ最後ノ事業年度ニ於ケル所得又ハ營業純益ハ合併法人ノ當該事業年度ニ於ケル所得及營業純益ト別箇獨立ニ算定スヘク之ニ對スル徵收税金及控除ヲ爲スヘキ第二種所得稅、資本金子稅額及地租額ノ計算モ亦各別ニ爲スヘキモノトス



○法人ノ財産價格ノ評價増價額ハ總益金ヲ構成ス  
七年七〇號 七年一月二四日宣告 (七年一〇〇五頁)  
六年六一號 八年三月一日宣告 (八年一四四頁)

○法人ノ所得金額及營業純益金額ノ算定ニ付テハ其ノ各事業年度限りノ損益ヲ計算スルニ止ムヘキコト所得  
税法第四條第一項及營業收益税法第四條第一項ノ法意ナリ  
法人ノ營業純益金額ハ當該事業年度ノ總益金ヨリ總損金ヲ控除シテ之ヲ算定スルヲ本則トシ法人カ課税ス  
ベキ營業ト課税セザル營業トヲ爲ストキハ課税セザル營業ニ關スル損益ノ計算ヲ除外スベキコト税法當然  
ノ法意ナリ  
七年三〇七號 八年四月二五日宣告 (八年三二四頁)

○減資差益ハ當該年度ノ總益金ヲ構成スルモ繰越缺損ノ補填ニ充當シタル限度ニ於テハ其ノ全額ヲ控除スヘ  
キモノトス  
貸借對照表ニ繰越缺損金ト積立金ト併セテ掲記セラルルトキハ繰越缺損金ノ積立金ニ超過スル金額ヲ前項  
ノ繰越缺損トス  
八年六六號 八年七月八日宣告 (八年五四〇頁)  
八年六三號 八年一〇月一二日宣告 (八年七三八頁)

○會社繰越缺損額カ積立金額ニ超過スル金額即チ實在ノ繰越缺損額ノ計算上積立金ニ付テハ特ニ其ノ用途ヲ  
限定セラレタルモノト然ラサルモノトヲ區別スルコトナシ  
八年六三號 八年一〇月一二日宣告 (八年七三八頁)

○係爭事業年度ニ於テ營業權及特許權ニ付特ニ多額ノ評價減又ハ原價消却ヲ認ムヘキ特殊ノ理由ナキ以上一

般會社ニ對スル課税上ノ取扱ニ從ヒ右營業權及特許權ノ持續期間ヲ十箇年トシ之ヲ各事業年度ニ均分ニ割  
當テ以テ係爭事業年度ノ消却額ヲ算定シタルハ不當ニ非ス

○減資カ利益分配ノ方法トシテ行ハレタリト認ムヘキ場合ニ於テ減資ニヨル超過拂戻額ハ當該事業年度ノ所  
得並ニ純益ノ算定ニ當リ之ヲ總損金ニ計算スヘキモノニアラス  
六年二九五號 八年一月三〇日宣告 (八年九七〇頁)  
八年六二號 八年一月一四日宣告 (八年一〇四頁)  
三年三四六號 九年七月二四日宣告 (九年七〇九頁)

○退職手當基金收支殘ハ將來ニ於ケル退職手當ノ支拂ニ充ツヘキ積立金ノ増加ニシテ當期ノ損金ニ非ス  
五年三二三號 九年七月二四日宣告 (九年七二七頁)

○會社カ事業讓渡差益ヲ減資ニ依ル株式買入消却代金ノ形式ヲ以テ株主ニ分配シタリト認ムヘキ場合ニハ其  
ノ超過拂戻金ハ營業收益税法ニヨル法人ノ純益計算上損金ニ計算スヘキモノニアラス  
九年一一號 一〇年五月三〇日宣告 (一〇年四〇八頁)

○解散シタル會社ノ株式ニシテ公定相場ナキモノハ其ノ會社ノ正味資産ニ相當スル價格ヲ超ユルコトナキモ  
ノトス  
六年五七號 一〇年六月二九日宣告 (一〇年四七七頁)

○納税者カ時價ヲ超ユルコト明カナル製造原價ニ依リ生糸繰越品ニ附シタル價額ニ依ラスシテ右ノ時價ニ基  
キ稅務官廳カ所得、營業純益、法人利得ヲ決定シタルハ違法ニアラス  
一二年一六號 一二年六月二四日宣告 (一二年二三四頁)



○商法第九十六條ノ所謂建設利息ハ之ヲ無視シテ計算シタル株式會社ノ普通所得ヲ以テ支辨シ得ル限度ニ於テハ普通ノ利益配當ト異ナルトコロナク損金ト爲スヘキモノニ非ス

一三年三四號 一四年三月一八日宣告 (一四年二二二頁)

一三年三五號 一四年三月一八日宣告 (一四年二一九頁)

○株式會社カ當該事業年度ノ建設利息ヲ繰延資産トシテ整理スル場合ニハ建設利息總額ヨリ當該事業年度ノ普通所得ヲ控除シタル額ノミニ付之ヲ爲スヘキモノナリ

一三年三四號 一四年三月一八日宣告 (一四年二二二頁)

一三年三五號 一四年三月一八日宣告 (一四年二一九頁)

○株式會社カ當該事業年度ノ普通所得ヲ構成スヘキ金額ヲ以テ先ツ既往事業年度ニ於テ爲シタル繰延資産ノ消却ニ充テ之ニ因リ普通所得ヲ皆無ナラシメタル上當該事業年度ノ建設利息全額ヲ繰延資産トシテ整理スルハ整理ノ順序ヲ誤リタル不當ノ計算ナリ

一三年三四號 一四年三月一八日宣告 (一四年二二二頁)

一三年三五號 一四年三月一八日宣告 (一四年二一九頁)

○株式會社カ解散前ニ株主總會ノ承認ヲ經スシテ其ノ營業ヲ讓渡シタルトキト雖モ之ニ依リ經濟的ニ其ノ財産ヲ増加シタルモノト認ムヘキ場合ニ於テハ其ノ増加財産ハ右營業讓渡アリタル事業年度ニ於ケル會社ノ益金ト認定スルヲ相當トス

一二年三四二號 一四年四月二七日宣告 (一四年三二四頁)

○事業年度終了日現在ノ株主中元優先株タリシ株式ノ株主ノ全員ニ其ノ優先權ノ撤廢ニ對シ平等ノ割合ヲ以テ別途積立金ヲ交付シタルトキハ其ノ交付金ハ法人ノ第一種所得、營業純益、利得ノ計算上之ヲ損金ニ計

算スヘキモノニアラス

一四年一五號 一四年八月二八日宣告 (一四年六二〇頁)

○有價證券ノ時價カ帳簿價格ニ比シ減少シタルモノト増加シタルモノトアル場合ニ於テ會社カ減價額ノミヲ決算シタルトキハ増加額ノ限度ニ於テ其ノ減價額ヲ所得計算上否認スルハ相當ナリ

五年三〇號 一五年二月二一日宣告 (一五年七五八頁)

○所得稅法第四條第三項及營業收益稅法第四條第二項ノ規定ハ法人カ事業年度ノ中途ニ於テ解散又ハ合併ニ因リテ消滅シタル場合ニ於テハ其ノ事業年度ノ始ヨリ解散又ハ合併ニ至ル迄ノ期間ヲ以テ特ニ一事業年度ト見做シテ其ノ所得及營業純益ヲ計算シ之ニ課稅ヲ爲スヲ趣旨トス

七年七〇號 七年一月二四日宣告 (七年一〇〇五頁)

○製材業ノ純益計算ニツキテハ動力設備ヲ火力ヨリ電力ニ變更シタルカ爲不用トナリタル設備原價ハ必要經費ト爲スヘキニアラス

製材業ノ純益計算ニツキテハ當該年中ニ於ケル製材使用自體ノタメニ生シタル設備ノ破損磨滅ニ依リ減少シタル價額ニ限リ必要經費トシテ控除スヘキモノトス

六年五五號 六年一〇月二九日宣告 (六年九七一頁)

六年五六號 六年一〇月二九日宣告 (六年九七三頁)

○營業タル貸金ノ利子收入ニ因リ三種所得金額及個人ノ金錢貸付業ニ於ケル純益金額ノ算定上貸金元本ノ取立不能ニ因ル缺損ハ總收入金額ヨリ控除スヘキモノニ非ス

九年二三號 九年六月一四日宣告 (九年三七〇頁)



○争訟ノ繫屬中係争年ニ於ケル營業実績カ分明ト爲ルモ之ニ依リ其ノ年ノ營業純益金額ヲ判定スヘキモノニ非ス

營業純益金額ヲ決定スル爲メ見込賣上高ニ基準收益率ヲ乘シテ得タル金額ヲ純益高ト爲シタルヲ以テ直ニ不當ナリト謂フコトヲ得ス

六年二〇號 一〇年五月四日宣告 (一〇年二七九頁)

○個人營業ノ純益並所得計算上營業者ノ資本及勞務ニ對シテハ借入資本及雇人ノ勞務ニ對スルト異ナリ一定ノ利息並一定ノ報酬ヲ想定シ之ヲ營業收益税法第六條及所得税法第十四條第一項第六號ニ所謂必要ノ經費ト爲スヘキモノニ非ス

一三年四四號 一三年五月一二日宣告 (一三年二六六頁)

○營業收益税法第七條第六號ニ所謂演劇興行ハ演劇興行其ノモノノミヲ指稱スルモノニシテ劇場内ニ於ケル賣店並劇場ノ周圍ニ於ケル家屋ノ賃貸ノ如キハ觀客ノ便益ヲ顧慮シテ之ヲ爲ス場合ニ於テモ演劇興行ニ包含セシメサルノ法意ナリト解スルヲ相當トス

六年七四號 七年二月三日宣告 (七年一〇二七頁)

○營業收益税法第七條第七號但書ニ依リ物品販賣業トシテ營業稅ヲ課稅スルニハ其ノ販賣ノ爲メニ特ニ營業場ヲ設ケテ之ヲ爲スモノナルヲ要ス

七年五一號 七年七月五日宣告 (七年六三一頁)

○所得税法第二十四條第一項、同法施行規則第十六條第六條ノ二並營業收益税法第十一條、同法施行規則第十三條、第四條ニ依リ法定ノ期間内ニ稅額控除ノ申請ヲ爲ササルトキハ所得税法第二十一條第二項ニ規定

同

同

第七條第六號

第七條第六號

同

第七條第七號但書

第十二條第二項

スル第一種所得稅額ヨリ第二種所得稅額ノ控除並營業收益税法第十條第二項ニ規定スル營業收益稅額ヨリ地租額又ハ資本金子稅額ノ控除ヲ受クルコトヲ得サルモノトス

六年三三三號 七年六月二日宣告 (七年四九五頁)

○所得金額及營業純益金額ニ關シ前年分決定額ノ減損更訂ノ請求ニ對スル處理未了ノ間ニ次年分ノ決定ヲ爲スハ違法ニ非ス

五年八三號 八年七月二〇日宣告 (八年六三二頁)

○會社カ甲事業年度ニ屬セシムヘキ計算ナルニ拘ラス之ヲ甲事業年度ノ決算ニ表現セスシテ次ノ乙事業年度ノ決算ニ表現シタル場合ニ於テ稅務官廳カ其ノ乙事業年度ノ決算ニ依リ純益金額ヲ決定スルモ違法ニアラス

九年一一號 一〇年五月三〇日宣告 (一〇年四〇八頁)

○所得稅法並營業收益税法ノ審査請求ニ對シ稅務署長ノ決定金額ヨリモ多額ニ決定スルモ違法ニアラス

五年三〇號 一五年一月二二日宣告 (一五年七五八頁)

○他人ニ對シテ爲シタル第一種所得並營業純益ノ課稅標準ノ決定ニ對シ行政訴訟ヲ許シタル規定ナシ

三年一三六號 四年二月二〇日裁決 (四一五一頁)

○所得金額ノ決定及營業純益金額ノ決定ニ對スル行政訴訟ヲ提起スルニハ審査ノ請求ヲ爲シ其ノ決定ヲ受ケ

九年一一號 一〇年五月三〇日宣告 (一〇年四〇八頁)

○所得稅法並營業收益税法ノ審査請求ニ對シ稅務署長ノ決定金額ヨリモ多額ニ決定スルモ違法ニアラス

五年三〇號 一五年一月二二日宣告 (一五年七五八頁)

○他人ニ對シテ爲シタル第一種所得並營業純益ノ課稅標準ノ決定ニ對シ行政訴訟ヲ許シタル規定ナシ

三年一三六號 四年二月二〇日裁決 (四一五一頁)

○所得金額ノ決定及營業純益金額ノ決定ニ對スル行政訴訟ヲ提起スルニハ審査ノ請求ヲ爲シ其ノ決定ヲ受ケ

九年一一號 一〇年五月三〇日宣告 (一〇年四〇八頁)

○所得稅法並營業收益税法ノ審査請求ニ對シ稅務署長ノ決定金額ヨリモ多額ニ決定スルモ違法ニアラス

五年三〇號 一五年一月二二日宣告 (一五年七五八頁)

○他人ニ對シテ爲シタル第一種所得並營業純益ノ課稅標準ノ決定ニ對シ行政訴訟ヲ許シタル規定ナシ

三年一三六號 四年二月二〇日裁決 (四一五一頁)

○所得金額ノ決定及營業純益金額ノ決定ニ對スル行政訴訟ヲ提起スルニハ審査ノ請求ヲ爲シ其ノ決定ヲ受ケ

九年一一號 一〇年五月三〇日宣告 (一〇年四〇八頁)

○所得稅法並營業收益税法ノ審査請求ニ對シ稅務署長ノ決定金額ヨリモ多額ニ決定スルモ違法ニアラス

五年三〇號 一五年一月二二日宣告 (一五年七五八頁)

同

第十八條第一項

第二十一條

同

第十三條第一項



タルコトヲ要スルモノナルヲ以テ此ノ手續ヲ履ムコトナク提起サレタル行政訴訟ハ適法ノ手續ニ違背スルモノニシテ行政裁判法第二十七條第一項後段ニ依リ却下スヘキモノトス  
六年一六九號 六年六月三〇日裁決 (六年五九四頁)

○稅務署長ノ爲シタル營業收益稅法及所得稅法ニ依ル減損更訂處分ニ不服アル者ハ其ノ地方上級行政廳タル稅務監督局長ニ訴願シ其ノ裁決ヲ經タル後ニ非サレハ出訴スルコトヲ得サルモノトス  
六年三一四號 七年三月二六日宣告 (七年一八八頁)

○稅務署長カ所得金額並純益金額ノ減損更訂ノ請求ヲ却下シタル處分ニ對シテハ稅務監督局長ニ訴願シ其ノ裁決ヲ經タル後ニアラサレハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得サルモノトス  
九年二二六號 九年一月六日裁決 (九年九二〇頁)

○稅務署長ノ爲シタル營業純益金額ノ決定ニ對シテハ稅務監督局長ニ審査ノ請求ヲ爲シ其ノ決定ヲ經タル後ニ非サレハ行政訴訟ヲ提起スルヲ得ス  
一〇年二五八號 一〇年二月九日裁決 (一〇年一〇九九頁)

○所得稅及營業收益稅ニ關スル既納稅金ノ還付請求ニ付テハ大正九年法律第十一號所得稅法、營業收益稅法其ノ他法律勅令中ニ行政訴訟ヲ許シタル規定ナシ  
一二年三二五號 一六年三月六日裁決 (一六年五六頁)

○同族會社ノ社員ニ對シ無利子ニテ會社ノ資金ヲ使用セシメタル場合ニ其ノ利子ニ相當スル金額ノ收入アリタルモノトシテ會社ノ所得金額ヲ算定シタルハ不當ニ非ス  
七年五九號 一〇年六月二五日宣告 (一〇年四〇五頁)

第二十七條

同 同 同 同

第七條

28 ●營業收益稅法施行規則

(大正十五年勅令第三百三號 昭和十五年勅令第四百三號ニ依リ改正)

○營業タル貸金ノ利子收入ニ因ル第三種所得金額及個人ノ金錢貸付業ニ於ケル純益金額ノ算定上貸金元本ノ取立不能ニ因ル缺損ハ總收入金額ヨリ控除スヘキモノニ非ス  
九年二三號 九年六月一日宣告 (九年三七〇頁)

29 登錄稅法

(明治二十九年法律第二十七號)

○登錄稅法第二條ニ所謂所有權ノ取得トハ登記原因カ所有權ノ移轉ニ在ルモノニシテ所有權ノ保存トハ其ノ登記原因カ權利取得原因ノ如何ヲ問ハス既ニ有スル權利ノ保存ニ在ルモノト解スヘク該規定ノ登記原因ニ依ル區別ニ止マリ之ニ依リ建築ニ因ル建物所有權ノ取得ハ保存ニシテ取得ニ非スト爲スヘキニ非ス  
五年一〇二號 六年一月三日宣告 (六年一一三頁)

30 相續稅法

(明治三十八年法律第十號)

○相續稅法第五條第一項ニ於テ訴訟中ノ權利ト稱スルハ相續開始ノ際現ニ訴訟ノ目的タル權利ノ謂ナリ  
大七年一六一號 大一一一年一月四日宣告 (大一一一年一〇九七頁)

○相續稅法第十條ノ相續稅免除ノ申立ニ對シ相續稅ノ賦課ニ先チテ行ハレタル稅務署長ノ拒否ハ明治二十三年法律第六六號ニ所謂租稅ノ賦課ニ關スル行政處分ニ該當セス其ノ他法律勅令中斯ル場合ニ付行政訴訟ノ提起ヲ許シタル規定ナシ  
一〇年二號 一〇年三月七日裁決 (一〇年一二八頁)

○稅務署長カ相續稅課稅價格決定ニ關スル再審査ノ請求ニ對シ原決定額ヲ増加シタル決定ヲ爲スハ不法ニアラス

第十五條 第一項

舊第十條

舊第五條 第一項

第二條 第一項







ルモノニ非サル法意ナリ

一二年二五二號 一二年一月一〇日裁決 (一二年四五〇頁)

第一條

○一定ノ賄料ヲ支拂ヒ他人方ニ止宿シ來リタル者ハ戸ヲ構フル者ト謂フヲ得サルニ依リ之ニ對シ戸數割ヲ賦課シタルハ違法ナリ

34 ●地方税規則 (明治十三年第十六號布告 (大正十五年法律第二十四號ニ依リ廢止))

- 大一〇年二四三號 大一年一月二四日宣告 (大一年三頁)
  - 大一〇年二〇九號 大一年一月二五日宣告 (大一年六頁)
  - 大一〇年二〇一號 大一年一月二七日宣告 (大一年九頁)
  - 大一〇年二二六號 大一年二月六日宣告 (大一年一五頁)
  - 大一年二八號 大一年三月三日宣告 (大一年二三頁)
  - 大一年二七號 大一年三月九日宣告 (大一年二六頁)
  - 大一年四三號 大一年四月一日宣告 (大一年三五頁)
  - 大一年一六八號 大一年七月一五日宣告 (大一年八〇七頁)
- 全家族他ニ移轉シタル後ト雖モ戸ヲ撤廢セサルモノト認ムヘキ者ニ對シ縣稅戶數割ヲ賦課シタルハ違法ニ非ス

同 同

大一年一九號 大一年四月一九日宣告 (大一年四六四頁)  
○離座敷ヲ賃借シテ居住シ主要食物タル米飯ノ原料ヲ購買シ報酬ヲ支拂ヒテ炊爨セシメタルトキハ構戶ノ事實アリタルモノト認ムヘキモノトス

同

大一年一二八號 大一年六月二七日宣告 (大一年七六五頁)  
○明治十三年太政官布告第十六號地方税規則ニ依ル縣稅戶數割ハ一戸ヲ構フル者ニノミ之ヲ賦課スヘク毎月賄料ヲ支拂ヒテ他人方ニ止宿スル者ハ戸ヲ構フルモノニアラサルカ故ニ之ニ對シ賦課スヘキモノニアラス

第二條

35 ●地方税中營業稅雜稅ノ種類及ヒ制限 (明治十三年第十七號布告 (大正十五年法律第二十四號ニ依リ廢止))  
○獸肉販賣業ノ爲メ國稅營業稅ヲ納ムル者カ其ノ販賣ノ用ニ供スル獸肉ヲ得ンカ爲其ノ所有ノ獸畜ヲ屠夫ニ託シテ屠殺スル場合ニ於テ其ノ屠畜行爲ニ對シ縣稅屠畜稅ヲ賦課スルモ違法ニ非ス

同

大一年一九四號 大一年四月二八日宣告 (大一年三六一頁)  
○古物商ノ組合員相互間ノミニ於テ一定ノ場所ヲ會場トシ隨時ニ組合員ノ一人又ハ數人カ催主ト爲リ入札ノ方法ヲ以テ書畫骨董品ヲ他人ノ委託ニ因リ賣買スルカ如キハ明治十三年太政官布告第十七號ニ依ル市場ト認ムルコトヲ得ス

同

大九年二一一號 大二年五月八日宣告 (大二年四一八頁)  
○東京廻米問屋同盟者ニ依リテ共立セラレ一定ノ場所ニ於テ一定ノ日ヲ除ク外毎日一定時間開市シ同盟者賣主ト爲リ二十俵以上ヲ買フ者ハ何人ト雖モ買主ト爲リ米雜穀ノ賣買取引ヲ爲スモノハ明治十三年太政官布告第十七號地方稅營業稅雜稅ノ種類及制限第二條ニ所謂市場ナリトス

同

大一〇年一一一號 大一年一月二七日宣告 (大一年九二〇頁)  
大一〇年六九號 大一年七月一七日宣告 (大五年七五一頁)  
○市場稅ノ稅額ヲ市場内ノ賣上高ヲ標準トシテ定ムルコトハ市場ノ規模事業ノ狀況ニ依リ市場經營者ノ負擔



力ヲ測定スル趣旨ト認ムヘク其ノ課税ハ市場經營行為ニ對シ課税スルモノニシテ市場内ニ於ケル組合員各自ノ營業行為ニ對シ賦課スルモノニ非スト解スルヲ相當トスルニ依リ組合員各自ノ營業行為ニ對シ賦課スル國稅營業稅ト重複スル課稅ナリト云フコトヲ得ス

大一〇年六九號 大一年七月一七日宣告 (大一年七五二頁)

36 ●市税及町村税ノ徴收ニ關スル件 (明治四十四年勅令第二百四十二號 (大正九年勅令第六十八號ニ依リ廢止))

○納税ノ告知、督促又ハ滯納處分ニ關スル書類ニシテ名宛人ノ住所又ハ居所ニ送達セラレタルトキハ其ノ受取人ハ納税義務者ナルコトヲ要件トセス

○共有地ニ付テノ村地租稅附加稅ノ徴收ニ關スル徵稅令書督促令狀及差押調書ノ共有者ノ一人ニ對スル送達ハ他ノ共有者ニ對シテモ亦其ノ效力ヲ有ス

大九年一一〇號 大一年二月一六日宣告 (大一年五三頁)

○共有地ニ對スル納税ニ付共有者ノ一人ニ爲シタル徵稅令書、督促狀ノ送達ハ全員ニ對シ其ノ效力ヲ生ス

大一年一七號 二年六月一四日宣告 (二年七〇六頁)

第十三條

37 諸税其ノ他ノ收入金徴收事務取扱規程 (昭和十一年三月大阪府達第六十號)

○大阪府北區長カ昭和十一年三月大阪府達第六〇號諸税其ノ他ノ收入金徴收事務取扱規程ニ基キ區役所督稅係吏員ヲシテ爲サシメタル滯納大阪府稅、同市稅、督促手數料、延滯金及滯納處分費ノ受領ニ付テハ府縣制第一百六條第七項 (昭和十五年法律第六二號ニ依リ改正前ノ規定) 及市制第三百三十一條第六項 (同年法律第六三號ニ依リ改正前ノ規定) ニ依リ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得サルノミナラス其ノ他法律勅令中斯カル事項ニ付行政訴訟ノ提起ヲ許シタル規定ナシ

一四年一三一號 一六年一二月一三日宣告 (一六年二五四頁)

參照

第十三條 納稅督勵ノ際納稅義務者税金ノ納付ヲ申出テタルトキハ係員ハ第一號様式ニ依ル假領收書ヲ以テ現金ノ受領ヲ爲スコトヲ得

係員ハ假領收書ニ依ルノ外現金ノ受領ヲ爲スコトヲ得ス

第十四條 税金ハ納稅義務者ヨリノ完納申出アルニ非サレハ假領收書ニ依リ受領スルコトヲ得ス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テ區長ノ承認ヲ經タルトキハ此ノ限ニ在ラス

38 ●地方稅制限ニ關スル法律 (明治四十二年法律第三十七號 (昭和十五年法律第六十號ニ依リ廢止))

○村稅特別稅段別割ノ賦課率カ各種地目間ニ不公平アリトスルモ段別割ニ關スル法令ニ違反シタルモノニ非サル限り之ヲ規定シタル條例ヲ無効ナリト爲スヲ得サルモノトス

村稅特別稅段別割ノ實際賦課率カ各種地目ノ土地又ハ同一地目中ノ個々ノ土地ノ收益ノ多寡ニ相應セザルモ條例所定ノ賦課率ノ範圍内ナル限り之ヲ違法ナリト爲スヲ得サルモノトス

六年三二〇號 七年五月九日宣告 (七年四七九頁)

○本稅タル地租ノ納期開始ノ日ト異ル期日ヲ以テ地租附加稅ノ賦課期日ト定ムルモ違法ニ非ス

一一年九八號 一二年七月二一日宣告 (一二年二七七頁)

○村稅特別稅段別條例ニ定ムル課率カ明治四十一年法律第三十七號地方稅制限ニ關スル法律第一條第二號ノ制限内ナル以上假令山林ノ課率カ他ノ地目ノ課率ニ比シ權衡ヲ失ストスルモ右課率ノ定ヲ違法ト爲スヲ得ス



第二條

○地方税制限ニ關スル法律第二條中營業稅ヲ納ムル者トハ現實ニ國稅ノ營業稅ヲ納ムル義務ヲ有スル者ノ謂ニシテ營業稅法第二十九條ニ依ル營業稅全額ノ被免除者ハ現實ニ國稅ノ營業稅ヲ納ムルノ義務ヲ有セサル者ナルヲ以テ當該營業ニ對シ地方稅商業稅ヲ賦課スルモ違法ニ非ス

- 大一年三九一號 二年三月三日宣告 (二年三二〇頁)
- 大一年三九二號 二年三月三日宣告 (二年三二六頁)
- 大一年三九七號 二年三月三日宣告 (二年三三〇頁)
- 大一年四〇二號 二年三月三日宣告 (二年三三六頁)

○同一營業者ニ於ケル數種ノ營業中ノ一ニ對シ國稅營業稅全額ノ免除アリタルトキ此ノ營業ニ對シテ地方稅ヲ賦課スルハ地方税制限ニ關スル法律第二條ノ規定ニ牴觸スルモノニ非ス

- 大一年四〇二號 二年三月三日宣告 (二年三三六頁)

○地方税制限ニ關スル法律第二條ニ「營業稅ヲ納ムル者」ト稱スルハ現實ニ營業稅ヲ納ムルノ義務ヲ有スルノ者ノ謂ナリト解スヘキモノトス

- 大一年二一三號 二年三月一〇日宣告 (二年三五〇頁)

○法人ニ對スル所得稅附加稅及營業收益稅附加稅ハ本稅ヲ標準トシテ其ノ稅額ヲ定メ賦課スルモノナレトモ其ノ客體ハ本稅ト同シク各事業年度ノ所得又ハ純益ナリト認ムヘキカ故ニ其ノ納稅義務ノ有無及範圍ハ本稅ト同時ニ定マルヘキモノト解スルヲ相當トス從テ各事業年度終了ノ日ノ屬スル年度ノ現行法令ヲ適用シ其ノ年度ノ課率ニ依リ賦課セサルヘカラス

同

- 三年三二二號 四年四月一日宣告 (四年三八三頁)

- 四年四二三號 五年四月二四日宣告 (五年六三四頁)

- 五年二二二號 五年一月二三日宣告 (六年一七頁)

○明治四十一年法律第三十七號地方税制限ニ關スル法律第二條ニ所謂營業稅ヲ納ムル者ノ營業トハ營業稅ヲ納ムヘキ者ニシテ營業稅法第二十九條ニ依リ營業稅全部ヲ免除セラレタル者ノ營業ヲモ包含スルノ法意ニシテ該營業ニ對シテ爲シタル地方稅營業稅ノ賦課ハ違法ナリ

- 三年二六五號 四年七月九日宣告 (四年七三三頁)

○貯蓄銀行業ヲ營ム者ニ對スル營業收益稅ノ附加稅ハ貯蓄銀行法第二十二條ニ依リ免除セラレタル殘餘ノ稅額ヲ標準ト爲スヘキモノトス

- 一二年二二四號 四年七月一三日宣告 (四年七七二頁)

○法人ニ對スル營業收益稅附加稅ノ客體ハ本稅ト同シク各事業年度ノ純益ナリト解スヘキモノトス

- 四年五一四號 五年一〇月七日宣告 (五年一二五二頁)

○法人ニ對スル縣稅所得稅附加稅、營業收益稅附加稅、營業收益稅割ハ該法人ノ各事業年度ノ所得又ハ營業純益ヲ對象トシテ其ノ所得又ハ營業純益ノ屬スル事業年度終了ノ日ノ屬スル會計年度ノ現行法令ニ依リ賦課スヘキモノニシテ之ニ反スル縣稅賦課徵收規則ハ違法ナリ

- 五年二四七號 六年一月一五日宣告 (六年七三三頁)

○府縣稅所得稅附加稅、營業收益稅附加稅及營業收益稅割ノ時効ハ所得稅又ハ營業收益稅ノ課稅標準カ決定セラレタル時ヨリ進行スルモノトス

同

同

同

同



同

○市税所得稅附加稅、營業收益稅附加稅及營業收益稅割ノ消滅時效ハ本稅タル國稅所得稅又ハ營業收益稅ノ課稅標準カ決定セラレタル時ヨリ進行スルモノトス  
八年一六九號 八年一月四日宣告 (八年八七七頁)  
八年三七一號 八年二月二三日宣告 (八年二二一六頁)

同

○營業收益稅法第十條第二項ニ依リ資本利子稅額ノ控除ヲ受ケ更ニ貯蓄銀行法第二十二條ニ依リ二分ノ一ノ免除額ヲ控除シタル額ヲ納付シタル貯蓄銀行ニ對スル營業收益稅附加稅ハ資本利子稅額ヲ控除セサル營業收益稅額ノ二分ノ一ニ相當スル額ヲ課稅標準トシテ賦課スヘキモノトス  
五年二五七號 六年三月五日宣告 (六年二一〇頁)

同

○營業收益稅法第十條第二項ノ規定ニ依リ資本利子稅額ヲ控除セラレタル結果現實ニ營業收益稅ヲ納付スルコトナキニ至リタル貯蓄銀行ニ對スル縣稅營業收益稅附加稅及縣稅都市計畫特別稅營業收益稅割ハ何レモ資本利子稅額ヲ控除セサル營業收益稅額ノ二分ノ一ニ相當スル額ヲ課稅標準トシテ賦課スヘキモノトス  
六年一〇三號 六年八月二日宣告 (六年六四七頁)

第三條

○法人ニ對スル所得稅附加稅ハ本稅ヲ標準トシ其ノ稅額ヲ定メテ賦課スルモノナレトモ其ノ客體ハ本稅ト同時ク各事業年度ノ所得ナリト認ムヘキカ故ニ其ノ納稅義務ノ有無及範圍ハ本稅ト同時ニ定マルヘキモノト解スルヲ相當トス從テ各事業年度終了ノ日ノ屬スル年度ノ現行法令ヲ適用シ其ノ年度ノ課率ニ依リ賦課セサルヘカラス  
三年二八八號 四年四月一日宣告 (四年三七八頁)  
四年三五五號 五年四月八日宣告 (一五年五〇〇頁)

同

四年五一〇號 五年五月三日宣告 (五年七〇九頁)  
四年四九七號 五年六月二八日宣告 (五年八五七頁)  
四年五〇四號 五年七月一〇日宣告 (五年九七四頁)  
四年五〇七號 五年七月一〇日宣告 (五年九七九頁)  
四年五〇八號 五年七月一七日宣告 (五年一〇一三頁)  
五年一四四號 五年一〇月一四日宣告 (五年一三〇一頁)  
五年四五號 五年一月一五日宣告 (五年一三九七頁)  
五年二二二號 五年二月二三日宣告 (六年一七頁)  
五年一三號 五年二月二〇日宣告 (六年四頁)  
五年一九四號 五年二月四日宣告 (六年五二頁)  
四年五一三號 六年三月一九日宣告 (六年二三一頁)  
五年三三七號 六年四月二一日宣告 (六年三九〇頁)  
五年三三五號 六年四月二一日宣告 (六年三九〇頁)  
五年三三九號 六年四月二一日宣告 (六年三九〇頁)

○法人ニ對スル所得稅附加稅及營業收益稅附加稅ハ本稅ヲ標準トシテ其ノ稅額ヲ定メテ賦課スルモノナレトモ其ノ客體ハ本稅ト同時ク各事業年度ノ所得又ハ純益ナリト認ムヘキカ故ニ其ノ納稅義務ノ有無及範圍ハ本稅ト同時ニ定マルヘキモノト解スルヲ相當トス從テ各事業年度終了ノ日ノ屬スル年度ノ現行法令ヲ適用シ其ノ年度ノ課率ニ依リ賦課セサルヘカラス  
三年三三二號 四年四月一日宣告 (四年三八三頁)  
四年四二三號 五年四月二四日宣告 (五年六三四頁)



同

同

○所得稅附加稅ハ本稅ノ課稅客體ヲ其ノ客體トシ本稅ヲ標準トシテ賦課スルモノトス  
四年七二號 四年七月二三日宣告 (四年九九四頁)

○縣稅賦課規則ニ於テ本稅決定ノ日ノ屬スル年度ノ課率ニ依リ所得稅附加稅ヲ賦課スル旨ヲ定メタル規定ハ課稅ノ客體タル所得ノ生シタル日ノ屬スル年度ノ後ノ年度ニ於テ定メタル課率ニ依リ賦課スルモノニシテ違法ナリ  
四年三五五號 五年四月八日宣告 (五年五〇〇頁)

○法人ニ對スル所得稅附加稅及營業收益稅附加稅ノ客體ハ各本稅タル所得稅又ハ營業收益稅ニ非スシテ各事業年度ノ所得又ハ純益ナリ  
四年四二三號 五年四月二四日宣告 (五年六三四頁)

○法人ニ對スル縣稅所得稅附加稅ハ該法人ノ各事業年度ノ所得ヲ對象トシテ其ノ所得ノ屬スル事業年度終了ノ日ノ屬スル會計年度ノ現行法令ニ依リ賦課スヘキモノニシテ之ニ反スル縣稅賦課徵收規則ハ違法ナリ  
五年三四〇號 六年一〇月三十一日宣告 (六年一〇〇四頁)

○所得稅ノ課稅標準カ時効期間滿了後ニ決定セラレタルモノナルトキハ右所得稅額ヲ標準トシテ爲シタル所得稅附加稅ノ賦課ハ違法ニシテ取消ヲ免レサルモノトス  
六年三三號 七年六月三日宣告 (七年五八〇頁)

○法人ニ對スル府縣稅所得稅附加稅ノ消滅時効ハ本稅ノ課稅權者カ本稅ニ付テ課稅標準ヲ決定シタル時ヨリ進行スルモノトス  
八年一六九號 八年一月四日宣告 (八年八七七頁)

○所得稅ノ課稅標準カ時効期間滿了後ニ決定セラレタルモノナルトキハ右所得稅額ヲ標準トシテ爲シタル所得稅附加稅ノ賦課ハ違法ニシテ取消ヲ免レサルモノトス  
八年一六九號 八年一月四日宣告 (八年八七七頁)

○所得稅ノ課稅標準カ時効期間滿了後ニ決定セラレタルモノナルトキハ右所得稅額ヲ標準トシテ爲シタル所得稅附加稅ノ賦課ハ違法ニシテ取消ヲ免レサルモノトス  
八年一六九號 八年一月四日宣告 (八年八七七頁)

○所得稅ノ課稅標準カ時効期間滿了後ニ決定セラレタルモノナルトキハ右所得稅額ヲ標準トシテ爲シタル所得稅附加稅ノ賦課ハ違法ニシテ取消ヲ免レサルモノトス  
八年一六九號 八年一月四日宣告 (八年八七七頁)

○所得稅ノ課稅標準カ時効期間滿了後ニ決定セラレタルモノナルトキハ右所得稅額ヲ標準トシテ爲シタル所得稅附加稅ノ賦課ハ違法ニシテ取消ヲ免レサルモノトス  
八年一六九號 八年一月四日宣告 (八年八七七頁)

○所得稅ノ課稅標準カ時効期間滿了後ニ決定セラレタルモノナルトキハ右所得稅額ヲ標準トシテ爲シタル所得稅附加稅ノ賦課ハ違法ニシテ取消ヲ免レサルモノトス  
八年一六九號 八年一月四日宣告 (八年八七七頁)

○所得稅ノ課稅標準カ時効期間滿了後ニ決定セラレタルモノナルトキハ右所得稅額ヲ標準トシテ爲シタル所得稅附加稅ノ賦課ハ違法ニシテ取消ヲ免レサルモノトス  
八年一六九號 八年一月四日宣告 (八年八七七頁)

○所得稅ノ課稅標準カ時効期間滿了後ニ決定セラレタルモノナルトキハ右所得稅額ヲ標準トシテ爲シタル所得稅附加稅ノ賦課ハ違法ニシテ取消ヲ免レサルモノトス  
八年一六九號 八年一月四日宣告 (八年八七七頁)

○所得稅ノ課稅標準カ時効期間滿了後ニ決定セラレタルモノナルトキハ右所得稅額ヲ標準トシテ爲シタル所得稅附加稅ノ賦課ハ違法ニシテ取消ヲ免レサルモノトス  
八年一六九號 八年一月四日宣告 (八年八七七頁)

○所得稅ノ課稅標準カ時効期間滿了後ニ決定セラレタルモノナルトキハ右所得稅額ヲ標準トシテ爲シタル所得稅附加稅ノ賦課ハ違法ニシテ取消ヲ免レサルモノトス  
八年一六九號 八年一月四日宣告 (八年八七七頁)

同

同

同

同

同

同

大正十五年法律第五號附則第一項

第五條

第九條

同

同

八八九四年號 九年七月三日宣告 (九年四八三頁)

○大正十五年法律第二十五號地方税制限ニ關スル件中改正法律附則第一項ノ「本法ハ大正十六年度分ヨリ之ヲ適用ス」トハ法人ノ所得ニ對スル附加稅ニ在リテハ各事業年度終了ノ日カ大正十六年度ニ屬スル分ヨリ改正法律ヲ適用スルノ法意ナリ  
四年五一〇號 五年五月三日宣告 (五年七〇九頁)

39 ●地方税ニ關スル法律 (大正十五年法律第二十四號 昭和十四年法律第六十號ニ依リ廢止)

○地方税ニ關スル法律第五條ハ北海道、府縣カ特別地稅ト反別割ト併課スル場合若ハ北海道府縣以外ノ公共團體カ特別地稅附加稅ト反別割ト併課スル場合ノ制限規定ナリ  
六年二二八號 九年七月二四日宣告 (九年七四一頁)

○敷地所有者ニ移動アリ地租附加稅ヲ賦課シタル事實アリトスルモ該事實ハ地上家屋ニ對スル家屋稅ノ賦課ニ關係ヲ及ホスヘキモノニ非ス  
三年三三八號 四年三月三〇日宣告 (四年三一五頁)

○府縣制第十五條ハ府縣稅ノ賦課ノ違法又ハ錯誤ノ理由ヲ限定セサルカ故ニ苟モ府縣稅家屋稅ノ賦課ニ對スル異議申立ナル以上假令其ノ課稅標準タル賃賃價格ノ不當ヲ理由トスルモノト雖モ之ヲ以テ不適法ノ異議申立ナリト謂フヲ得ス  
六年二八一號 七年二月三日宣告 (七年二九頁)

○大正十五年法律第二十四號地方税ニ關スル法律第九條及同年勅令第三百三十九號地方税ニ關スル法律施行  
六年二八一號 七年二月三日宣告 (七年二九頁)

財務 地方税ニ關スル法律



ニ關スル件第二條ニ所謂家屋ノ賃貸價格トハ家屋ノ賃貸料トシテ家主ノ收得スヘキ通俗ニ所謂家賃ノ總額ヨリ家屋ノ敷地庭園等ノ賃貸料タル通俗ニ所謂地代ニ相當スル額ヲ控除シタル殘額ノ義ト解スヘキモノトス

- 六年 三九〇號 七年一月二七日宣告 (七年一二四二頁)
- 六年 一九〇號 七年一月二七日宣告 (七年一二四二頁)
- 五年 三二五號 八年四月一日宣告 (八年二五五頁)
- 六年 七〇號 八年四月一日宣告 (八年二五五頁)
- 八年 二四五號 九年一月二四日宣告 (九年九八九頁)
- 四年 四八八號 一三年七月一九日宣告 (一三年四八三頁)

○豫メ一定ノ準則ヲ設ケ之ヲ各家屋ニ適用シテ其ノ賃貸價格ヲ算定スルハ實際ヲ離レタル架空ノ算定ナリト謂フコトヲ得ス從テ違法ニ非ス

六年 二一五號 八年一〇月三日宣告 (八年六九八頁)

○家屋ノ一部カ府縣稅家屋稅ノ對象トナスヲ得サルモノナルニ拘ラス之ヲ除外セス該家屋全部ノ賃貸價格ヲ課稅標準トシテ爲シタル府稅家屋稅ノ賦課ハ違法ニシテ取消ヲ免レサルモノトス

- 六年 二七〇號 九年七月一〇日宣告 (九年五五六頁)
- 七年 三七一號 九年七月一〇日宣告 (九年五五六頁)
- 同年 一五七號 九年七月一〇日宣告 (九年五五六頁)
- 同年 一六六號 九年七月一〇日宣告 (九年五五六頁)
- 同年 二九八號 九年七月一〇日宣告 (九年五五六頁)
- 同年 一六一號 九年七月一〇日宣告 (九年五五六頁)

○家屋ニ備附ケタル疊建具其ノ他ノ雜作カ家屋所有者以外ノ者ノ所有ニ屬スル場合ニ於テハ右雜作ノ賃貸料

同

同

同

ニ相當スル金額ハ之ヲ地方税ニ關スル法律第九條及地方税ニ關スル法律施行ニ關スル勅令第二條ニ所謂家屋ノ賃貸價格ニ包含セシムヘカラサルモノト解スヘキモノトス

八年 二四五號 九年一月二四日宣告 (九年九八九頁)

○家屋ノ賃貸價格ハ原則トシテ一定ノ調査區内ニ於ケル適當ナル現實ノ賃貸價格ヲ基礎トシ若シ其ノ調査區内ニ現實ノ賃貸價格ヲ有スル家屋ナキトキ又ハ少キトキハ適切ナル賃貸價格ヲ推定シテ標準賃貸價格ヲ定メ右標準賃貸價格ニ建築見積價格ヲ乘シタルモノニ敷地ノ地位ニ依ル經濟的價值ヲ加算シテ之ヲ算定スルハ違法ナリト謂フヲ得ス

八年 四八三號 一〇年七月一八日宣告 (一〇年五九三頁)

○家屋ノ造作ノ賃貸價格ハ之ヲ家屋ノ賃貸價格ニ包含セシメサル趣旨ノ行政實例ハ大正十五年法律第二十四號地方税ニ關スル法律第九條並大正十五年勅令第三百三十九號地方税ニ關スル法律施行ニ關スル件第二條ノ規定ニ違背シ不法ノモノトス

家屋稅ノ賦課ニ關スル行政訴訟ニ於テハ家屋ノ賃貸價格カ係爭家屋ト他ノ家屋トノ間ニ於テ比較權衡ヲ得タルモノナリトスルモ係爭家屋ノ賃貸價格ニシテ適當ノモノナル以上之カ正當ナル賃貸價格ヲ算定シテ其ノ賦課額ヲ更正スヘキモノトス

- 八年 二三號 一二年二月九日宣告 (一二年二九頁)
- 八年 一一五號 一二年二月二七日宣告 (一二年七一三頁)

○家屋賃貸價格ハ造作ノ賃貸價格ヲ控除シテ算定スヘキ旨ノ神戸市家屋賃貸價格調査內規第一條ノ規定ハ大正十五年法律第二十四號地方税ニ關スル法律第九條並大正十五年勅令第三百三十九號地方税ニ關スル法律

同

同

同



施行ニ關スル件第二條ノ規定ニ違背シ不法ナリ

八年一八六號 一二年二月九日宣告 (一二年四二頁)

○家屋ノ賃貸價格ヲ決定スルニ付浴場タル該家屋ノ契約上ノ賃貸料ヲ基礎ト爲シタル以上ハ該契約上ノ賃貸料カ揚錢ヲ標準トシテ定メラレタル事實アリトスルモ之ヲ以テ違法ト爲スコトヲ得ス

四年四八八號 一三年七月一九日宣告 (一三年四八三頁)

○賃貸ノ事實アル家屋ト雖モ家屋税ノ課税標準タル家屋ノ賃貸價格ハ客觀的ニ相當ナルコトヲ要シ必スシモ實際ノ賃貸料ニ依リ算定スルヲ要スルモノニ非ス

一二年一四六號 一三年一〇日二七日宣告 (一三年六八五頁)

○家屋税ノ課税標準タル賃貸價格ヲ決定シタル場合ハ之ヲ納税者ニ告知セサルモ同税ノ賦課ヲ違法ナリト爲スヲ得ス

六年二八一號 七年二月三日宣告 (七年二九頁)

○家屋賃貸價格ノ算定ハ結局ノ決定額ニ於テ正當ヲ期スヘキモノニシテ當初ノ査定額ノ如何ニ拘ラス中間諸機關ニ於テ常ニ同一ノ經過ヲ辿ラサルヘカラサルモノニ非ス

六年二一五號 八年一〇月三日宣告 (八年六九八頁)

○地方税ニ關スル法律第二十三條第一項ニ所謂一戸ヲ構フル者トハ一世帯ヲ持チ家事經濟ヲ營ム者又同條第二項ニ所謂獨立ノ生計ヲ營ム者トハ自己ノ計算ニ於テ家事經濟ヲ營ム者ヲ意味スルモノナルカ故ニ右二者ハ何レモ自然人ヲ指稱スルモノニシテ法人ヲ包含セサルモノト解スルヲ相當トス

九年八九號 一一年五月一九日宣告 (一一年二〇一頁)

第二十三條

同

第十條

同

同

第二十四條

同

○戸數割ノ資産狀況ニ依ル賦課額カ當然納税義務者ノ資産狀況ニ相應セサル如キ結果ヲ來スヘキ賦課細則ハ地方税ニ關スル法律第二十四條及第二十五條ノ趣旨ニ反シ違法ナリ從テ之ニ基キ爲シタル戸數割ノ賦課モ亦同法條ノ趣旨ニ反シ違法ナリ

三年一二〇號 四年七月二三日宣告 (四年八七八頁)

三年二六七號 四年七月二三日宣告 (四年八八七頁)

○戸數割納税義務者中ノ一部ノ者ノ所得額ヲ過少ニ算定シタル結果所得額ニ依ル課率ニ影響スル場合ニ於テ其ノ過大ナル課率ヲ適用シテ爲シタル賦課ハ該納税義務者ノ所得額ノ算定カ過當ナラストスルモ過重ニシテ地方税ニ關スル法律第二十四條ニ反スルモノトス

四年一四九號 四年一二月二四日宣告 (五年五四頁)

四年三七九號 五年四月二六日宣告 (五年六一一頁)

○國税又ハ縣税ノ納額ヲ材料ノ一部トシテ資産ノ狀況ヲ推定シ戸數割ノ課税標準タル資力ヲ算定スルモ違法ニ非ス

三年二三一號 四年一二月二八日宣告 (四年一三二頁)

○大正十五年法律第二十四號地方税ニ關スル法律第二十五條ニ所謂資産ノ狀況ニ依リ之ヲ算定ストハ資産ノ狀況ヲ標準トシテ各納税義務者ノ資力ヲ算定シ其ノ資力ニ相應スル賦課額ヲ配當スルコトヲ要スル趣旨ト解スルヲ相當トス從テ資産ヲ有スル納税義務者ノ一部ニ對シ資産ノ狀況ニ依ル賦課ヲ配當セサル村會ノ議決ハ違法ナリ

二年二四九號 三年四月二八日宣告 (三年四二一頁)



四年一三二號 五年四月二四日宣告 (五年六二八頁)

○大正十五年法律第二十四號地方税ニ關スル法律第二十五條ニ所謂資産ノ狀況ニ依リ之ヲ算定ストハ戶數制總額ノ内資産ノ狀況ニ依リ賦課スヘキ金額ヲ各納稅義務者ノ資産ノ狀況ニ相應シテ各自ニ之ヲ配當賦課スルコトヲ要スル趣旨ニシテ資産ノ狀況比較的良好ナラサル者ニ對シ其ノ狀況比較的良好ナル者ヨリモ多額ノ配當ヲ爲スコトヲ許スモノニ非ス

三年一三七號 三年七月一九日宣告 (三年一一三二頁)

三年二三五號 三年一月二〇日宣告 (三年一三二九頁)

○大正十五年法律第二十四號地方税ニ關スル法律第二十五條ニ戶數制ノ賦課標準タル資力ハ納稅義務者ノ所得額及資産ノ狀況ニ依リ之ヲ算定ストアルハ市町村稅タル戶數制ノ賦課標準タル資力ハ納稅義務者ノ所得額及資産ノ狀況ニ依リ之ヲ算定シ其ノ算定シタル所得額及資産ノ狀況カ各其ノ實際ニ適合スルヲ要スルノ法意ナリト解スルヲ相當トス

三年六五號 三年七月一九日宣告 (三年一二二七頁)

○村稅戶數制ノ資産ノ狀況ニ依ル配當額ノ算定ニ付其ノ額ト所得額ニ依ル配當額トノ合計金額カ村會ノ見ル所ニ依リ各納稅義務者ノ負擔力ニ應スルカ如ク配當シタルハ大正十五年法律第二十四號地方税ニ關スル法律第二十五條並同年勅令第三百三十九號同施行法ニ關スル件第二十一條及同附則第六項ニ違反スルモノトス

三年九四號 三年七月一九日宣告 (三年一二三四頁)

三年一九七號 四年一月二四日宣告 (四年六七頁)

同

○市町村ノ特別稅戶數制ノ賦課額ヲ定ムルニ當リ納稅義務者中一部ノ者ニ對シテノミ所得額ニ依ル賦課額ヲ配當シ又ハ資産ノ狀況ニ依ル賦課額ヲ配當スルコトハ反證ナキ限り各納稅義務者ノ資力ニ相應セサルモノト認ムヘク大正十五年法律第二十四號地方税ニ關スル法律第二十五條ニ違反スルモノトス  
適法ナル一般の標準ニ基キ算定シタル戶數制賦課ノ標準タル所得額ヨリ法令ニ基カス市町村會ノ議決ニ依リ任意ニ控除ヲ爲シ該所得額ヲ零ト爲スコトハ違法ナリ  
恩給ハ終身定期金ナルヲ以テ受給者ノ年齢其ノ他ノ條件ヲ考慮シテ其ノ權利ノ相當ナル現價ヲ算定シ之ヲ戶數制賦課ノ標準タル資産額ト爲スハ格別恩給年額ヲ五朱ノ利廻リニ當ル果實ト看做シテ元本ヲ推定シ該推定額ヲ戶數制賦課ノ標準タル資産額ト爲スコトハ違法ナリ

戶數制賦課ノ標準タル資産額ヲ定ムルニ當リ甲者ニ對シテハ恩給ヲ資産ニ算入セサルニ拘ラス乙者ニ對シテハ之ヲ資産ニ算入スルコトハ假令甲者ノ恩給ハ之ヲ所得額ニ算入セラレ乙者ノ恩給ハ地方税ニ關スル法律施行規則第二十五條ニ依リ所得額ニ算入セラレサル場合ニ於テモ違法ナリ

甲乙兩者ノ恩給カ共ニ地方税ニ關スル法律施行規則第二十五條ニ依リ戶數制賦課ノ標準タル所得額ニ算入セラレサル場合ニ於テモ甲者ハ他ノ收入多ク乙者ハ他ノ收入少クシテ兩者ノ生活狀態異ナレリトノ理由ヲ以テ乙者ニ對シテハ該恩給ヲ資産ノ狀況ニ依ル戶數制賦課ノ標準ト爲ササルニ拘ラス甲者ニ對シテハ之ヲ其ノ標準ト爲スコトハ違法ナリ

四年七三號 四年七月九日宣告 (四年七四九頁)

○戶數制ノ資産狀況ニ依ル賦課額カ當然納稅義務者ノ資産狀況ニ相應セサル如キ結果ヲ來スヘキ賦課細則ハ地方税ニ關スル法律第二十四條及第二十五條ノ趣旨ニ反シ違法ナリ從テ之ニ基キ爲シタル戶數制ノ賦課モ

財務 地方税ニ關スル法律

五〇五



亦同法條ノ趣旨ニ反シ違法ナリ

三年一二〇號 四年七月二三日宣告 (四年八七八頁)  
三年二六七號 四年七月二三日宣告 (四年八八七頁)

○地方税ニ關スル法律第二十五條ニ所謂所得額及資産ノ狀況ニ依リ之ヲ算定ストハ納稅義務者全員ノ全所得額及全資産ノ狀況ニ應シテ之ヲ算定スルノ法意ナリトス  
所得額二千圓以上ノ者ニ付テノミ其ノ所得額中ヨリ二千圓ヲ控除シタル殘額ヲ標準トシテ資産ノ狀況ニ依ル賦課額ヲ配當シテ爲シタル戸數割賦課ノ資力算定ハ納稅義務者全員ノ全資産ノ狀況ニ應シテ算定セサルノ違法アルモノトス

三年二〇二號 四年七月二三日宣告 (四年九〇二頁)

○戸數割ノ賦課ヲ爲スニ當リ各納稅義務者ノ所得額及資産ノ狀況ニ付具體的調査ヲ爲ササリシトスルモ實質上其ノ賦課額カ適當ニ非サル限リ之ヲ以テ直ニ該賦課ヲ取消スノ理由ト爲スニ足ラス  
戸數割賦課ノ標準タル資産ノ狀況算定方法カ不適當ナリトスルモ之ニ因リ適當ノ負擔ヲ命セラレタルモノニ非サル以上該賦課ハ之ヲ取消スノ理由ナキモノトス

四年一六五號 四年二月三日宣告 (四年一二四三頁)

○村會議決ニ係ル戸數割納稅義務者ノ資力算定標準タル所得額カ同一人ニ對スル稅務署決定ノ第三種所得金額(確定)ノモノニシテ相當ト認ムヘキニ比シ著シキ差異アルトキハ反證ナキ限リ該村會議決額ヲ以テ不當ト認メサルヲ得ス

四年一七六號 四年二月二六日宣告 (五年七四頁)

同

○資産狀況ニ依ル賦課額カ各納稅義務者ノ資産ノ狀況ニ適應セサルトキハ其ノ戸數割ノ賦課ハ地方税ニ關スル法律第二十五條ニ違反シ違法ナリ

四年一七六號 四年二月二六日宣告 (五年七四頁)  
六年八二號 六年二月一日宣告 (六年一〇九九頁)

○國稅又ハ縣稅ノ納額ヲ材料ノ一部トシテ資産ノ狀況ヲ推定シ戸數割ノ課稅標準タル資力ヲ算定スルモ違法ニ非ス

町ノ戸數割條例ニ基キ町會ノ議決ヲ經テ定メタル戸數割賦課細目中資産ノ狀況ニ依ル資力ノ算定ニ付特ニ定メタル標準以外ノ確認シ難キモノニ付テハ納稅義務者ノ生活及資産ノ狀況ヲ斟酌シテ町長ノ認定ニ依リ標準個數ヲ定ムル旨ノ規定ハ直ニ之ヲ違法ナリト謂フヲ得ス

地方税ニ關スル法律施行規則第二十四條ニ依ル老幼者ニ對スル控除ヲ爲シタル爲資力算定標準タル所得額皆無ト爲リタル者ト雖モ全ク資産ノ狀況ニ依ル資力ナキ者ト謂フヲ得ス之ニ對シ標準個數一個ヲ課スル旨ノ規定ハ違法ニ非ス

三年二三一號 四年二月二八日宣告 (五年一三二頁)

○特別稅戸數割ノ賦課カ取消サレ之ヲ再賦課スル場合ニ於テ或ル納稅義務者ノ所得額ヲ更正増加シタル爲總所得額増加シ所得額ニ依ル總賦課額ニ對スル率ニ影響スル場合ニ於テハ其ノ變更アルモノヲ課率トナスヘキモノトス

四年三八七號 五年二月一日宣告 (五年一九三頁)

○負債カ營業資本トシテ運轉セルモノニシテ負債ニ要スル利息ニ比シ遙ニ多額ノ收益ヲ得ルモノトスルモ資

財務 地方税ニ關スル法律

同

同

同

同

同

同



産ノ狀況ニ依ル賦課額ノ算定上資産額ヨリ控除セザリシハ不當ナリ

四年八七號 五年三月一五日宣告 (五年三八五頁)

○戸主ノ所有ニ係ル邸宅ニ居住シ其ノ附屬財物ヲ使用シテ一戸ヲ構ヘ該戸主ノ所有財産ヨリ生スル収入ノ一部ヲ以テ生計ヲ營ミ居ル家族ニシテ自己ノ財産ヨリ生スル所得又ハ勤勞所得ヲ有セサル者ニ對スル戸數割賦課ノ標準タル資力ハ本人ノ特有財産ノ價格ト戸主ノ收入金中本人ノ生計ノ費ニ充ツルモノ及其ノ財産中同人カ現實使用スルモノノ利用價值ニ基ク資産價格トヲ基礎トシタル資産ノ狀況ノミニ依リ之ヲ算定スルヲ相當トス

現實使用スル他人ノ財産ノ利用價值ニ基キ資産價格ヲ定ムルニハ自己ノ收入又ハ財産ノ利用價值ニ基キ定ムル割合ニ比シ相當ナル程度ノ低キ割合ニテ計算スヘキモノトス

四年一二〇號 五年四月二四日宣告 (五年六一九頁)

○東京市ニ於ケル所得稅附加稅ヲ納付スルノ故ヲ以テ横手町ニ於テ受クル所得ヲ同町稅戶數割賦課ノ資力算定標準ト爲スコトヲ妨ケス

五年一九五號 五年一月二〇日宣告 (五年一四三七頁)

○縣稅戶數割ノ賦課算定ニ付資産ノ狀況ニ依ル資力算定カ各納稅義務者ノ資産ノ狀況ニ相應セサル場合ニ於テハ該賦課ハ違法錯誤アルモノトス

五年二八〇號 六年九月一二日宣告 (六年八四二頁)

○特別稅戶數割ノ納稅義務者ノ資産狀況ヲ算定スルニ當リ負債カ比較的利ナルコト竝其ノ辨濟方法カ右負

同

同

同

同

債ニ依リ得タル資金ヲ投資シタル株式ノ配當毎ニ配當金ヲ以テ爲スニアルコトヲ考慮シ負債額以下ニ於テ相當ノ現價ヲ評定シテ之ヲ控除スルハ相當ナルモ僅ニ負債額三割ヲ控除シ資産ノ狀況ヲ算定シタルハ失當ナリ

五年一三三號 六年一〇月三一日宣告 (六年一〇〇〇頁)

○町村長カ各納稅義務者ノ所得額ノ換算簡數ニ比準シ其ノ簡數以下ニ於テ適宜認定シタル資産狀況ノ換算簡數ハ反證ナキ限り各納稅義務者ノ資産狀況ニ適合セサルモノト認ムヘキモノトス  
商工業者カ農業者ニ比シ經濟上打撃ヲ受ケタルコト多シトノ漫然タル理由ニ依リ或大字ノ納稅義務者ノ資力換算簡數ヲ減シ他ノ大字納稅義務者ノ資力換算簡數ヲ増加シ其ノ修正理由及修正額ノ正當ナルコトニ付何等立證ナキ算定ハ正當ト認ムルコトヲ得ス

六年七六號 六年一二月二六日宣告 (六年一三五三頁)

○町稅特別稅戶數割ヲ賦課スル場合ニ於ケル課稅ノ一タル資産狀況ノ算定ニ當リ負債ノ額ヲ控除セサルハ違法ナリ

五年二二一號 七年一月二六日宣告 (七年二頁)

七年三〇五號 八年一月一六日宣告 (八年一〇六九頁)

九年九〇號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年六〇九頁)

八年一六五號 一五年七月四日宣告 (一五年三七七頁)

一〇年一一七號 一五年七月二二日宣告 (一五年四八九頁)

一三年一九一號 一五年一月二二日宣告 (一五年七二五頁)



同

○戸數割ハ納稅義務者ノ所得及資産其ノモノニ對スル課稅ト解スヘキモノニ非ス

六年八九號 七年五月五日宣告 (七年三八九頁)

○戸數割ノ賦課額ヲ定ムルニ當リ原告ト生計ヲ共ニスル同居者ニ非サル者ノ所得ヲ原告ノ所得ニ加算シタルノミナラス他人ノ所有ニ屬スル田畑ヲ原告ノ資産ト看做シテ爲シタル戸數割ノ賦課ハ違法ニシテ且反證ナキ限り過當ナリト認メサルヲ得ス

六年二四四號 七年六月三日宣告 (七年五八八頁)

○異議申立ノ決定又ハ訴願ノ裁決ニ依リ戸數割ノ賦課カ違法アリトシテ取消サレタル場合ニ於テ他ノ異議申立又ハ訴願ヲ爲ササル者ニ對スル賦課ヲモ全部同時ニ取消シ改メテ賦課ヲ爲サザルモ違法ニ非ス

五年六六號 七年七月二日宣告 (七年七〇八頁)

○戸數割ノ賦課ヲ爲スニ當リ各納稅義務者ノ資産ノ狀況ニ付具體的調査ヲ爲ササリシトスルモ實質上其ノ賦課額カ過當ニ非サル限り之ヲ以テ直ニ該賦課ヲ取消ス理由ト爲スニ足ラス

五年六六號 七年七月二日宣告 (七年七〇八頁)

一二年八七號 一三年四月二日宣告 (一三八頁)

○戸數割ノ課稅標準タル資産狀況ノ算定ニ關スル違法アルカ爲賦課額カ各納稅義務者ノ資力ニ相應スルモノニ非スト認ムヘキ場合ニ於テモ原告ニ對スル賦課カ過當ニ非サル限り之ヲ取消スヘキモノニ非ス

六年一七〇號 七年一〇月一日宣告 (七年八二四頁)

○秋田縣北秋田郡鷹巢町稅特別稅戶數割資力算定方法第一條第二項「戸數割納稅義務者ト同一ノ戸籍内ニアリ本町ニ營業所又ハ取扱所ヲ置クモノノ資産ニシテ他市町村ニ於テ戸數割ノ賦課標準ニ算入セラレサルモ

同

同

同

同

同

同

同

同

ノハ之ヲ其ノ納稅義務者ノ資産狀況ト看做スルノ規定ハ大正十五年地方税ニ關スル法律並同年地方税ニ關スル法律施行ニ關スル勅令ノ規定ニ違反スル無効ノモノトス

四年二三〇號 八年三月一日宣告 (八年一五二頁)

○町村ニ於ケル大多數ノ納稅義務者カ一定ノ所得額以下又ハ單ニ負擔ノ公平ヲ缺クト認ムトノ理由ヲ以テ他ニハ其ノ資産ナキ者ト認ムヘキ事由ナキニ拘ラス全然資産狀況ヲ標準トスル資力ナキ者ト爲シ此等ノ者ニ對シテ資産狀況ヲ標準トスル負擔ヲ爲サシメサルハ納稅義務者ノ資力ヲ其ノ所得額ト資産ノ狀況トニ依リ算定セサル違法アルモノニシテ之カ爲反證ナキ限り右納稅義務者以外ノ納稅義務者ノ戸數割稅額ハ過重ト爲ルモノト認ムヘキモノトス

七年二五〇號 九年七月二日宣告 (九年六七六頁)

○戸數割ノ賦課標準タル納稅義務者ノ資力算定ニ關スル規程ニ於テ同族會社ノ代表者ニ付テハ其ノ個人ノ資産ト同族會社ノ資産トヲ一體ヲ爲スモノト看做シ之ヲ基礎トシテ其ノ資産狀況ニ依ル資力ヲ算定スヘク代表者ニ非サル者ニ付テハ其ノ同族會社ニ對スル出資以外ノ資産ト同族會社ノ資産トハ一體ヲ爲スモノト看做サス單ニ同族會社ニ對スル其ノ出資ト然ラサル資産トヲ基礎トシテ其ノ資産狀況ニ依ル資力ヲ算定スヘキモノト爲ス趣旨ノ規定ヲ定ムルコトハ違法ニ非ス

七年一四九號 九年一月二日宣告 (九年一〇七三頁)

七年一八四號 九年一月二日宣告 (九年一一一三頁)

財務 地方税ニ關スル法律



○恩給ハ終身定期金ナルヲ以テ各受給者ノ年齢其ノ他ノ條件ヲ考慮シテ其ノ權利ノ相當ナル現價ヲ算定シ之ヲ戸數割ノ賦課標準タル資産狀況ニ依ル資力ニ算入スルモ違法ニ非ス  
受給者ノ年齢其ノ他ノ條件ヲ考慮セス單ニ恩給年額ノ五倍ニ相當スル金額ヲ以テ恩給權ノ資産額ト看做ス算定方法ハ違法ナリ  
年齢五十五歳ノ受恩給者ノ恩給權ノ現價ヲ其ノ恩給年額ノ五倍ニ相當スル金額ニ算定スルハ不當ニシテ其ノ額ハ過當ト認ムヘキモノトス  
八年一五七號 九年一月二日宣告(九年一〇九六頁)

○戸數割納稅義務者ノ資力算定ニ關スル規程ニ於テ納稅義務者ノ出資カ同族會社ニ對スルモノナルト同族會社ニ非サルモノニ對スルモノナルトニ依リテ異ナル算定ノ規定ヲ定メ同族會社ニ對スル出資ヲ相當高額ニ算定スルコトハ必シモ失當ト爲スヲ得然レトモ同族會社ノ代表者ノ出資ヲ之カ算定ニ關スル規定ヲ適用シテ算定シタル資力ヲ課稅標準トシテ爲シタル戸數割ノ賦課額カ右同族會社ノ營業ヲ會社營業トセス個人ニテ營ムモノト假定シ個人營業者ニ關スル資力算定標準ヲ適用シテ算定シタル右代表者ノ資力ヲ課稅標準トシテ爲シタル戸數割ノ賦課額ヨリ多額ナルカ如キ結果ヲ來スヘキ趣旨ノ規定ハ違法ナリ  
七年一八八號 九年一月二日宣告(九年一一一三頁)

○戸數割納稅義務者ノ資産狀況ニ依ル資力ヲ算定スルニ當リ何等ノ具體的標準ニ依ラス漫然狀況斟酌トシテ一部ノ者ニ對シテハ資産價額ヲ増額シ他ノ者ニ對シテ之ヲ減額スルカ如キハ違法ニシテ之ニ基キ算定セラレタル賦課額ハ資産價額ヲ増額シタル者ニ對シテハ不當ニ過重ト爲ルモノト認ムルヲ相當トス  
五年二四八號 一〇年三月九日宣告(一〇年一三〇頁)

○市税特別税戸數割賦課ノ標準タル資力算定ノ基本タル各納稅義務者ノ所得額及資産ノ狀況ハ遺漏ナク具體的且正確ニ之ヲ調査シ以テ各人ノ負擔ヲシテ各其ノ資力ニ相應セシムルコトヲ要ス

- 一〇年一三二號 一二年四月一六日宣告(一二年一六七頁)
- 一〇年一五〇號 一二年四月一六日宣告(一二年一七二頁)

○市税特別税戸數割賦課ニ當リ各人ノ資産狀況ヲ具體的ニ調査セス達觀的ニ之ヲ定メ俸給生活者ニ對シテハ相當ノ資産ヲ有スルニ拘ラス大體ニ於テ其ノ資産ノ狀況ニ依ル賦課額ヲ金十錢ト爲シタルハ地方税ニ關スル法律第二十五條ノ法意ニ反スルノミナラス俸給生活者ニ非サル納稅義務者ノ資産狀況ニ依ル賦課總額ヲ過當ナラシムルハ必然ナルヲ以テ該納稅義務者ノ賦課額ハ反證ナキ限り過重ナリト認メサルヲ得ス

- 一〇年一三二號 一二年四月一六日宣告(一二年一六七頁)
- 一〇年一五〇號 一二年四月一六日宣告(一二年一七二頁)

○特別税戸數割ノ賦課額ヲ算定スルニ當リ恩給年金等ハ各受給者ニ就キ年齢其ノ他ノ條件ヲ考慮シテ其ノ權利ノ相當ナル現價ヲ算定シ之ヲ課稅標準タル資産額ト爲スハ格別之ヲ一律ニ受給額ノ十倍ニ相當スル額ヲ以テ資産ニ算定スルハ違法ナリ

勤勞ニ對スル收入ヲ所得ニ計上スル外更ニ該收入ヲ資産ト見積リ其ノ一圓ヲ二十八圓餘ノ資産ト算定シテ之ヲ資産ノ狀況ニ依ル課稅標準ト爲スハ違法ナリ  
資産ノ増殖アル場合之ヲ増殖資産トシテ計上スルノ外更ニ之ヲ増殖資力トシテ増殖金一圓ヲ三十圓餘ニ見積リ課稅標準タル資産ニ算定スルハ違法ナリ

- 六年一八〇號 一二年七月一四日宣告(一二年三六〇頁)



同

一〇年一一七號 五年七月二日宣告 (一五年四八九頁)

○納稅義務者ト別居セル者ノ資産ヲ同人ノ資産ニ加算シテ爲シタル資産狀況ノ算定ハ違法ナリ

六年一八〇號 一一年七月一四日宣告 (一二年三六〇頁)

九年九〇號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年六〇九頁)

○納稅義務者ノ負債額アリト認ムヘキ證憑ナキ場合ニ之ヲ納稅義務者ノ資産ヨリ控除シテ資力ヲ算定スルハ違法ナリ

六年一八〇號 一一年七月一四日宣告 (一二年三六〇頁)

九年九〇號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年六〇九頁)

○戸數割納稅義務者ニシテ其ノ資産ナク又ハ資産アルモ其レ以上ノ負債額ヲ有セリト認ムヘキ事由ナキニ拘ラス此等ノ者ニ對シテ資産狀況ヲ標準トスル負擔ヲ爲サシメサル納稅ハ義務者ノ資力ヲ其ノ所得額ト資産ノ狀況トニ依リ算定セサル違法アルモノニシテ之カ爲反證ナキ限り右納稅義務者以外ノ納稅義務者ノ稅額ハ過重ト爲ルモノト認ヘキモノトス

一一年九一號 一三年一月一三日宣告 (一三年一頁)

○勤勞ニ依ル收入ヲ所得額ニ依ル資力算定ノ標準ト爲ス外更ニ該收入ヲ資産ト見積リ資力算定ノ標準ト爲スハ違法ナリ

八年一四二號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年五九八頁)

九年九〇號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年六〇九頁)

七年一七三號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年六二八頁)

八年一六五號 一五年七月四日宣告 (一五年三七七頁)

○資産ノ増殖アル場合ニ之ヲ資産トシテ計上スル外更ニ増殖資力トシテ資産ノ狀況ニ依ル資力算定ノ標準ト爲スハ違法ナリ

八年一四二號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年五九八頁)

九年九〇號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年六〇九頁)

七年一七三號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年六二八頁)

八年一六五號 一五年七月四日宣告 (一五年三七七頁)

自家製肥料、薪炭、家畜、雜物及他ノ物ニ利用シ又ハ消費セシモノノ價值ヲ見積リタルモノヲ以テ「其ノ他ノ資源」ト爲シ之ヲ資産ノ狀況ニ依ル資力算定ノ標準ト爲スハ違法ナリ

八年一四二號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年五九八頁)

九年九〇號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年六〇九頁)

七年一七三號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年六二八頁)

八年一六五號 一五年七月四日宣告 (一五年三七七頁)

○納稅義務者ト同居シ其ノ生計ヲ共ニスル者ノ資産ヲ納稅義務者ノ資産ニ加算シテ其ノ資産ノ狀況ニ依ル資力ヲ算定スルハ違法ニ非ス

九年九〇號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年六〇九頁)

五年一〇九號 一四年五月二〇日宣告 (一四年三七九頁)

九年九〇號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年六〇九頁)

七年一七三號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年六二八頁)

○恩給年金等ヲ受クル權利ヲ其ノ一ヶ年ノ受給額ヲ以テ現價ト算定シ之ヲ資産ノ狀況ニ依ル資力算定ノ標準ト爲スハ違法ニ非ス

九年九〇號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年六〇九頁)

五年一〇九號 一四年五月二〇日宣告 (一四年三七九頁)

九年九〇號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年六〇九頁)

七年一七三號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年六二八頁)

○納稅義務者カ他人ニ所有權ヲ移轉シ登記ヲ了シタル家屋ハ之ニ付假令自ラ家屋稅ヲ納付シ又ハ家屋稅賦課調査書ニ捺印シタル事實アリトスルモ之ヲ其ノ納稅義務者ノ所有財産トシテ其ノ資産中ニ加算スルコトヲ得サルモノトス

九年九〇號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年六〇九頁)

五年一〇九號 一四年五月二〇日宣告 (一四年三七九頁)

九年九〇號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年六〇九頁)

七年一七三號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年六二八頁)

○納稅義務者カ他人ニ所有權ヲ移轉シ登記ヲ了シタル家屋ハ之ニ付假令自ラ家屋稅ヲ納付シ又ハ家屋稅賦課調査書ニ捺印シタル事實アリトスルモ之ヲ其ノ納稅義務者ノ所有財産トシテ其ノ資産中ニ加算スルコトヲ得サルモノトス

九年九〇號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年六〇九頁)

五年一〇九號 一四年五月二〇日宣告 (一四年三七九頁)

九年九〇號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年六〇九頁)

七年一七三號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年六二八頁)

○納稅義務者カ他人ニ所有權ヲ移轉シ登記ヲ了シタル家屋ハ之ニ付假令自ラ家屋稅ヲ納付シ又ハ家屋稅賦課調査書ニ捺印シタル事實アリトスルモ之ヲ其ノ納稅義務者ノ所有財産トシテ其ノ資産中ニ加算スルコトヲ得サルモノトス

九年九〇號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年六〇九頁)

五年一〇九號 一四年五月二〇日宣告 (一四年三七九頁)

九年九〇號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年六〇九頁)

七年一七三號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年六二八頁)

○納稅義務者カ他人ニ所有權ヲ移轉シ登記ヲ了シタル家屋ハ之ニ付假令自ラ家屋稅ヲ納付シ又ハ家屋稅賦課調査書ニ捺印シタル事實アリトスルモ之ヲ其ノ納稅義務者ノ所有財産トシテ其ノ資産中ニ加算スルコトヲ得サルモノトス

九年九〇號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年六〇九頁)

五年一〇九號 一四年五月二〇日宣告 (一四年三七九頁)

九年九〇號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年六〇九頁)

七年一七三號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年六二八頁)

○納稅義務者カ他人ニ所有權ヲ移轉シ登記ヲ了シタル家屋ハ之ニ付假令自ラ家屋稅ヲ納付シ又ハ家屋稅賦課調査書ニ捺印シタル事實アリトスルモ之ヲ其ノ納稅義務者ノ所有財産トシテ其ノ資産中ニ加算スルコトヲ得サルモノトス

九年九〇號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年六〇九頁)

五年一〇九號 一四年五月二〇日宣告 (一四年三七九頁)

九年九〇號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年六〇九頁)

七年一七三號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年六二八頁)

○納稅義務者カ他人ニ所有權ヲ移轉シ登記ヲ了シタル家屋ハ之ニ付假令自ラ家屋稅ヲ納付シ又ハ家屋稅賦課調査書ニ捺印シタル事實アリトスルモ之ヲ其ノ納稅義務者ノ所有財産トシテ其ノ資産中ニ加算スルコトヲ得サルモノトス

九年九〇號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年六〇九頁)

五年一〇九號 一四年五月二〇日宣告 (一四年三七九頁)

九年九〇號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年六〇九頁)

七年一七三號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年六二八頁)

○納稅義務者カ他人ニ所有權ヲ移轉シ登記ヲ了シタル家屋ハ之ニ付假令自ラ家屋稅ヲ納付シ又ハ家屋稅賦課調査書ニ捺印シタル事實アリトスルモ之ヲ其ノ納稅義務者ノ所有財産トシテ其ノ資産中ニ加算スルコトヲ得サルモノトス

九年九〇號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年六〇九頁)

五年一〇九號 一四年五月二〇日宣告 (一四年三七九頁)

九年九〇號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年六〇九頁)

七年一七三號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年六二八頁)



五年 一九一九 一四年五月二〇日宣告 (一四年三七九頁)  
二〇四

○福島縣石城郡平町ニ於ケル昭和七年分町税特別税戸數割ノ賦額算定ノ基礎ト爲リタル資産狀況ニ依ル資力算定率表ニ於テ定ムル各資産ノ箇數換算方法ハ甚々急激ナル累進率ヲ採用シ從テ之ニ依リ算定セル賦額ハ納稅義務者ノ資力ニ相應セサル結果ヲ來スモノニシテ違法ナリ

八年 一六五號 一五年七月四日宣告 (一五年三七七頁)

一〇年 一一七號 一五年七月二二日宣告 (一五年四九八頁)

○戸數割ノ課稅標準タル所得ノ算定ニ關スル町村ノ規定ニシテ他町村所在ノ田畑宅地山林ニモ同一ノ率ヲ適用シテ不動産ヨリ生スヘキ所得ヲ算定スヘキ旨ノ規定ハ一般的ニハ違法ナリト雖モ之ヲ適用スルモ賦課カ過當ナラサル場合ハ該賦課ヲ取消スノ理由ト爲スニ足ラス

一一年 二一九號 一五年七月一三日宣告 (一五年三九四頁)

一二年 二一八號 一五年七月一三日宣告 (一五年四二〇頁)

○納稅義務者カ之ト同居セサル者ノ資産ヲ利用シ居ラサルニ拘ラス其ノ利用價值ヲ加算シテ爲シタル納稅義務者ノ資産ノ狀況ニ依ル資力ノ算定ハ違法ナリトス

資産ノ狀況ニ依ル資力算定ニ付負債ナキニ拘ラス之ヲ積極財産ノ價格ヨリ控除スルハ違法ナリトス

一三年 一九一號 一五年二月二日宣告 (一五年七二五頁)

○軍人ノ個々ノ資産ヲ具體的ニ調査スルコトナク専ラ軍人ノ階級毎ニ一定ノ見立點數ヲ定メ之ヲ標準トシテ資産ノ狀況ニ依ル資力ヲ算定スルハ違法ナリトス

同

同

同

同

大正十五年  
法律第二十  
四號  
附則  
第四項

第一條

第二條

戸數割賦課期日當時現ニ支給ヲ停止セラレ居リ且不定期間中支給ヲ停止セラレ居ル恩給權ハ戸數割ノ課稅標準タル資産トシテハ無價值ナルモノト認ムルヲ相當トス

一五年 五二號 一五年二月四日宣告 (一五年七九三頁)

○府縣制第九條ニ基キ縣稅賦課規則ニ依リ市町村會ノ議決シタル縣稅家屋稅賦課標準ノ細目ニ於テ建物ノ地位ニ依ル負擔箇數カ建物ノ構造用途ニ依ル負擔箇數ニ比シ重キノ事實アリトスルモ之ヲ以テ直ニ家屋稅ノ趣旨ニ反スルモノト認ムルヲ得ス

二年 二九二號 三年六月二日宣告 (三年七四七頁)

40 ●地方税ニ關スル法律施行ニ關スル件

(大正十五年勅令第三百三十九號 昭和十五年勅令第九十八號ニ依リ廢止)

○家屋ノ用途ニ從ヒ使用スル爲ニ施設セラレタル門ハ家屋稅ニ關スル限り其ノ對象タル家屋ニ包含セラルルモノトス

九年 一三二號 一二年六月三〇日宣告 (一二年三二二頁)

○大正十五年法律第二十四號地方税ニ關スル法律第九條及同年勅令第三百三十九號地方税ニ關スル法律施行ニ關スル件第二條ニ所謂家屋ノ賃貸價格トハ家屋ノ賃貸料トシテ家主ノ收得スヘキ通俗ニ所謂家賃ノ總額ヨリ家屋ノ敷地庭園等ノ賃貸料タル通俗ニ所謂地代ニ相當スル額ヲ控除シタル殘額ノ義ト解スヘキモノトス

六年 三九號 七年二月二七日宣告 (七年一二四二頁)

五年 三二五號 八年四月一日宣告 (八年二五五頁)

六年 七〇號

財務 地方税ニ關スル法律施行ニ關スル件



同

八年二四五號 九年一月二四日宣告 (九年九九九頁)  
四年四八八號 一三年七月一九日宣告 (一三年四八三頁)

○豫メ一定ノ準則ヲ設ケ之ヲ各家屋ニ適用シテ其ノ賃貸價格ヲ算定スルハ實際ヲ離レタル架空ノ算定ナリト謂フコトヲ得ス從テ違法ニ非ス

家屋ノ賃貸價格ヲ算定スルニ當リ之ニ附屬セル庭園ノ設備ヲ斟酌スルハ違法ニ非ス  
六年二一五號 八年一〇月三日宣告 (八年六九八頁)

○家屋ヲ其ノ用途ニ從ヒ使用スル爲通常家屋又ハ其ノ敷地ニ施設附屬セシメタル設備器具ニシテ借家人ノ所有ニ屬セス家屋ノ所有者ニ於テ借家人ノ使用ニ供シタルモノハ家屋税ニ關スル限リ其ノ對象タル家屋ニ包含セラルルモノト解スルヲ相當トス  
六年三六〇號 九年一月二四日宣告 (九年九七八頁)  
四年四八八號 一三年七月一九日宣告 (一三年四八三頁)

同

○家屋税ハ家屋ニ關スル公ノ負擔ニシテ大正十五年勅令第三百三十九號地方税ニ關スル法律施行ニ關スル件第二條ニ所謂公課ニ外ナラス  
火災保險料ハ公課ニ非ス又家屋ノ維持ニ必要ナル經費ト認ムヘキモノニ非スト雖モ火災保險ニ付シタル爲ニ家屋其ノモノノ利用價值ヲ増加スルモノニ非サルヲ以テ家屋賃貸價格ヲ算定スルニ當リテハ火災保險料ハ通俗ニ所謂家賃ヨリ控除スヘキモノニ非スト解スルヲ相當トス  
六年三六〇號 九年一月二四日宣告 (九年九七八頁)

同

○家屋ニ備付ケタル疊建具其ノ他ノ雜作カ家屋所有者以外ノ者ノ所有ニ屬スル場合ニ於テハ右雜作ノ賃貸料ニ相當スル金額ハ之ヲ地方税ニ關スル法律施行ニ關スル勅令第二條ニ所謂家屋ノ賃貸價格ニ包含セシムヘ

同

カラサルモノト解スヘキモノトス

八年二四五號 九年一月二四日宣告 (九年九九九頁)

○家屋税ノ課稅標準タル家屋ノ賃貸價格ハ該家屋ノ修繕費ヲ包含シタルモノトス  
九年一三二號 一一年六月三〇日宣告 (一一年三二一頁)

同

○家屋税ノ課稅標準タル家屋ノ賃貸價格算定ノ爲ニ家賃ヨリ控除スヘキ敷地ノ賃貸價格ハ地租ノ課稅標準タル土地ノ賃貸價格タルヘキ旨ノ特別ノ規定アルカ若ハ地租ノ課稅標準タル土地ノ賃貸價格カ家屋ノ賃貸價格算定ノ時ニ於テモ變動ナキコトヲ認ムルニ足ル事實アルニ非サレハ地租ノ課稅標準タル土地ノ賃貸價格ヲ以テ家屋ノ賃貸價格算定ノ爲ニ家賃ヨリ控除スヘキ敷地ノ賃貸料ト解スヘキモノニ非ス  
八年二三號 一二年二月九日宣告 (一二年二九頁)  
八年一一五號 一二年二月二七日宣告 (一二年七一一頁)

同

○家屋ノ造作ノ賃貸價格ハ之ヲ家屋ノ賃貸價格ニ包含セシメサル趣旨ノ行政實例ハ大正十五年法律第二十四號地方税ニ關スル法律第九條並大正十五年勅令第三百三十九號地方税ニ關スル法律施行ニ關スル件第二條ノ規定ニ違背シ不法ノモノトス  
八年二三號 一二年二月九日宣告 (一二年二九頁)  
八年一一五號 一二年二月二七日宣告 (一二年七一一頁)

同

○家屋賃貸價格ハ造作ノ賃貸價格ヲ控除シテ算定スヘキ旨ノ神戸市家屋賃貸價格調査内規第一條ノ規定ハ大正十五年法律第二十四號地方税ニ關スル法律第九條並大正十五年勅令第三百三十九號地方税ニ關スル法律施行ニ關スル件第二條ノ規定ニ違背シ不法ナリ

財務 地方税ニ關スル法律施行ニ關スル件



同

八年一八九號 一二年二月九日宣告 (一二年四二頁)

○地方税ニ關スル法律施行ニ關スル勅令第二條ハ家屋税ノ課税標準ト爲スヘキ家屋賃賃價格ノ意義及内容ヲ定メタルニ止マリ其ノ算定方法ヲ定メタルモノニ非ス

一〇年三一五號 一三年四月二三日宣告 (一三年二二四頁)

○家屋税ノ課税標準タル家屋ノ賃賃價格ヲ改訂スヘキ年度ノ四月一日以後ニ於ケル家屋ノ異動ニ因リ家屋ノ賃賃價格ヲ改訂シタル場合ニ於テハ家屋ノ異動アリタル年度ノ翌年度分ヨリ改訂賃賃價格ヲ家屋税ノ課税標準トスヘキモノトス

九年二七八號 一二年五月六日宣告 (一二年二二九頁)  
十年六二號

第四條

○大正十五年勅令第三百三十九號第四條ニ依ル家屋税ハ家屋ノ收益ノミヲ標準トシテ課スヘキモノニ非ス

四年一一三號 五年五月六日宣告 (五年六八五頁)

四年一九〇號 五年五月六日宣告 (五年六九〇頁)

第十七條  
第一項

○法令中船舶法ニ所謂日本船舶ニ限リ雜種税船舶又ハ船税附加税ヲ賦課スル旨ノ規定ナキニ依リ船舶カ關東州大連市ニ本店ヲ有スル會社ノ所有ニ係リ明治四十四年關東都督府令第三十五號關東州船籍令第一條ニ所謂日本船舶ニシテ船舶法ニ所謂日本船舶ニ非サルノ故ヲ以テ該船舶ニ對スル縣稅雜種税船舶並市稅雜種税附加税ノ賦課ヲ違法ト爲スヲ得ス

船舶ニ對シ昭和五年關東廳令第三十二號關東州雜種税規則ニ依リ適法ニ船税ヲ賦課セラレタルノ故ヲ以テ該船舶ニ對シ同一年度ニ於テ府縣稅雜種税船舶並市稅雜種税附加税ヲ賦課スルハ違法ナリト云フヲ得ス

同  
第三號

六年一〇四號 七年七月二一日宣告 (七年七三七頁)

○大正十五年勅令第三百三十九號地方税ニ關スル法律施行ニ關スル件第十七條ニ所謂水車トハ流水ノ勢力ヲ利用シテ動力ヲ起ス装置ヲ指スモノト解スルヲ相當トス從テ發電用水車ニ對シ縣稅雜種税水車税ヲ賦課シタルハ違法ニ非ス

七年一一七號乃至一二一號 八年一一月七日宣告 (八年八八八頁)

七年一二二號 八年一一月七日宣告 (八年八九六頁)

○一般ニ公益ノ目的ニ專用スル物件ニ對シ之ヲ課税外ト爲スヘキ原則ハ存在セサルヲ以テ縣稅賦課規則ニ於テ一般ニ金庫ニ對シ雜種税タル金庫税ヲ賦課スル旨規定シ公益ノ目的ニ專用スル金庫ニ付之ヲ課税外トスル旨ノ規定ナキ以上公益ノ目的ニ專用スル金庫ニ對シ雜種税金庫税ヲ賦課スヘキモノニ非スト爲スヲ得ス

一〇年九八號 一〇年七月二〇日宣告 (一〇年六九九頁)

○大正十五年法律第二十四號地方税ニ關スル法律及同年勅令第三百三十九號同法施行ニ關スル件ニ依リ府縣カ不動産取得税ヲ賦課徵收スルコトヲ得ルニ至レルノ故ヲ以テ市カ不動産取得ニ付市稅特別税ヲ賦課スルコトヲ得サルニ至リタリト解スルヲ得ス

四年四七三號 五年三月一三日宣告 (五年四五五頁)

○雜種税不動産取得税ハ不動産ノ所有權ノ取得アリタル場合ニ限リ之ヲ賦課スルヲ得ルモノトス從テ長期存續期間ノ定アル地上權ト雖モ法令ニ特別ノ規定ナキ限り其ノ取得ヲ以テ土地所有權ノ取得ト看做シ不動産取得税ヲ賦課スルヲ得サルモノトス



同

○大正十五年法律第二十四號地方税ニ關スル法律同年勅令第三百三十九號地方税ニ關スル法律施行ニ關スル件及同年内務大藏省令地方税ニ關スル法律施行規則ノ施行後ト雖モ成文ヲ以テ明治二十八年大阪府條例第一號特別稅步一税ニ關スル細則カ廢止セラレサル限リ不動産取得ニ對シ之ヲ適用シ大阪府特別稅步一税ヲ賦課スルモ違法ニ非ス

九年三二八號 一〇年七月二三日宣告 (一〇年七〇五頁)

第十九條

○昭和七年七月十五日附内務省發地第五十三號内務省地方局長及大藏省主稅局長電柱税ノ賦課ニ關スル件依命通牒ハ大正十五年勅令第三百三十九號地方税ニ關スル法律施行ニ關スル件第十九條ノ委任ニ基ク法規ニ非スシテ單ニ内務大臣及大藏大臣ノ監督權ニ基キ電柱税賦課ニ關シ地方長官ニ對シテ爲シタル訓令ニ過キサルモノトス從テ愛媛縣縣稅賦課徵收條例第二十六條ノ規定カ假令右通牒ニ違背スルモ地方税ニ關スル法令ニ違反セサル限リ之ヲ違法ナリト謂フヲ得ス

九年一二七號 九年七月一二日宣告 (九年五七五頁)

同

○昭和七年七月十五日附内務省發地第五十三號内務省地方局長及大藏省主稅局長電柱税ノ賦課ニ關スル件依命通牒ハ大正十五年勅令第三百三十九號地方税ニ關スル法律施行ニ關スル件第十九條ノ委任ニ基ク法規ニ非スシテ單ニ内務大臣及大藏大臣カ其ノ監督權ニ基キ電柱税賦課ニ關シ地方長官ニ對シテ爲シタル訓令ニ過キス從テ電柱税ノ賦課カ假令右通牒ニ違背スルモ地方税ニ關スル法令並ニ當該府縣ノ府縣令ニ違背セサル限リ之ヲ違法ト謂フヲ得ス

八年三六五號 九年一〇月一八日宣告 (九年八五四頁)

第二十一條

○村稅戶數割ノ資産ノ狀況ニ依ル配當額ノ算定ニ付其ノ額ト所得額ニ依ル配當額トノ合計金額カ村會ノ見ル所ニ依リ各納稅義務者ノ負擔力ニ應スルカ如ク配當シタルハ大正十五年法律第二十四號地方税ニ關スル法律第二十五條並同年勅令第三百三十九號同法施行ニ關スル件第二十一條及同附則第六項ニ違背スルモノトス

三年九四號 三年七月一九日宣告 (三年一二三四頁)

第二十二條

○戶數割ノ賦課額ヲ定ムルニ當リ原告ト生計ヲ共ニスル同居者ニ非サル者ノ所得ヲ原告ノ所得ニ加算シタルノミナラス他人ノ所有ニ屬スル田畑ヲ原告ノ資産ト看做シテ爲シタル戶數割ノ賦課ハ違法ニシテ且反證ナキ限リ適當ナリト認メサルヲ得ス

六年二四四號 七年六月三〇日宣告 (七年五八八頁)

○所得ニ依ル賦課額ヲ定ムルニ當リ納稅義務者ト別居セル者ノ資産ヨリ生スル所得ヲ加算シテ賦課額ヲ算定セルハ違法ナリ

六年一八〇號 一一年七月一四日宣告 (一一年三六〇頁)

○納稅義務者ト同居セサル者ノ資産ヨリ生スル所得額ヲ加算シテ納稅義務者ノ所得額ヲ算定スルハ違法ナリ

九年九〇號 一三年一〇月一三日宣告 (一三年六〇九頁)

一三年一九一號 一五年一二月一二日宣告 (一五年七二五頁)

○納稅義務者ト生計ヲ共ニスル同居者ノ所得ハ其ノ納稅義務者ノ所得中ニ加算スヘキモノトス

五年一九九號 一四年五月二〇日宣告 (一四年三七九頁)

二〇四

財務 地方税ニ關スル法律施行ニ關スル件



第二十三條

○町村制百條第一項ノ規定ハ町村ハ納稅義務者ノ町村外ニ於テ所有スル土地家屋ノ收入ニ付テハ其ノ收入其ノモノニ對スル町村税ヲ賦課シ得サルコトヲ定メタルモノトス從テ戶數制納稅義務者ノ住所地町村外ニ於テ納稅義務者ノ所有スル土地家屋ヨリ生スル所得ヲ戶數制賦課ノ標準タル賣力ヲ算定スヘキ所得中ニ加算シ戶數制ヲ賦課スルハ前示規定ニ違背スルモノト爲スヲ得ス

六年八九號 七年五月五日宣告 (七年三八九頁)

同

○或ル市ニ於テ住所ヲ有セス權戶及三月以上ノ滞在アルニ過キサル者ニ對シ同市カ特別稅戶數制ヲ賦課スルニ當リテハ其ノ者ノ同市以外ニ於テ生スル所得ヲ賦課額算定ノ標準ト爲スコトヲ得サルモノトス

九年三〇四號 一〇年七月二〇日宣告 (一〇年六五七頁)

一五年五二號 一五年一月二四日宣告 (一五年七九三頁)

同

○一ノ村ニ住所ヲ有シ他ノ村ニ三箇月以上滞在ノ事實アル者ニ對シ住所地村ニ於テ戶數制ヲ賦課スルニ當リ其ノ課稅標準タル所得並資産狀況中ニ其ノ者ノ滞在地ニ於ケル所得並資産ノ狀況ヲ算入シタルハ違法ナリ

一〇年九六號 一〇年一〇月八日宣告 (一〇年七九三頁)

第二十五條

○地方税ニ關スル法律施行ニ關スル件第二十五條第二項但書ニ「賦課後」トアルハ各其ノ徵收期ノ徵稅令書ヲ發布シタル後ノ義ナリト解スヘキモノトス

四年一五七號 四年一月二日宣告 (四年一二九八頁)

七年二五一號 八年五月三〇日宣告 (八年四〇六頁)

六年二一三號 八年六月二七日宣告 (八年四七四頁)

七年一八六號 八年七月一日宣告 (八年五〇一頁)

七年二二八號 八年七月一日宣告 (八年五〇六頁)

八年一八一號 八年一〇月一四日宣告 (八年七七四頁)

一二年一七九號 一二年一月九日宣告 (一二年四四六頁)

一二年一九九號 一二年一月一八日宣告 (一二年四六三頁)

一三年七五號 一三年七月二一日宣告 (一三年五〇七頁)

一三年七九號 一三年七月二一日宣告 (一三年五二七頁)

第二十六條

○大正十五年勅令第三百三十九號地方税ニ關スル法律施行ニ關スル件第二十六條ハ當該市町村長ニ同條所定ノ通報ヲ爲スヘキコトヲ命シタルニ止マリ通報ヲ受ケサル場合ニ住所地市町村長ニ於テ納稅義務者ノ他市町村ニ於テ生スル所得ヲ其ノ賣力ニ算入シ之ヲ課稅標準トシテ戶數制ヲ賦課スルコトヲ禁スル趣旨ノ規定ト解スヘキモノトス

八年二一四號 九年九月二七日宣告 (九年八〇三頁)

第二十七條

○町村カ臨時地方財政補給金ノ交付ニ由リ減稅セラルヘキヲ豫想シ内務大藏兩大臣又ハ府縣知事ノ許可ヲ受クルノ手續ヲ爲サシテ戶數制ノ制限外課稅タル前期分ノ賦課ヲ爲シタル後右補給金ノ交付アリタル爲町村會ニ於テ戶數制ノ總額ヲ更正シ同稅後期分ヲ賦課セサルコトト爲リタル結果戶數制總額カ制限内ト爲リタリトスルモ之カ爲制限外ノ稅額ヲ含ム戶數制總額ノ半額タル右前期分ノ賦課ノ違法性ヲ阻却スルモノト云フヲ得ス

一三年一九六號 一四年三月二三日宣告 (一四年二四五頁)



大正十五年  
勅令第三三  
九號  
第六項則

○町村ニ於テ戸數割總額カ當該年度ノ町村稅豫算總額ノ百分ノ七十ヲ超過シタルニ拘ラス内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受ケスシテ該戸數割總額ニ基キ町村條例ノ規定ニ從ヒ其ノ四分ノ一ヲ第一期分トシテ賦課シタル以上該賦課ハ違法ノモノニシテ假令其ノ後ニ至リ戸數割總額カ減額セラレ府縣知事ノ許可ヲ要スル範圍ト爲リ其ノ許可アリタリトスルモ右賦課カ適法ト爲リタルモノト爲スコトヲ得サルモノトス  
一四年六九號 一四年一月七日宣告 (一四年六九〇頁)

○村稅戸數割ノ資産ノ狀況ニ依ル配當額ノ算定ニ付其ノ額ト所得額ニ依ル配當額ト合計額カ村會ノ見ル所ニ依リ各納稅義務者ノ負擔力ニ應スルカ如ク配當シタルハ大正十五年法律第二十四號地方税ニ關スル法律第二十五條並同年勅令第三百三十九號同法施行ニ關スル件第二十一條及同附則第六項ニ違反スルモノトス  
三年九四號 三年七月十九日宣告 (三年一二三四頁)

41 地方税ニ關スル法律施行規則

(大正十五年内務、大藏省令  
昭和十五年内務、大藏省ニ依リ廢止)

第四項

○大正十五年十一月二十七日内務大藏省令地方税ニ關スル法律施行規則第四條第二項ノ規定ハ數府縣ニ碇繫場ヲ有スル船舶ニ對シテ一ノ府縣ニ於テ已ニ船稅ヲ賦課セル以上他ノ府縣ニ於テ船稅ヲ賦課セントスル場合ニハ豫メ内務大藏兩大臣ニ主タル碇繫場所在地府縣ノ決定ヲ求ムル爲申請スルコトヲ要スルモノト解スヘカラサルハ勿論同大臣カ之ヲ決定シタル後ニ非サレハ賦課スルコトヲ得サルノ法意ト解スヘキモノト非ス  
四年二〇〇五號 六年七月二十五日宣告 (六年七九三頁)  
六年五九號 九年七月七日宣告 (九年五三五頁)

第五條

○大正十五年十一月二十七日内務大藏省令地方税ニ關スル法律施行規則第五條ノ規定ハ府縣ハ自轉車ヲ其ノ用法ニ從ヒ使用ニ供スル目的ヲ以テ所有スル事實アル場合ニ限り所有者ニ對シ府縣稅雜種稅自轉車稅ヲ賦課スヘキコトヲ定メタルモノト解スルヲ相當トス  
六年二六四號 九年七月一二日宣告 (九年五六八頁)  
七年一七號  
七年一三八號 九年八月七日宣告 (九年七五九頁)  
七年二三三號

同

○府縣稅雜種稅自轉車稅ハ自轉車ノ所有者ニ對シテ賦課スヘキモノナルカ故ニ其ノ所有者ハ自ラ之ヲ占有所有スルコトナク他人ヲシテ占有使用セシメタリトスルモ該賦課ヲ免ルヘキモノニ非ス從テ右府縣稅雜種稅ノ附加稅モ亦本稅ノ納稅義務者タル自轉車ノ所有者ニ對シテ賦課スヘキモノトス  
一二年五六號 一二年六月一二日宣告 (一二年一九二頁)

同

○府縣稅雜種稅自轉車稅ハ自轉車ノ所有者ニ賦課スヘキモノトス  
一二年二八八號 一三年五月五日宣告 (一三年二七九頁)

第十一條

○大正十五年勅令第三百三十九號地方税ニ關スル法律施行ニ關スル件第十九條ニ基ク大正十五年内務大藏省令地方税ニ關スル法律施行規則第十一條及第十二條ノ規定ノ外不動産取得稅賦課ノ制限ニ付内務大臣及大藏大臣ニ於テ規定シタルモノナシ  
四年三〇六號 五年一月三〇日宣告 (五年一八九頁)

同

○不動産競賣ニ付司法裁判所ノ命シタル鑑定人ノ評價價格ト一致シタル競落價額ハ反證ナキ限りハ其ノ物件  
財務 地方税ニ關スル法律施行規則



ノ時價ニ相當スルモノト認ムルヲ相當トス

六年三五〇號 七年五月一九日宣告 (七年四三四頁)

○山林ノ入札並賣買契約書ニハ代理人タルコトノ記載ナキモ甲ハ他人ノ代理人トシテ入札並契約ヲ爲シ且賣主ニ於テ該賣買契約ヲ爲スニ當リ契約書ノ買受名義人タル甲ハ他人ノ代理人ナルコトヲ知リタル場合ニ於テハ契約書ノ買受名義人タル甲ニ對シ山林ノ所有權ヲ取得シタリトシテ縣稅雜種稅不動産取得稅並町村稅雜種稅不動産取得稅附加稅ヲ賦課スルヲ得ス

五年二〇七號 七年七月二一日宣告 (七年七二四頁)

○不動産取得稅賦課權ノ消滅時效ハ徵稅官廳ニ於テ納稅義務者ノ申告其ノ他ノ事實ニ依リ不動産所有權ノ取得アリタルコトヲ確認シ得ヘキ場合ニ於テハ不動産ニ關スル所有權移轉ノ本登記アリタル時ヨリ進行スルモノトス

不動産ニ關スル所有權移轉ノ假登記ハ本登記ノ如ク徵稅官廳ニ於テ不動産所有權ノ取得アリタルコトヲ確認シ得ヘキ事實ニ非ス

七年一三六號 七年一〇月四日宣告 (七年七八五頁)

○雜種稅不動産取得稅ハ不動産ノ所有權ノ取得アリタル場合ニ限り之ヲ賦課スルヲ得ルモノトス從テ長期存續期間ノ定アル地上權ト雖モ法令ニ特別ノ規定ナキ限り其ノ取得ヲ以テ土地所有權ノ取得ト看做シ不動産取得稅ヲ賦課スルヲ得サルモノトス

愛知縣市部縣稅賦課規則第五十條第一項第四號ニ規定スル不動産取得稅ノ課稅標準タル不動産ノ價格ハ地上權其ノ他ノ負擔アル不動産ニ付テハ負擔ナキ狀態ニ於ケルモノトシテノ時價ニ依リ之ヲ算定スヘキモノトス

同

同

同

同

第十二條

同

第一條

ト解スルヲ相當トス

八年三九七號 九年一〇月二〇日宣告 (九年八六三頁)

○府稅雜種稅不動産取得稅ハ不動産自體ヲ直接課稅ノ客體トスルモノニ非スシテ不動産ノ取得行爲ヲ客體トスルモノナルカ故ニ府縣制第十條ノ規定ニ依リ準用セラルル市制第二百一十一條第二項ノ規定ニ依リ賦課ヲ禁セラレタル府縣稅ニ該當セサルモノトス

一二年二九四號 一三年六月二八日宣告 (一三年四一七頁)

○大正十五年勅令第三百三十九號地方稅ニ關スル法律施行ニ關スル件第十九條ニ基ク大正十五年內務大藏省令地方稅ニ關スル法律施行規則第十一條及第十二條ノ規定ノ外不動産取得稅賦課ノ制限ニ付內務大臣及大藏大臣ニ於テ規定シタルモノナシ

四年三〇六號 五年一月三〇日宣告 (五年一八九頁)

○大正十五年內務大藏省令地方稅ニ關スル法律施行規則第十二條ノ規定ハ專ラ府縣稅雜種稅ニ關スルモノニシテ市稅特別稅ニハ關係ナシ

四年四七三號 五年三月一三日宣告 (五年四五五頁)

○共同相續人ノ一人カ他ノ共同相續人ノ相續シタル不動産ノ持分ヲ讓受ケタル場合ニ於テ實質上他ノ共同相續人カ其ノ相續ヲ拋棄シタルモノト認ムルヲ得サルトキハ右持分ノ讓渡ハ之ヲ地方稅ニ關スル法律施行規則第十二條第一號ニ所謂遺產相續ニ因ル不動産ノ取得ト謂フヲ得ス



同 第二條

○保險契約全部ノ包括移轉ト會社ノ合併トハ法律上同一ノモノナリト謂フヲ得ス從テ地方税ニ關スル法律施行規則第十二條第二號ノ規定ノ適用ニ付テモ法人ノ合併中ニ當然保險契約全部ノ包括移轉ヲ包含スルモノニ非ス

一二年一四五號 一四年一月三十一日宣告 (一四年四一頁)

第十八條

○大正十五年十一月二十七日內務大藏省令地方税ニ關スル法律施行規則第十八條ノ規定ハ總テノ雜種税ニ就キ同省令第四條乃至第十七條ニ定メタル事項ヲ除キ他ノ賦課ニ關シ必要ナル事項ノ制限ヲ府縣ニ委任シタルモノト解スルヲ相當トス

一二年一七號 一二年五月二十六日宣告 (一二年二六頁)

一二年二一號 一二年五月二十六日宣告 (一二年三一頁)

第二十條

○戶數割ノ課税標準タル所得ノ算定ニ付地方税ニ關スル法律施行規則第二十條ノ規定ニ反スル町村ノ定ハ違法ナリ

一二年五五號 一二年七月四日宣告 (一二年三四〇頁)

同 第一條

○地方税ニ關スル法律施行規則第二十條第一號ニ規定スル營業ニ非サル貸金利子ノ前年中ノ收入金額トハ前年中ニ於テ現實ニ支拂ヲ受ケタル金額又ハ辨濟期到來シ且確實ニ其ノ支拂ヲ受ケ得ルモノト認メラルル金額ヲ指稱スルモノトス

七年三〇五號 八年一月一六日宣告 (八年一〇六九頁)

同

○貸金利子ノ債務不履行ニ因ル損害賠償金ハ地方税ニ關スル法律施行規則第二十條第一號ニ所謂貸金ノ利子ニ該當スルモノトス

七年二〇八號 九年七月二一日宣告 (九年六六五頁)

同

○地方税ニ關スル法律施行規則第二十條第一號ニ規定スル營業ニ非サル貸金利子ノ前年中ノ收入金額トハ前年中ニ於テ現實ニ支拂ヲ受ケタル金額ノミナラス辨濟期到來シ且確實ニ其ノ支拂ヲ受ケ得ルモノト認メラルル金額ヲ指稱スルモノトス故ニ右貸金利子ニシテ辨濟期到來スルモ確實ニ支拂ヲ受ケ得ルモノト認メラレサル場合ニ於テハ該利子金額ハ其ノ年ノ翌年ニ於ケル戶數割賦課ノ標準タル所得額ニ之ヲ算入スルヲ得サルモノトス

八年二三六號 一四年六月一七日宣告 (一四年四八〇頁)

同 第一條

○株式會社ノ社員又ハ從業員カ其ノ職務俸給並勤續年數ヲ標準トシテ受クル慰勞金ハ大正十五年十一月二十七日內務大藏省令地方税ニ關スル法律施行規則第二十條第一號第三號ニ所謂賞與又ハ賞與ノ性質ヲ有スル給與ニ該當スルモノトス

一二年五五號 一二年七月四日宣告 (一二年三四〇頁)

同 第四條

○信用組合ノ配當金ヲ同組合定款ノ規定ニ依リ出資額ニ組入レタル場合ニ於テハ假令現實ニ配當金ヲ收受スルコトナシト雖モ之ヲ地方税ニ關スル法律施行規則第二十條第一號第四號ノ收入金額トシテ資力算定ノ標準トス

財務 地方税ニ關スル法律施行規則



準タル所得額ニ算入スルハ正當ナリ

七年二〇八號 九年七月二一日宣告 (九年六六五頁)

○村長及助役ノ受クル費用辨償額ハ地方税ニ關スル法律施行規則第二十條第一項第六號ニ所謂前各號以外ノ所得ニ該當スルモノトス

九年一二九號 一五年七月四日宣告 (一五年三六六頁)

○農馬購入費ハ收入ヲ得ルニ必要ナル經費ト云フヲ得ス

一〇年一八四號 一一年五月一十九日宣告 (一一年二一二頁)

○戸數割賦課ノ標準タル所得額ノ算定ニ當リ所得ヨリ一般的ニ負債利子ノ控除ヲ爲スハ違法ナリ

一二年二八號 一五年九月二一日宣告 (一五年五四六頁)

○法定ノ期限内ニ大正十五年內務大藏省令地方税ニ關スル法律施行規則第二十四條ノ規定ニ依ル控除ノ申請ヲ爲シタル戸數割納稅義務者ニ非サレハ其ノ所得ノ算定ニ付右控除ニ關スル規定ノ適用ナキモノトス

六年八九號 七年五月五日宣告 (七年三八九頁)

○新潟縣中蒲原郡白根町特別稅戸數割條例第八條ニハ地方税ニ關スル法律施行規則第二十四條ノ規定ニ依リ控除ヲ受ケントスル者ハ該當者氏名、申告者トノ續柄、生年月日及不具癡疾ノ狀況ヲ記載シタル申請書ヲ町長ニ提出スヘキ旨規定セルヲ以テ右條例ニ依ル控除ノ申請ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要スルモノト解スルヲ相當トス

八年一〇一號 一〇年二月二八日宣告 (一〇年一二三五頁)

○戸數割納稅義務者ヨリ所得額控除ノ申請ナキニ拘ラス大正十五年內務大藏省令地方税ニ關スル法律施行規則

同 第一項 第六號

第二十一條

同

第二十四條

同

同

同

同

同

第二十五條

則第二十四條ノ控除ヲ爲スハ該規則ノ規定ニ背キ違法ナリ

五年三〇八號 一三年一〇月二五日宣告 (一三年六七四頁)

○戸數割ノ賦課ニ關スル資力算定ニ付納稅義務者ノ申請ナキニ拘ラス所得ノ控除ヲ爲シタルハ大正十五年內務大藏省令地方税ニ關スル法律施行規則第二十四條及毛野村戸數割條例第九條第二項ノ規定ニ背キ違法ナリ

五年一九九號 一四年五月二〇日宣告 (一四年三七九頁)

○地方税ニ關スル法律施行規則第二十四條ニ依ル老幼不具癡疾者ニ對スル控除ヲ納稅義務者ノ所得額同一ナル者ノ間ニ於テ控除ノ人數多キニ從ヒ各一人ニ對スル控除額ヲ累減スルノ趣旨ヲ定メタル町村ノ規定ハ違法ナリ

一二年二一九號 一五年七月一三日宣告 (一五年三九四頁)

一一年二一八號 一五年七月一三日宣告 (一五年四二〇頁)

○地方税ニ關スル法律施行規則第二十四條第一項ノ規定ニ依ル控除ノ申請ハ市町村條例ニ於テ特ニ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要スル旨規定スル場合ヲ除クノ外口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得ルモノト解スルヲ相當トス

一二年二八號 一五年九月二一日宣告 (一五年五四六頁)

○信用組合ノ配當金ニ付戸數割ヲ免除スヘキ何等法令ノ規定ナシ

七年二〇八號 九年七月二一日宣告 (九年六六五頁)

財務 地方税ニ關スル法律施行規則



財務 地方税ニ關スル法律施行規則

○軍人從軍中ノ賞與ハ地方税ニ關スル法律施行規則第二十五條第一號ニ所謂軍人從軍中ノ俸給及手當ニ包含セラルルモノトス

○學校令ニ定メラレタル學校ニ學籍ヲ有セサルモ學校ニ入學準備ノ爲勉學中ノ者ニシテ其ノ修學上直接必要ナル經費ハ勿論其ノ者カ扶養義務者ト同居セサル場合ニ於テハ其ノ者ノ生活ノ爲必要ナル費用ト雖モ大正十五年內務大藏省令地方税ニ關スル法律施行規則第二十五條第三號ニ所謂學資金ニ該當スルモノト解スルヲ相當トス

○勸業債券ノ賣買ヲ業ト爲ササル者ノ得タル同債券ノ割増金ハ營利ノ事業ニ屬セサル一時ノ所得ナルヲ以テ戶數割納稅義務者ノ資力算定ノ標準タル所得額中ニ算入スヘキモノニ非ス  
一二年六八號 一一年六月六日宣告 (一二年二六二頁)  
五年一七號 五年四月一〇日宣告 (五年五〇九頁)

○地方税ニ關スル法律施行規則第二十六條ニ依ル町村戶數割賦課額ノ更訂請求ニ對スル處分ハ町村税ノ賦課ニ關スルモノナルカ故ニ之ニ關スル爭訟ハ町村制第十條ニ依ルヘキモノトス  
六年三七八號 七年一月二五日裁決 (七年二頁)

○町村カ臨時地方財政補給金ノ交付ニ由リ減稅セラルヘキヲ豫想シ內務大藏兩大臣又ハ府縣知事ノ許可ヲ受クルノ手續ヲ爲サシテ戶數割ノ制限外課稅タル前期分ノ賦課ヲ爲シタル後右補給金ノ交付アリタル爲町村會ニ於テ戶數割ノ總額ヲ更正シ同稅後期分ヲ賦課セサルコトト爲リタル結果戶數割總額カ制限内ト爲リタリトスルモ之カ爲制限外ノ稅額ヲ含ム戶數割總額ノ半額タル右前期分ノ賦課ノ違法性ヲ阻却スルモノト云フヲ得ス

一三年一九六號 一四年三月二三日宣告 (一四年二四五頁)

○町村ニ於テ戶數割總額カ當該年度ノ町村稅豫算總額ノ百分ノ七十ヲ超過シタルニ拘ラス內務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受ケスシテ該戶數割總額ニ基キ町村條例ノ規定ニ從ヒ其ノ四分ノ一ヲ第一期分トシテ賦課シタル以上該賦課ハ違法ノモノニシテ假令其ノ後ニ至リ戶數割總額カ減額セラレ府縣知事ノ許可ヲ要スル範圍ト爲リ其ノ許可アリタリトスルモ右賦課カ適法ト爲リタルモノト爲スコトヲ得サルモノトス  
一四年六九號 一四年一月七日宣告 (一四年六九〇頁)

○地方税ニ關スル法律施行規則ニ「本令ハ昭和十一年度分ヨリ之ヲ適用ス」トハ賦課徵收ノ時期如何ニ拘ラス不動産ノ取得ニ對スル雜種稅ニ付テハ其ノ課稅客體タル不動産取得ノ日カ昭和十一年度ニ屬スルモノヨリ之ヲ適用スルノ義ト解スルヲ相當トス  
一二年一四五號 一四年一月三日宣告 (一四年四一頁)

42 ●府縣稅戶數割規則 (大正十年勸令第四百四十二號 同十五年勸令第三百三十九號ニ依リ廢止)

○戶トハ世帯ノ義ニシテ世帯トハ住所又ハ之ニ準スヘキ住居所ニ限ラス家事經濟ノ全部又ハ一部ヲ營ム場所ヲ云フモノトス  
大一三年一八五號 大一年六月一五日宣告 (六一五五〇八頁)

○官廳舍内ノ一部ニ居住シ妻子ト共ニ起臥炊爨ヲ爲ストキハ其ノ居住カ主トシテ宿直事務擔任ノ爲ナル場合ト雖モ府縣稅戶數割規則第一條第一項ニ規定スル一戶ヲ構フルモノニ該當ス  
大一五年二四一號 二年一月二〇日宣告 (二年九二頁)

昭和十一年五月內務大藏省令第一項則



○他所ニ本籍ヲ移シ又直接國稅ノ納稅地ヲ移スモ引續キ舊住宅ニ於テ妻子ヲ居住セシメ依然トシテ住所ヲ有スルモノト認メラルルノ事實アル以上ハ構戶者トシテ之ニ對シ縣稅戶數制ヲ賦課スルモ違法ニ非ス  
大一年三〇〇號 二年二月一日宣告 (二年二一〇頁)

○他町ニ寄留セルモ尙殘存スル從來ノ住所ニ戶ヲ構フル者ニ對シ縣稅戶數制ヲ賦課シタルハ違法ニ非ス  
大一年三三三號 二年三月三日宣告 (二年三一七頁)

○裁判所書記カ裁判所出張所廳舍内ノ一部ニ居住スルハ宿直事務擔任ノ爲ニシテ妻子ト共ニ居住スルハ其ノ從タルニ過キストスルモ該事實ハ府縣稅戶數制規則第一條第一項ニ所謂一戶ヲ構フルルニ該當シ其ノ妻子ト共ニ起臥炊爨ヲ爲スニ使用スル部分ハ同則第三條ニ所謂住家ニシテ其ノ坪數ハ之ヲ戶數制賦課ニ付資力算定ノ標準ト爲スヘキモノトス  
大一年三四六號 二年三月二六日宣告 (二年四三〇頁)  
大一年五〇五號 二年五月一四日宣告 (二年五九八頁)

○後期分縣稅戶數制ノ賦課カ資力算定ニ付違法アルモノナルトキハ茨城縣縣稅徵收規則第十九條第一項但書ニ依リ該賦課ノ時ニ算定シタル資力ニ依リ賦課セラレタル同稅追徵分ノ賦課モ亦違法ナリ  
大一年一〇八號 大一年六月一八日宣告 (大一年五一五號)

○府縣稅戶數制賦課ニ付各納稅義務者ノ資産狀況ニ付具體的調査ヲ爲サス單ニ遠觀的資産ノ多寡ヲ定メタルノミナラス資産アル者ノ中ニ就テモ資産ノ狀況ニ依リ賦課額ヲ配當セル者ト然ラサル者トノ別ヲ設ケ以テ戶數制配當額ヲ定ムルカ如キハ結局實力ニ對應スル賦課ト云フヲ得サルカ故ニ違法ナリ  
大一年一〇七號 大一年六月一八日宣告 (大一年五〇八頁)

第二條

同 同 同

第三條

同 同 同

大一年一四三號 大一年七月九日宣告 (大一年六三二頁)

○資産賦課額カ不當ニ非サル以上資産額並之ニ對スル賦課率ヲ議決セサルモ其ノ賦課ハ違法ト云フヲ得ス  
大一年四一八號 三年一月一五日宣告 (三年一三一頁)

○府縣稅戶數制ノ賦課ニ付納稅義務者ノ資産ニ非サル資産ニ依リ納稅義務者ノ資産ノ狀況ヲ斟酌スヘカラサルモノトス  
府縣稅戶數制ノ賦課ニ付資産ノ狀況ヲ斟酌スルニ方リ土地家屋ノ如キ公簿上其ノ所有ヲ證明シ得ヘキ資産ニ付テハ反對ノ事實ヲ認定スルニ足ル立證ナキ限り名義上ノ所有者ヲ以テ實質上ノ所有者ト認メサルヘカラス  
大一年四四五號 大一年七月二四日宣告 (大一年八二三頁)  
大一年一八號 大一年一月三日宣告 (大一年九二七頁)

○縣稅戶數制ノ賦課額算定ノ標準ヲ定ムルニ付其ノ戶ニ屬セサル者ノ納ムル地租額ヲ合算シタルハ不當ニシテ其ノ賦課ハ違法ナリ  
大一年一八號 大一年一月三日宣告 (大一年九二七頁)

○府縣稅戶數制規則ニ於ケル所得額ニ依リ資力ノ算定ニ付テハ所得額ニ比例スルノ法意ナリト解スルヲ相當トス  
大一年一六四號 大一年二月二五日宣告 (大一年一一三頁)

○府縣稅戶數制規則第三條ニ所謂「資産ノ狀況ヲ斟酌シテ之ヲ算定スルコトヲ得」ハ各納稅義務者ノ資力算定標準ノ一トシテ資産ノ狀況ヲ採用スルコトヲ得ルノ趣旨ニシテ之ヲ採用シタル場合ニ於テハ當該町村ノ戶數制總額ノ十分ノ四以内ニ於ケル一定ノ金額ハ各納稅義務者ノ資産ノ狀況ヲ標準トシテ各自ニ之ヲ配  
府縣稅戶數制規則  
五三七







標準ノ一トシテ資産ノ狀況ヲ採用スルコトヲ得ルノ趣旨ニシテ之ヲ採用シタル場合ニ於テハ當該町村ノ戶數割總額ノ十分ノ四以内ニ於ケル一定額ハ各納稅義務者ノ資産ノ狀況ヲ標準トシテ各自ニ之ヲ配當スルヲ要スルモノニシテ資産ノ狀況良好ナル一部ノ納稅義務者ニ對シテノミ之ヲ配當スルコトヲ許スノ趣旨ニ非ス

- 大十四年五二號 大十四年九月一〇日宣告 (大十四年八二九頁)
- 大十五年六〇號 大十五年五月一五日宣告 (大十五年三四一頁)
- 大十五年一五三號 大十五年一〇月二一日宣告 (大十五年一〇七〇頁)
- 二年四六號 二年五月一〇日宣告 (二年五九〇頁)
- 大十五年三五八號 二年五月一九日宣告 (二年六一六頁)
- 二年一八五號 二年一二月一五日宣告 (二年一二七二頁)
- 大十五年四九〇號 三年一月二六日宣告 (三年八七頁)
- 二年二〇六號 三年五月二二日宣告 (三年六九三頁)

○單ニ資産ノ形態ヲ變更スルニ過キサル山林伐採ノ所得ニ因ル一時的ノ納稅額ヲ標準トシテ府縣稅戶數割規則第三條ノ資産狀況斟酌ニ因ル賦課額ヲ定ムルハ資産狀況ニ對スル賦課狀況ニ對スル賦課ト認ムルコトヲ得ス

- 大十四年五三號 大十五年一月二三日宣告 (大十五年一四頁)

○府縣稅戶數割ノ賦課ニ付納稅義務者ト生計ヲ共ニスル同居者ニ非サル者ノ資産ハ之ヲ納稅義務者ノ資産ニ加算シテ納稅義務者ノ資産ノ狀況ヲ斟酌スヘカラサルモノトス

- 大十三年八九號 大十五年五月三一日宣告 (大十五年五九三頁)
- 大十五年二四一號 二年一月二〇日宣告 (二年九一頁)
- 大十五年三四四號 二年三月一日宣告 (二年三〇九頁)
- 大十五年三四六號 二年三月二六日宣告 (二年四三〇頁)
- 大十五年四五〇號 二年三月二六日宣告 (二年四三四頁)
- 大十五年五〇五號 二年五月一四日宣告 (二年五九八頁)

○縣稅戶數割賦課ニ付納稅義務者ノ資力算定標準ノ一トシタル資産ノ狀況ニ依ル配當額カ資産ノ狀況ニ相應セサルモノハ違法ナリ

- 大十五年一三一號 二年三月一五日宣告 (二年三七二頁)
- 大十五年一三八乃至一四〇號 二年三月一五日宣告 (二年三七九頁)
- 二年二一〇號 三年五月一日宣告 (三年六〇二頁)

○隱居相續ニ因ル財産移轉ニ付第三者ニ對抗スル爲必要ナル法定ノ手續ヲ爲サス依然被相續人ニ於テ該財産ヲ管理シ自己ノ名義ヲ以テ租稅公課ヲ負擔セルノ事實アリ而モ該財産ヲ自己ノ財産トシテ管理收益スルモノナリトノ主張ニ對シ何等反對ノ立證ヲ爲ササル者ニ對シ縣稅戶數割賦課ノ標準タル資力ニ右財産及之ヨリ生スル所得ヲ算入シタルハ不當ニ非ス

- 大十五年二八五號 二年三月一五日宣告 (二年三九三頁)

○資産ノ狀況ノ認定ニ付具體的標準ヲ設ケテ概括的ニ考量斟酌シタルト具體的ニ箇々ノ事實ヲ調査シタルトヲ問ハス其ノ認定シタル資産ノ狀況カ事實ニ適合シ之ニ對スル斟酌賦課ノ金額カ各納稅義務者ノ資産狀況

同

同

同

同

同



ニ相應スルコトヲ要スルモノトス

所得額ニ依ル賦課額ノ皆無若ハ僅少ノ者ニ對シテ資産ノ狀況ニ依ル賦課額概シテ重ク前者ノ賦課多キ者ニ對シテハ後者ノ賦課額概シテ輕キノ事實アルトキハ反證ナキ以上資産ノ狀況ニ依ル賦課額カ各人ノ資産狀況ニ相應セサルモノト認ムルヲ相當トス

大一五年三六四號 二年六月二三日宣告 (二年七七九頁)

○村會ニ於テ納稅者ノ資力ヲ所得額及住家坪數ノミニ依リ算定スルヲ適當ナラスト認メタル以上納稅者ノ資産狀況ヲ斟酌シテ之ヲ算定スヘキモノナルコトハ府縣稅戶數割規則第三條ニ依リ明ナリトス

二年一六號 二年一月一日宣告 (二年一八八頁)

○戶數割ノ資産狀況斟酌ニ依ル賦課カ資産ノ狀況ヲ測定スルニ足ルヘキ相當ノ標準ニ基ク箇數ニ依リ算出セラレタルモノナルトキハ其ノ各自ノ相當額ハ反證ナキ限り資産ノ狀況ニ適應セサルモノト認ムヘキモノトス

二年一〇八、一〇九、一三四、一六五 號 二年二月二四日宣告 (二年一三一六頁)

○他人ノ所有地ヲ資産ニ加ヘテ資力ヲ算定シタルハ錯誤ニシテ之ニ基ク戶數割ノ賦課ハ不當ナリ

二年一四七號 三年二月一八日宣告 (三年一六四頁)

○縣稅戶數割總額中資産ノ狀況ニ依リ賦課スヘキ一定ノ金額ヲ一定ノ標準ニ基カス且村ノ五大字ニ平等ニ分配シテ定メタル各納稅義務者ノ資産ノ狀況ニ依ル賦課額ハ反證ナキ限り資産ノ狀況ニ相應セサルモノニシテ府縣稅戶數割規則第三條但書ノ賦課ニ反シ違法ナリ

二年一八三號 三年六月三〇日宣告 (三年八二八頁)

○滯稅義務者ノ資産ノ狀況ニ依ル賦課額ヲ配當スルニ當リ各自ノ地租 營業稅及所得額中ヨリ勤勞所得ニ依ル稅額ヲ控除シタル金額並總所得金額中ヨリ勤勞所得ヲ控除シタル殘額百圓以上ノモノノミヲ標準トシテ納稅義務者全體ニ對シ資産ノ狀況ニ應スル賦課額ヲ公平ニ配當スルコト能ハス斯カル標準ニ依ル縣稅戶數割ノ賦課ハ府縣稅戶數割規則第三條但書ニ違反スルモノトス

二年二二三號 三年六月三〇日宣告 (三年八三五頁)

○戶數割ノ資力算定標準ノ一タル所得ニ對スル賦課額カ村會議決ノ定率ニ依リ算出セラレタリト認メ難キモノナルトキハ之ヲ基礎トシテ算定セラレタル戶數割賦課額ハ不當ナルモノニシテ之ニ依ル戶數割ノ賦課ハ取消ヲ免レサルモノトス

大一五年四九四號 三年七月五日宣告 (三年九五三頁)

○縣稅戶數割賦課ノ標準タル所得額他ノ者ニ比シ少額ナルニ資産ノ狀況ニ依ル賦課額ハ同額又ハ却テ多額ナルノ事實及資産ノ狀況ニ依ル賦課額ヲ納稅義務者ノ一部ニ配當シタルノ事實アルトキハ反證ナキ限り資産ノ狀況ニ依ル賦課額ノ配當ハ納稅義務者ノ資力ニ相應セサルモノト認ムヘク其ノ賦課ハ違法ナリ

二年一六〇號 三年七月一日宣告 (三年一〇四〇頁)

○縣稅戶數割ノ賦課ヲ爲スニ當リ各納稅義務者ノ所得額住家坪數及資産ノ狀況ニ付具體的調査ヲ爲ササリシトスルモ事實上其ノ賦課額カ過重ニ非サル限り之ヲ以テ直ニ該賦課ヲ取消スノ理由ト爲スニ足ラス

大一五年三二四號 四年六月二五日宣告 (四年六八六頁)



○府縣稅戶數割規則第三條但書ニ依リ戶數割賦課額ノ算定ニ付資産ノ狀況ヲ標準トシテ採用シタル場合ニ於テハ納稅義務者全部ニ該標準ヲ適用スルコトヲ要シ該標準ヲ適用シタル賦課額ハ各納稅義務者ノ資産ノ狀況ニ相應スルコトヲ要ス

前項賦課額ノ算定ニ付具體的調査ヲ爲ササルモ直ニ之ヲ以テ違法ナリト謂フヲ得ス

賦課額カ資産ノ狀況ニ相應スルコトヲ要ストハ賦課額カ納稅義務者ノ資産ノ狀況ヨリ觀タル資力ニ相應スルコトヲ要スルノ趣旨ナリ

大一五年四一九號 四年七月二三日宣告 (五年一二六九頁)  
 二年一一一號 四年七月二三日宣告 (五年一二八九頁)

○府縣稅戶數割規則第五條及大正十一年勅令第二百八十二號ニ依ル割合ハ戶數割總額中住家坪數ニ依リ資力ヲ算定シテ課スヘキ總額及資産ノ狀況ヲ斟酌シテ課スヘキ總額ノ各其ノ市町村配當總額ニ對スル割合ヲ定メタルモノニシテ各人ノ賦課額中ニ於ケル割合ヲ定メタルモノニ非ス

二年一〇三號 四年六月一日宣告 (四年五四五頁)

○府縣稅戶數割ノ納稅義務者ト生計ヲ共ニスル同居者ニ非サル者ノ所得ハ之ヲ納稅義務者ノ所得ニ加算シテ府縣稅戶數割ノ賦課ノ標準ト爲スヲ得ス

府縣稅戶數割ノ納稅義務者ト生計ヲ共ニスル同居者ノ所得ハ之ヲ納稅義務者ノ所得ニ加算シテ府縣稅戶數割ノ標準ト爲スヘキモノトス

大一三年八九號 大一年五月三一日宣告 (大一年五九三頁)

○生計ヲ共ニスル同居人ニ非サル者ノ資力ヲ納稅義務者ノ資力ニ合算シタルモノヲ標準トシテ戶數割ヲ賦課

第六條

第七條

第一項

第二項

第三項

第四項

第三項

シタルハ不當ナリ

大一五年二九六號 三年七月一九日宣告 (三年一〇二三頁)

○府縣稅戶數割規則第七條第一項及第二項ノ規定ニ依レハ一府縣ニ於テ戶數割ヲ納ムル義務アルモ其ノ府縣内ニ住所ナキ者ニ付テハ其ノ府縣以外ノ地ニ於ケル所得ヲ其ノ資力算定ノ標準中ニ加算スルコトヲ得サルモノトス

大一二二年一三五號 大一三年五月二二日宣告 (大一三年三一九頁)

○戶數割賦課ノ要件存スル各町村ハ各別(道府縣ヲ異ニスル)戶數割ヲ賦課シ得ルモノトス

大一五年四二三號 二年五月五日宣告 (二年五七三頁)

○寄留變更ノ届出ノミニ因リテ住所ノ移轉アリタルモノト爲スコトヲ得ス

大一二二年一三五號 大一三年五月二二日宣告 (大一三年三一九頁)

○府縣稅戶數割納稅義務者ノ住所地町長カ同義務者ノ同稅ヲ納ムル市町村以外ノ市町村ニ於ケル所得ヲ同稅賦課ノ標準タル所得ニ加算シテ之カ賦課ヲ爲スハ正當ナリ

大一三年一八五號 大一年六月一五日宣告 (大一年五〇九頁)

○府縣稅戶數割規則第七條第四項ハ一市町村ニ於テノミ戶數割賦課スヘキ場合ニハ其ノ適用ナシ

大一三年一八五號 大一年六月一五日宣告 (大一年五〇九頁)

43 ●府縣稅戶數割規則施行細則 (大正十一年內務省令第二號 同十五年十一月二十七日內務大藏省令ニ依リ廢止)

○府縣稅戶數割賦課ノ標準タル田畑所得ニ付テハ前三年間ハ小作田ナリシモ當該年度ニ於テ小作田ニ非サル



場合ハ前三年間ノ小作田ノ所得ヲ以テ當該年度ニ於テ小作田ニ非サルモノノ所得ヲ豫算スヘカラサルモノトス

府縣稅戶數割賦課ノ標準タル土地ノ所得ニ付テハ公簿面ノ地目ト事實上ノ地目ト異ル場合ニハ事實上地目ニ依リ其ノ所額得ヲ算定スヘキモノトス

大一三年八九號 大一五年五月三十一日宣告 (大一五年五九二頁)

○府縣稅戶數割規則施行細則第三條第一項第六號ハ收入豫算年額ニ依ルヘキヲ規定シタルモノニシテ計算方法ニ付キテハ何等特定スルモノニアラス

大一三年一二三號 大一四年五月二十五日宣告 (大一五年四四二頁)

○土地買得代金支拂ノ爲ノ負債ノ利息ハ府縣稅戶數割規則施行細則第四條ニ所謂收入ヲ得ルニ必要ナル經費ニ該當スルモノトス

溜池ノ大修繕費水路亞鉛管新設費及耕地地均シ費ハ資産ヲ構成スル費用ニシテ收入ヲ得ルニ必要ナル費用ニ非ス

二年一〇三號 四年六月一日宣告 (四年五四五頁)

○府縣稅戶數割規則施行細則第三條乃至第五條ニ依リ算定シタル所得額カ金八百圓ヲ超エ金千五百圓以下ナルトキハ同第六條ニ依リ其ノ所得中俸給給料歳費年金恩給退隱料賞與及此等ノ性質ヲ有スル給與ニ付テハ其ノ十分ノ四ニ相當スル金額ヲ控除スヘキモノトス

大一五年二二一號 二年九月六日宣告 (二年九九六頁)

○退職特別賜金ヲ縣稅戶數割納稅義務者ノ資力算定標準ノ一タル資産狀況ノ斟酌中ニ加フルコトハ府縣稅戶

數割規則施行細則第八條第四號ノ規定ニ違反セス

二年一四八號 三年二月一八日宣告 (三年一六四頁)

44 ●府縣稅戶數割ニ關スル件 (大正十一年勅令第二百八十二號 同十五年勅令第三百三十九號ニ依リ廢止)

○府縣稅戶數割ノ各納稅義務者ニ對スル資産狀況ニ依ル斟酌額ハ各納稅義務者ノ負擔總額ノ十分ノ四以内ナラサルヘカラサルモノニ非ス

大一一二年一四三號 大一四年七月九日宣告 (大一四年六三二頁)

○府縣稅戶數割規則第五條及大正十一年勅令第二百八十二號ニ依ル割合ハ戶數割總額中住家坪數ニ依リ資力ヲ算定シテ課スヘキ總額ノ各其ノ市町村配當總額ニ對スル割合ヲ定メタルモノニシテ各人ノ賦課額中ニ於ケル割合ヲ定タルモノニ非ス

二年一〇三號 四年六月一日宣告 (四年五四五頁)

45 ●府縣稅家屋稅ニ關スル件 (明治三十二年勅令第二百七十六號 大正十五年勅令第三百三十九號ニ依リ廢止)

○妻ノ所有ニ係ル家屋ノ家屋稅ヲ其ノ夫ニ對シ賦課シタルハ違法ナリ

大一一〇年二一號 大一一一年三月一八日宣告 (大一一二年二八三頁)

46 ●家屋賃貸價格調査令 (昭和四年勅令第四百三號)

○家屋稅調査委員ノ被選舉權ニ關スル訴願ノ裁決ニ對シ行政訴訟ノ提起ヲ許シタル法令ノ規定ナシ

五年二五一號 五年一〇月九日裁決 (五年一二五八頁)



第三十七條  
第四十條  
第五十三條

財務 北海道地方稅賦課規則 北海道地方稅規則

五四八

○家屋賃賃價格ノ算定ハ結局ノ決定額ニ於テ正當ヲ期スヘキモノニシテ當初ノ査定額ノ如何ニ拘ラス中間諸機關ニ於テ常ニ同一ノ經過ヲ辿ラサルヘカラサルモノニ非ス  
六年二二五號 八年一〇月三日宣告 (八年六九八頁)

第十四條ノ三

47 北海道地方稅賦課規則 (明治三十五年北海道廳令第十四號)  
○不動産取得稅ヲ賦課スヘキ不動産ノ價格ヲ時價ニ依リ算定スヘキ場合ニ於テハ時價ハ該不動産取得當時ニ於ケル狀況ニ依リテ算定スヘキモノトス  
土地及立木ヲ一括シテ同時ニ取得シタル場合ニ在リテハ土地及立木ノ價格ヲ以テ不動産取得稅ノ課稅標準トシタルハ相當ナリ  
大一一一年一四三號 大一一一年二月二三日宣告 (大一一一年一五七〇頁)

參照

第十四條ノ三 不動産ノ價格ハ不動産登記法ニ依リ登記ヲ爲シタルモノハ其ノ登記價格ニ依リ登記ナキモノハ時價ニ依ル

第十二條

48 北海道地方稅規則 (昭和二年北海道廳令第四十三號)

○北海道地方稅雜種稅不動産取得稅ノ課稅標準タル不動産ノ時價ハ必スシモ其ノ登記價格ト一致スルモノニ非ス  
六年二八七號 八年三月一〇宣告 (八年一四一頁)

參照

第十二條

第二十條  
第二十條

49 北海道地方稅條例 (昭和七年北海道條例第三號)

○他人ノ建築シタル家屋ヲ賣買ニ因リ取得シタル場合ハ北海道地方稅條例第十條第二十號ノ所謂「災害復舊ノ爲同一市町村ニ於テ災害後二年内ニ工事ニ着手シタル建築」ニ該當セサルモノトス  
一三年一一號 一三年七月二一日宣告 (一三年五二四頁)

參照

第十條 左ニ掲グルモノニ對シテハ雜種稅ヲ賦課セズ  
(中略)

二十 災害復舊ノ爲同一市町村内ニ於テ災害後二年内ニ工事ニ着手シタル建築但シ其ノ建築ニ係ル不動産價格ガ災害當時ニ於ケル建物ノ價格ヲ超ユルコト五百圓以上ナル場合ニ於テ其ノ超過部分ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ  
(下略)

第十一條  
第四號

50 東京府府稅賦課條例 (昭和八年東京府條例第九號)

○相當廣範圍ニ亘ル者ノ育英ヲ目的トスル公益事業遂行ノ手段ニ專ラ且無料ニテ供用スルモノト認メラルル家屋ハ昭和八年三月東京府條例第九號東京府稅賦課條例第十一條第四號ニ所謂「專ラ學藝慈善其ノ他公益ノ爲ニ直接供用スル家屋ニシテ營利ノ目的ニ非サルモノ」ニ該當スルモノトス  
一三年五五號 一三年一二月二〇日宣告 (一三年八〇四頁)

參照

財務 北海道地方稅條例 東京府府稅賦課條例

五四九



第二十七條 第一項

○東京府府稅賦課條例第二十七條ニ規定スル不動産ノ取得トハ不動産所有權ヲ實質上取得スルノ義ト解スヘク從テ假令所有權ノ取得トシテ登記手續ヲ爲シ第三者ヲシテ該取得アリタルモノト信セシムル如キ行爲ヲ爲シタル場合ト雖モ實質上所有權ヲ取得セサルトキハ右不動産ノ取得ニ該當セサルモノトス  
一四年九三號 一五年一二月二四日宣告 (一五年七八七頁)

參照

第二十七條

不動産取得稅ハ不動産ノ時價ヲ標準トシ取得ノトキ之ヲ賦課ス  
不動産登記法ニ依リ登記シタルモノニ付テハ其ノ登記稅ノ課稅標準價格ヲ以テ時價ト看做ス

同 第二項

○東京府府稅賦課條例第二十七條第二項ハ不動産登記法ニ依リ登記シタルモノニ付テハ其ノ現實ノ時價如何ニ拘ラス登録稅ノ課稅標準價格ヲ以テ時價ト看做ス旨規定セルモノナルコト明瞭ニシテ不動産登記ノ時期ヲ以テ不動産取得ノ時期ト看做ス趣旨ノモノト解スルヲ得ス  
一二年一四五號 一四年一月三十一日宣告 (一四年四一頁)

第三十四條 第十三號

○牧師ノ住居ニ供用セラルル牧師館ハ假令宗教ノ爲ニ供用セラルルコトアリトスルモ專ラ宗教ノ爲ニ直接供用セラルルモノト認ムルヲ得サルカ故ニ該牧師館ノ取得ハ昭和八年東京府條例第九號東京府府稅賦課條例第三十四條第十三號本文ノ不動産ノ取得ニ該當セサルモノト解スルヲ相當トス  
一二年二九四號 一三年六月二八日宣告 (一三年四一七頁)

參照

第三十四條

左ニ掲クルモノニハ雜種稅ヲ賦課セス  
(中略)

- 一三 專ラ祭祀、宗教、學藝、慈善其ノ他公益ニ直接供用スル目的ヲ以テスル不動産ノ取得但シ競馬俱樂部社交俱樂部又ハ之ニ類似ノ用ニ供スル目的ノモノハ此ノ限ニ在ラス
- 前項ニ依リ不動産取得稅ノ賦課ヲ受ケサルモノ其ノ用途ヲ變更シタルトキハ新ニ不動産ノ取得アリタルモノト看做ス(下略)

51 ●東京府市部府稅賦課規則 (大正二年東京府令第五號)

○大正二年東京府令第五號東京府市部府稅賦課規則第十七條第一項第二號ニ所謂專ラ公益ノ用ニ供スル家屋トハ實質上直接公益ニ關スル事業ノ爲ニ使用スル家屋ノミヲ指稱スルモノニシテ單ニ營利ヲ目的トセサルニ止マリ公益ニ關スル事業ヲ目的トセサル法人カ其ノ目的タル事業ノ爲ニ使用スル家屋ヲ包含セサルハ勿論縱令公益ニ關スル事業ノ爲ニ使用スルモノト雖モ同時ニ公益ニ關セサルコトノ爲ニモ亦使用スルカ如キモノハ之ヲ包含セサル趣旨ト解スルヲ相當トス

民法第三十四條ニ依リ設立ヲ許可セラレタル公益法人タルノ故ノミヲ以テ直ニ其ノ目的タル事業カ大正二年東京府令第五號東京府市部府稅賦課規則第十七條第一項第二號ニ所謂公益ニ關スルモノト斷スルコトヲ得ス

第十七條 第二項



六年二一七五  
六年三一五六  
七年八三四號  
七年一三五四號  
八年二七二號  
八年七二號

八年一月二三日宣告 (八年一一五四頁)

六年一九六號  
六年一九六號  
八年五八號  
六年二九八號

九年七月五日宣告 (九年五二五頁)  
九年一月二三日宣告 (九年八八二頁)  
一六年三月一二日宣告 (一六年六〇頁)

參照

第十七條 左ニ掲クル家屋ニ對シテハ家屋稅ヲ賦課セス(中略)

一 專ラ公益若ハ學藝又ハ慈善ノ用ニ供スル家屋ニシテ營利ノ目的ニアラサルモノ但シ有料ニテ使用セシムルモノ及住宅ヲ以テ之ニ充ツルモノハ其ノ限ニ在ラス

(下略)

○棋道ハ技藝ノ一種ニシテ大正二年東京府令第五號東京府市部府稅賦課規則第十七條第一項第二號ニ所謂學藝ニ該當スルモノト解スルヲ相當トス

六年二一七五  
六年三一五六  
七年八三四號  
七年一三五四號  
八年二七二號  
八年七二號

八年一月二三日宣告 (八年一一五四頁)

同

同

八五五八號 九年一〇月二三日宣告 (九年八八二頁)

○家屋中專ラ公益ノ用ニ使用セララルル部分ト然ラサル部分トニ區別シ得ル場合ニハ專ラ公益ノ用ニ使用セララルル部分ハ大正二年東京府令第五號東京府市部府稅賦課規則第十七條第一項第二號ニ所謂「專ラ公益ノ用ニ供スル家屋」ニ該當スルモノトス

六年一九六號 九年七月五日宣告 (九年五二五頁)

○政黨ノ直接ノ目的トスル所ハ自黨ノ政策ヲ調査決定シ其ノ實現ヲ圖ルニアルヲ以テ其ノ使用ニ供スル家屋ハ直接ニ一般公衆ノ利益ニ供用スルモノト爲シ難シ

六年一八一號  
六年二九八號

一六年三月一二日宣告 (一六年六〇頁)

52 ●東京府郡部府稅賦課規則 (大正二年東京府令第六號)

第十八條

○大正二年東京府令第六號東京府郡部府稅賦課規則第十八條第一項ノ規定ハ家屋稅ノ賦課期日ヲ毎年四月一日トシ同日ニ於ケル家屋ノ所有者ニ其ノ家屋ヲ對象トシテ家屋稅ノ年額ヲ賦課スヘク同條第二項ノ規定ハ家屋稅ハ其ノ年額ヲ平分シテ二期ニ徵收スヘキコトヲ定メタルモノト解スヘキモノトス

東京府稅家屋ノ賦課期日タル四月一日ニ於ケル家屋ノ所有者カ其ノ賦課期日後其ノ家屋ヲ他人ニ讓渡シタル場合ニハ四月一日ニ於ケル家屋ノ所有者ニ當該年度分ノ家屋稅全額ヲ賦課スヘク讓受人ニ對シテハ當該年度分ノ家屋稅ヲ賦課スヘキモノニアラス

六年九八號  
六年一二月二六日宣告 (六年一三三三頁)

參照

財務 東京府郡部府稅賦課規則



財務 大島及八丈島町村税並夫役現品賦課徵收規程 京都府稅徵收條例  
大阪府郡部稅賦課規則 五五四

第十八條 家屋稅ハ毎年四月一日現在ノ家屋ニ基キ之ヲ賦課ス

家屋稅ノ課稅期間ハ之ヲ二期ニ區分シ毎年四月一日ヨリ九月三十日迄ヲ前半期十月一日ヨリ翌年三月三十一日迄ヲ後半期トシ該年度豫算ニ於テ定ムル課率ノ折半率ニ依リ之ヲ賦課ス

53 大島及八丈島町村稅並夫役現品賦課徵收規程 (明治四十一年東京府令第四十一號)

○村稅及夫役金納入義務者ノ住所カ移轉シタル後舊住所ニ於テ使丁カ督促狀ヲ納入義務者ニ手交セムトシ拒絶セラレタルトキハ督促狀ノ送達アリタリト言フヲ得ス

一三年三六號 一五年二月二四日宣告 (一五年八六頁)

參照

第十五條 納稅ノ告知督促ニ關スル書類ハ納稅義務者又ハ納稅管理人ノ住所又ハ居所ニ送達スル納稅義務ノ相續財團ニ關スル場合ニシテ財産管理人アルトキハ其ノ住所又ハ居所ニ送達ス

54 京都府稅徵收條例 (昭和六年京都府條例第四號)

○京都府稅徵收條例第三條ハ府縣制第八十條及府縣制施行令第三十三條第二項ニ基キ制定シタルモノナリ從テ京都市下京區長カ右規定ニ依リ京都府稅ノ賦課處分ヲ爲シタルモノトス

一〇年二〇四號 一一年五月二六日宣告 (一一年二三七頁)

參照

第三條 府稅ノ徵稅令書ハ區町村ヲシテ之ヲ發セシム

55 大阪府郡部稅賦課規則

○納稅義務者ノ資産總額ヲ更正シタル結果戶數割ノ賦課額ヲ更正スルニ當リテハ大阪府郡部稅賦課規則第

第二十一條

二十一條所定ノ町會ノ議決並郡長ノ認可ヲ要スルモノニ非ス  
大一年二號 大一年六月三〇日宣告 (大一年六〇五頁)

參照

第二十一條 別ニ法令ノ規定アルモノヲ除ク外左ニ掲クル事項ハ市町村會ノ議決ニ依リ之ヲ定ム

一、資力算定ニ付納稅義務者ノ資産狀況ヲ斟酌スルヤ否ヤ及斟酌スル場合ニ於テハ配當セラレタル戶數割總額中資力ニ依リ資力ヲ算定シテ課スヘキモノ、其ノ總額ニ對スル歩合

二、配當セラレタル戶數割總額中住家坪數ニ依リ資力ヲ算定シテ課スヘキモノ、其ノ總額ニ對スル歩合

三、住家坪數ニ依ル資力算定ニ付等差ヲ設クルヤ否ヤ及ビ等差ヲ設クル場合ニ於テハ其ノ方法

四、貧困ニシテ戶數割ノ負擔ニ堪ヘザル者ノ認定

五、府縣稅戶數割規則施行細則第七條ニ依リ控除スヘキ金額ヲ規定スルコト

第二十一條ノ二 前條ノ議決ハ徵收期限三十日前迄ニ郡長ノ認可ヲ受クシ

56 兵庫縣郡部稅賦課規則 (明治四十五年兵庫縣令第十一號)

○兵庫縣稅規則第十三條ノ雜種稅不動產取得稅ハ會社ノ合併ニ因リ不動產ノ所有權ヲ取得シタル場合ニモ之ヲ賦課スルノ趣旨ト解スルヲ相當トス

二年自二二八號 二年一月二七日宣告 (三年六三頁)

57 長崎縣稅賦課規則 (明治二年長崎縣令第二十一號)

○三箇年ノ漁獲高ノ平均ヲ求メテ之ヲ課稅ノ標準漁獲高ト爲スノ慣例ハ長崎縣稅賦課條例第十四條第一項ノ注意ニ反スルモノニ非ス

第十四條 第一項

財務 兵庫縣郡部稅賦課規則 長崎縣稅賦課規則



五年三四一號 七年六月二三日宣告 (七年五六一頁)

參照

第十四條 漁業稅中區劃漁業、定置漁業、特別漁業、水面專用漁業ニ對スル漁業稅ハ漁業ノ價值及漁獲高ヲ標準トシテ課稅課額ニ掲ケル稅額ヲ其ノ權利者ニ賦課ス  
前項ノ漁業ニシテ課稅課額ニ掲記ナキモノ及新規免許ニ對スル漁業稅ノ賦課額ハ近傍漁場ニ比準シ縣參事會ノ議決ヲ經テ知事之ヲ定ム

58 ●長崎縣縣稅賦課規則

第十四條 第二項

○長崎縣縣稅賦課規則第十四條第二項ノ規定ハ近傍同種ノ漁場ノ價值及漁獲高ヲ標準トシテ定メタル稅額ニ比準スルノ法意ナリト解スルヲ相當トス  
四年一八三號 五年七月一五日宣告 (五年九九二頁)

參照

第十四條 漁業稅中區劃漁業、定置漁業、水面專用漁業ニ對スル漁業稅ハ漁場ノ價值及漁獲高ヲ標準トシ其ノ權利者ニ賦課ス但シ免許ナキモノハ行爲者ニ賦課ス  
前項ノ漁業ニシテ課稅課額ニ掲記ナキモノ及新規免許ニ對スル漁業稅ノ賦課額ハ近傍漁場ニ比準シ縣參事會ノ議決ヲ經テ知事之ヲ定ム

59 新潟縣縣稅賦課規則 (昭和十二年新潟縣令第十三號)

第二十四條 第五號

○新潟縣稅雜種稅車稅及金庫稅ハ一般車及金庫自體ヲ對象トスル物件稅ニシテ特ニ競馬場ノ開設又ハ維持其ノ他競馬ノ施行又ハ開催ヲ對象トスル稅ニ非ス

競馬ノ開催カ公益事業ニシテ其ノ競馬ノ開催ニ必要缺クヘカラサル馬場ノ地均ヲ爲ス「ローラ」牽引ノ爲ニ專ラ使用セラルル自動車ハ昭和二年新潟縣令第十三號縣稅賦課規則第二十四條第五號ニ所謂「公益ノ目的ニ專用ノ車」ニ該當シ新潟縣稅雜種稅車稅ヲ賦課スルヲ得サルモノトス  
一〇年九八號 一〇年七月二〇日宣告 (一〇年六九九頁)

參照

第二十四條 左ニ掲ケルモノハ當該課目ニ限り課稅外トス

(中略)

五 非常慈善若ハ公益ノ目的ニ專用ノ船車但シ有料ニ係ルモノハ此ノ限ニ在ラス  
(下略)

第二十九條

○新潟縣稅賦課規則ニ依ル不動産取得稅ノ課稅標準タル土地及建物(新築増築ヲ含ム)ノ時價トハ該不動産ヲ取得スル對價ノ謂ニ非ス取得シタル不動産ノ時價ノ謂ニシテ新築ニ因リ家屋ヲ取得シタル場合ニ於ケル同稅ノ課稅標準タル時價ハ其ノ取得當時其ノ家屋ヲ其ノ現形ノ儘賣買スル場合ニ於ケル一般普通ノ價格ノ謂ナリト解スヘキモノトス  
三年二三八號 四年二月二三日宣告 (四年一九五頁)

參照

第二十九條 不動産取得稅ハ土地及建物(新築増築ヲ含ム)ノ時價ヲ標準トス

○府縣制第九條ニ基ク新潟縣縣稅賦課規則第四十三條ノ規定ハ市町村會ヲシテ各家屋ニ對スル家屋稅ノ賦課額ヲ算定シ得ヘキ賦課標準ヲ決定スル方法ノ細目ヲ每年六月十五日限議決セシメ之ニ依リ直ニ市町村長ヲシテ家屋稅ノ各賦課額ヲ算定セシムルノ法意ナリ

財務 新潟縣縣稅賦課規則



新潟縣南蒲原郡三條町會ノ議決シタル昭和四年度三條町縣稅家屋稅賦課細目中第三類及第四類ノ建物ニ付其ノ構造ニ依リ一等、二等、三等並等外及特等ノ區別ヲ爲スモ各建物カ右等級ノ何レニ屬スルヤヲ定ムヘキ標準ヲ規定セサルハ新潟縣稅賦課規則第四十三條ノ法意ニ違反シ違法ナリ

五年一一五號 七年一月二六日宣告 (七年一一三頁)

參照

第四十三條 市町村會ハ家屋稅ノ賦課ニ關シ毎年六月十五日限家屋ニ差等ヲ設クル方法又ハ賃賃價格算定ノ方法其ノ他必要ナル細目ヲ議決スヘシ(下略)

60 ●新潟縣稅賦課規則 (大正七年新潟縣令第二十號)

第二十九條

○大正十一年五月浦本村會ノ議決シタル戶數割賦課細目附則ノ「本細目ハ連年費用スルモノトス」ノ規定ハ新潟縣稅賦課規則第二十九條ノ「市町村會ハ戶數割賦課ニ關シ毎年度開始前ニ左ノ事項ヲ議決スヘシ云々」ノ規定ニ反シ違法ニシテ當該年度開始前ニ村會ノ議決ヲ爲サス村長カ右附則ノ規定ニ依リ該細目ニ基キテ爲シタル大正十四年度縣稅戶數割ノ賦課ハ違法ナリ

大正十一年一一五號 大正十一年一月二七日宣告 (大正十一年一三〇六頁)

參照

第二十九條 市町村會ハ戶數割賦課ニ關シ毎年度開始前ニ左ノ事項ヲ議決スヘシ(下略)

61 埼玉縣稅賦課規則 (大正十年埼玉縣令第二十五號)

第六條

○大正十年埼玉縣令第二十五號埼玉縣稅賦課規則第六條ノ代書人ニハ司法代書人ヲ包含ス

大正十一年二五三號 大正十二年二月二七日宣告 (大正十二年五四頁)

參照

第六條 營業稅及雜種稅ハ特別ノ規定アレモノノ外營業其ノ他ノ行爲ヲ爲シ又ハ物件ヲ所有若ハ使用スル者ニ對シ之ヲ賦課ス

第十二條

○社團法人日本放送協會所有ノ放送所ニ屬スル舍宅及合宿所ハ埼玉縣稅賦課條例第十二條第一號ニ所謂直接公益ノ用ニ供スル建物ニ該當スルモノトス

一四年九一號 一五年一月二四日宣告 (一五年八一〇頁)

參照

第十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル建物ニ對シテハ家屋稅ヲ賦課セス

一、祭祀宗教慈善學術技藝其ノ他直接公益ノ用ニ供スル建物但シ有料ニテ使用セシムルモノハ此ノ限ニ在ラス(下略)

第三十九條

○埼玉縣稅賦課條例第三十九條第五號ノ一ハ公益ノ用ニ供スル目的ヲ以テ爲ス不動産ノ取得ニ對シテハ不動産取得稅ヲ賦課シ得サル趣旨ナリトス  
社團法人日本放送協會カ取得シタル第一放送所及第二放送所ノ各建物ハ埼玉縣稅賦課條例第三十九條第五號ノ一ニ該當スルモノトス

一四年九一號 一五年一月二四日宣告 (一五年八一〇頁)

參照

第三十九條 左ノ各科ノ一ニ該當スル者ニ對シテハ雜種稅ヲ賦課セス

財務 埼玉縣稅賦課規則



(中略)

五、左ニ掲クル不動産ノ取得

(一) 官公用又ハ公共ノ用ニ供シ若ハ學藝、美術、祭祀宗教慈善等ノ用ニ供スル目的ヲ以テ取得シタル不動産(下略)

62 千葉縣稅賦課規則

○千葉縣稅所得稅附加稅及營業稅附加稅ノ納稅義務ハ各本稅ノ納期初日ニ確定スルモノトス  
大正五年一五一號 二年二月一九日宣告 (二年二九四頁)

參照

第一條 縣稅ハ(中略)賦課期日ニ於ケル課稅ノ目的物ニ對シ之ヲ賦課ス(下略)

第二條第二項 營業稅附加稅所得稅附加稅(中略)ハ本稅各納期ノ初日ヲ以テ賦課期日トス

63 奈良縣稅取締規則

○奈良縣稅取締規則第十二條第二項ハ自轉車ノ鑑札カ毀損ニ因リ無効ト爲ルモ其ノ自轉車ヲ全然鑑札ヲ受ケス納稅セサルモノトシテ取扱フノ趣旨ニ非スト解スルヲ相當トス  
四年四一三九號 四年一月二日宣告 (四年一〇七五頁)

參照

第十二條第二項 烙印又ハ鑑札標札ヲ亡失、磨滅毀損シ又ハ其記載事項ニ變更ヲ生シ若ハ其ノ有效期間ヲ經過シタルモノハ無効トス

64 愛知縣市部縣稅賦課規則 (昭和四年愛知縣令第四十八號)

第五十條 第四項

○愛知縣市部縣稅賦課規則第五十條第一項第四號ニ規定スル不動産取得稅ノ課稅標準タル不動産ノ價格ハ地上權其ノ他ノ負擔アル不動産ニ付テモ負擔ナキ狀態ニ於ケルモノトシテノ時價ニ依リ之ヲ算定スヘキモノト解スルヲ相當トス  
八年三九七號 九年一〇月二〇日宣告 (九年八六三頁)

參照

第十五條第一項 賦課標準ハ左ノ區分ニ依リ之ヲ計算ス

(中略)

四、不動産及船舶ノ價格ハ時價ニ依ル

(下略)

65 愛知縣市部縣稅賦課規則 (昭和二年愛知縣令第四十二號)

○昭和二年愛知縣令第四十二號愛知縣市部縣稅賦課規則第十八條ハ建物ノ坪數ニ建物ノ構造用途及敷地ノ地位ニ依ル等差乘率ヲ追次ニ乘シテ家屋稅賦課ノ標準箇數ヲ定ムルノ趣旨ト解スルヲ相當トス  
五年九四號 六年二月一〇日宣告 (六年一五一頁)

參照

第十八條 家屋稅賦課ノ標準タル箇數ハ第十九條ノ坪數ニ家屋ノ用途構造及敷地ノ地位ニ依ル等差乘率ヲ乘シテ之ヲ定ム

66 愛知縣市部縣稅賦課規則 (大正六年愛知縣令第九號)

○愛知縣知多郡龜崎町ニ於ケル大正十年度前期分縣稅家屋稅ハ大正六年愛知縣令第九號市部縣稅賦課規則第

財務 愛知縣市部縣稅賦課規則 愛知縣市部縣稅賦課規則

第五十四條



五十四條ニ依リ町會カ全町同一ノ標準ニ依リ建物ノ構造等位ヲ議決シ之ニ基キテ等差ヲ設クヘキモノトス

大一年一二九號 大二年六月二日宣告 (大二年五三九頁)

大一年一一九號 大二年六月二日宣告 (大二年五六一頁)

參照

第五十四條 家屋稅ハ家屋ノ位置及構造ニ依リ市町村會ノ議決ヲ以テ等差ヲ設ケ之ヲ賦課ス (下略)

67 長野縣稅賦課規則 (明治三十四年長野縣令第十八號)

○明治三十三年勅令第八十一號第一條第三項明治三十四年長野縣令第十八號第十七條ノ十二依ル長野縣稅遊興稅徵收義務者ハ納稅義務者ノ納稅義務ヲ了セサル税金ニ相當スル金額ヲ自己ノ計算ニ於テ納入スヘキ義務ヲ負ハシメタルモノニ非ス

大一年二四號 大一年五月九日宣告 (大一年五一〇頁)

參照

第十七條ノ十 前二條ノ遊興稅、觀覽稅ニ在リテハ當該營業者ヲ以テ徵收義務者トス

前項ノ營業者在ラサル場所ニ付テハ其ノ場所ノ管理者ヲ以テ徵收義務者トス

68 宮城縣稅賦課徵收規則 (昭和二年宮城縣令第三十號)

○宮城縣稅賦課徵收規則第三十二條第一項ニ所謂代書人中ニハ司法書士法第一條ニ規定スル他人ノ囑託ヲ受ケ裁判所及檢事局ニ提出スヘキ書類ノ作製ヲ爲スヲ業トスル司法書士モ亦之ニ包含セララルモノト解ス

ルヲ相當トス

一一年一七九號 一二年二月二日宣告 (一二年一八頁)

參照

第三十二條第一項 雜種稅ヲ課スヘキ種類左ノ如シ

(中略)

二三、代書人(下略)

69 福島縣稅營業稅雜種稅課目課額

○福島縣稅營業稅雜種稅課目課額ノ所謂官公署ノ免許ヲ受ケタル代書人中ニハ大正八年法律第四十八號司法代書人法ニ依ル司法代書人ヲモ包含スルモノト解スルヲ相當トス

大一年二三五號 大一年一月四日宣告 (大一年一三一五頁)

參照

代書人(年稅)

官公署ノ免許ヲ受ケタルモノ

(下略)

70 岩手縣稅徵收細則 (昭和二年岩手縣令第二十九號)

○昭和二年岩手縣令第二十九號縣稅徵收細則第九條ハ財務出張所長ニ對シ縣稅滯納處分ノ權限ヲ付與シタルニ止マリ府縣制第八十條第二項ニ依リ同縣知事カ其ノ職權ニ屬スル縣稅滯納處分ノ執行ヲ同縣ノ官吏吏員ニ委任スルノ權限ヲ制限シタルモノニ非ス



一〇年二六八號 一四年九月二〇日宣告 (一四年六二五頁)

參照

第一條 徵稅令書ハ第二號様式ニ依リ財務出張所長(中略)之ヲ發行スヘシ  
第九條 滯納處分ハ徵稅令書發付者之ヲ爲スヘシ

71 青森縣稅規則 (大正九年青森縣令第三十號)

第十六條

○大正九年青森縣令第三十號青森縣稅規則第十六條規定ノ貸金行爲ニハ銀行業ノ一部タル貸金行爲ヲ包含セサルモノト解スルヲ相當トス

大一年二二四號 大一年四月二八日宣告 (大一年三七八頁)

參照

第十六條 左ニ掲グル營業又ハ行爲ヲ爲ス者及物件ヲ所有スル者ニハ下記課稅標準及稅率ニ依リ雜種稅ヲ賦課ス  
一、不動產船舶取得

- (一) 無價價格 千分ノ十二
- (二) 其ノ他同 千分ノ十

第二十九條

○青森縣稅規則第二十九條ノ所謂不動產ノ所有權ヲ取得スル者ニハ信託契約ニ依リ不動產所有權ヲ取得シタルモノヲモ包含スルモノト解スルヲ相當トス

大一年二八八號 二年一月一三日宣告 (二年八五頁)

參照

第二十九條 不動產船舶取得トハ有價ト否トヲ問ハス其ノ所有權ヲ取得スル者ヲ謂フ

第二十二條  
第二十三條

不動產及船舶ノ價格ハ其ノ登記法ニ依リ登記ヲ爲シタルモノハ其ノ登記價格、登記ナキモノハ賣買價格、賣買ニアラサルモノハ時價ニ依ル  
賣買價格若ハ時價ノ届出ニシテ不當ト認メタルトキ又ハ届出ヲ爲サ、ルトキハ縣參事會之ヲ査定ス

72 秋田縣稅賦課條例 (昭和七年秋田縣條例第二號)

○秋田縣稅賦課條例第二十二條第十三號ニ所謂「公共團體社寺及公益ヲ目的トスル法人ノ直接業務ニ使用スル物件」トハ此等ノ團體カ直接且主トシテ業務ニ使用スル物件ノ義ト解スヘキモノトス

一三年五一號 一四年五月三〇日宣告 (一四年四四五頁)

參照

第二十二條 左ニ掲グルモノニハ雜種稅ヲ課セス

(中略)

十三 公共團體社寺及公益ヲ目的トスル法人ノ直接業務ニ使用スル物件及其ノ不動產ノ取得又ハ演劇興業

73 石川縣稅賦課規則 (昭和二年石川縣令第十六號)

第二十一條

○昭和二年石川縣令第十六號石川縣稅賦課規則第四十一條ニ所謂公益ノ用ニ供スル不動產ノ取得トハ公益ノ用ニ供スル目的ヲ以テ爲ス不動產ノ取得ノ趣旨ト解スルヲ相當トス  
三等郵便局舎ノ取得ハ同條ニ所謂直接公益ノ用ニ供スル不動產ノ取得ニ該當ス

一五年五五號 一六年六月一二日宣告 (一六年一四五頁)

參照

第四十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スレモノニハ營業稅雜種稅ヲ賦課セス

財務 秋田縣稅賦課條例 石川縣稅賦課規則



(中略)

二十一 直接公益又ハ慈善ノ用ニ供スル不動産ノ取得  
(下略)

74 富山縣縣稅賦課規則 (昭和二年富山縣令第二十號)

○富山縣ニ於ケル定置漁業ノ漁業權ハ之ヲ對象トスル同縣ノ漁業稅ニ關スル限り府縣制第六條、町村制第九十九條ニ所謂土地物件ニ該當シ其ノ漁場所在ノ區域ニ存在スルモノト解スルヲ相當トス  
九年三二九號 一一年一月二八日宣告 (一一年六五七頁)  
五年二三三號 一二年五月二〇日宣告 (一二年一六九頁)  
一一年二六三號 一二年一月二六日宣告 (一二年三九三頁)

75 富山縣營業稅雜種稅課目課額 (大正九年富山縣令第三十四號ノ四)

○大正九年富山縣令第三十四號ノ四同縣營業稅雜種稅課額ニ於テハ定置漁業、大謀網ニ對スル雜種稅ハ漁業權ヲ以テ課稅物件ト爲スモノト解スルヲ相當トス  
大一二一年一七三號 三年三月九日宣告 (三年一三一頁)

參照

雜種稅

(中略)

定置漁業

大數網 一 漁業權ニ付年稅金百圓、漁獲高六萬圓以上ノモノハ六萬圓ヲ超ニル額ニ對シ其ノ千分ノ二十ヲ增課ス  
大謀網 同 金百圓 同上

第三條第六項

76 鳥取縣縣稅徵收ニ關スル施行細則 (大正十年鳥取縣令第二十九號)  
○大正十年鳥取縣令第二十九號(縣稅徵收ニ關スル施行細則)第三條第六項所定ノ滯納報告前ニ在リテハ假令督促狀指定ノ日限ヲ經過スルモ鳥取縣稅ヲ納付シ收入役代理者ニ於テ之ヲ納入シ其ノ領收證書ヲ交付シタルトキハ右稅金ヲ完納シタルモノトス  
大一三年六六號 大一四年三月三〇日宣告 (大一四年二二四頁)

參照

第三條第六項

督促狀ニハ納期限ヨリ十日以内ノ期限ヲ指定スヘシ督促狀ノ手數料ハ一通ニ付金二十錢トス  
督促狀ノ指定日限内ニ督促手數料及稅金ヲ完納セサル者アルトキハ町村長ハ直ニ其ノ稅目金額住所氏名等ヲ郡長ニ報告(五號様式甲)スヘシ  
(下略)

77 岡山縣縣稅賦課規則 (昭和三年岡山縣令第四十九號)

○岡山縣稅賦課規則第三十條第二項ニ所謂漁業者トハ漁業法又ハ岡山縣漁業取締規則ノ規定ニ依ル免許若ハ許可ヲ受ケ又ハ届出ヲ爲シタル者ヲ指稱スルモノニシテ現實ニ漁業ヲ爲シタルト否トハ之ヲ問フ所ニ非スト解スルヲ相當トス從テ所轄市町村長ハ岡山縣稅賦課徵收細則第四條第一項第三號ニ規定スル納稅義務者ノ漁業稅ニ關スル申告ヲ俟タズ免許、許可又ハ届出ノ資料ニ依リ直ニ漁業稅ヲ賦課スルコトヲ得ルモノト

財務 鳥取縣稅徵收ニ關スル施行細則 岡山縣縣稅賦課規則

第三十條第二項



七年三一七號 一〇年一〇月二九日宣告 (一〇年九〇七頁)

參照

第三十條 漁業稅中營業稅及雜種稅課目課額ノ定ムル所ニ依リ町村ニ配付スルモノハ毎年縣會ノ議決ヲ經其ノ町村ノ配付額ヲ定ム  
前項ノ規定ニ依リ配付ヲ受ケタル町村ハ每徵收期限前二十日目迄ニ町村會ノ議決ヲ經之ヲ其ノ町村内ノ漁業者及其ノ町村ニ屬スル漁場ノ漁業權者ニ賦課ス

78. 岡山縣稅賦課徵收細則 (昭和二年岡山縣令第十八號)

○岡山縣稅賦課規則第三十條第二項ニ所謂漁業者トハ漁業法又ハ岡山縣漁業取締規則ノ規定ニ依ル免許若ハ許可ヲ受ケ又ハ届出ヲ爲シタル者ヲ指稱スルモノニシテ現實ニ漁業ヲ爲シタルト否トハ之ヲ問フ所ニ非スト解スルヲ相當トス從テ所轄市町村長ハ岡山縣稅賦課徵收細則第四條第一項第三號ニ規定スル納稅義務者ノ漁業稅ニ關スル申告ヲ俟タズ免許、許可又ハ届出ノ資料ニ依リ直ニ漁業稅ヲ賦課スルコトヲ得ルモノトス

七年三一七號 一〇年一〇月二九日宣告 (一〇年九〇七頁)

參照

第四條 縣稅ノ納稅義務發生シタルトキハ第五條第二項ノ規定ニ該當スル場合ヲ除クノ外左ノ各號ニ依リ所轄市町村長ニ之ヲ申告スヘシ

(中略)

第八條

○問屋業及仲立業ニ對スル報酬金額ヲ標準トシテ市場稅ヲ賦課シタルハ廣島縣稅賦課規則第八條ニ違反シタルモノナリ

大一一一四一五號 大一一一〇月一〇日宣告(大一一一〇〇八頁)

參照

第八條 營業稅雜種稅ハ左ノ課目課額ニ依リ年稅ハ其ノ年額ヲ二分シ前半期ハ四月一日後半期ハ十月一日現在ニ依リ賦課ス

(中略)

市場 年稅 益金百分ノ三 益金二十圓未滿ノ者ハ一ヶ所ニ付金五十錢  
但市場ヲ使用スル業體ニシテ別ニ國稅營業稅ノ賦課ヲ受クル者ニ對シテハ半額ヲ課ス

80. 德島縣稅賦課徵收規則 (昭和二年德島縣令第九號)

○養鶏ヲ爲シ因テ生産シタル生卵又ハ鶏ヲ販賣スル營業ハ德島縣稅賦課徵收規則第三十條第五號ニ規定スル自己ノ收獲シタル畜產物ノ販賣業ニ該當スルモノトス  
養鶏業者カ其ノ居宅又ハ鶏舎ニ於テ其ノ生産シタル生卵又ハ鶏ノ販賣ヲ爲シ特ニ店舖其ノ他販賣ノ爲ノ設備ヲ有セサルトキハ其ノ販賣ハ德島縣稅賦課徵收規則第三十條第五號但書ニ所謂特ニ營業場ヲ設ケテ爲ス販賣ニ該當セサルモノトス

第三十條 第五號

財務 廣島縣稅賦課規則 德島縣稅賦課徵收規則



財務 德島縣賦課規則 大正十一年德島縣令第十八號 愛媛縣賦課規則 第六年三八九號 七年四月七日宣告 (七年二九四頁)

五七〇

參照 第三十條 左ニ掲クルモノニハ營業稅ヲ賦課セス (中略)

五 自己ノ收穫シタル農産物、林産物、畜産物若ハ水産物ノ販賣又ハ之ヲ原料トスル製造但シ特ニ營業場ヲ設ケテ爲ス販賣又ハ製造ヲ除ク

81 ●德島縣縣稅賦課規則 (明治四十四年德島縣令第二十二號)

○德島縣稅賦課規則第五十七條ノ一ニ依ル家屋建築稅ハ建築材料ノ新舊如何ヲ問ハス建築ヲ爲シタル家屋ノ所有者ニ對シ賦課シ得ルモノトス

大一〇年一三五號 大一一二年二月一〇日宣告 (大一一一年九三頁)

參照

第五十七條ノ一 家屋建築稅ハ建築ヲ爲シタル時其ノ所有者ニ賦課ス

82 ●大正十一年德島縣令第十八號

○縣稅ノ徵稅傳令書ニ記載シタル納期カ縣令ノ規定ニ牴觸セルモ其ノ誤記ナル旨ヲ村長ニ於テ納稅者ニ通達シタル以上ハ該徵稅傳令書ハ縣令ノ規定ニ牴觸セサルモノトス

大一一二年一五〇號 大一一三年一月二日宣告 (大一一三年一頁)

83 ●愛媛縣縣稅賦課徵收條例 (昭和五年愛媛縣條例第一號)

○愛媛縣縣稅賦課徵收條例第二十六條ノ規定ニ依リ賦課期日直前一ケ年ノ事業年度ノ利益配當年三分ノ會社

第二十六條

第五十七條

ノ所有スル電柱ニ對シ縣稅雜種稅電柱稅ヲ賦課スルハ正當ナリ  
昭和七年七月十五日附內務省發地第五十三號內務省地方局長及大藏省主稅局長電柱稅ノ賦課ニ關スル件依命通牒ハ大正十五年勅令第三百三十九號地方稅ニ關スル法律施行ニ關スル件第十九條ノ委任ニ基ク法規ニ非スシテ單ニ內務大臣及大藏大臣ノ監督權ニ基キ電柱稅賦課ニ關シ地方長官ニ對シテ爲シタル訓令ニ過キサルモノトス從テ愛媛縣縣稅賦課徵收條例第二十六條ノ規定カ假令右通牒ニ違背スルモ地方稅ニ關スル法令ニ違反セサル限り之ヲ違法ナリト謂フヲ得ス

九年一二七號 九年七月一二日宣告 (九年五七五頁)

參照

第二十六條 雜種稅ハ左ノ賦課率又ハ賦課定額ニ依リ之ヲ賦課ス (昭和七年一月改正)

(昭和八年一月及三月改正)

課目	年稅月		課	稅	標	分	準	單位	賦課率又ハ賦課定額		
	稅等ノ別	年									
電柱	(中)	略	等	級	又	ハ	區	分	準	單位	賦課率又ハ賦課定額
年稅	(下)	略	略	略	略	略	略	略	略	單位	賦課率又ハ賦課定額

財務 愛媛縣縣稅賦課徵收條例

五七一